滿洲日報
發行人 編輯人 印刷人
大連市東公園町[illegible]番地 發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

支那軍、七キロの點に堅固な陣地を構築

飛行機偵察の結果發表

【上海十七日發】支那軍は潰走後我が聲明せる線より相當距離にある蘇州、嘉興の線に大兵を集結しつゝあつたが今朝我が軍飛行機の偵察によれば松江に本據を置く八十八師の一部隊は七寶（上海の南方七キロ）辛庄、閔行の線に進出堅固な陣地を構築してゐる

『閘北は無防禦』

吳市長、詭辯を弄す

【上海十七日發】吳鐵城市長は調査員一行歡迎會席上で日本は無防禦の閘北を爆擊、砲擊したと支那一流の詭辯で我を誣いたに對し植松指揮官は本日談話の形式で左の聲明を發した

支那側は事件發生前堅壘を築き閘北一帶の市街地に據り我に戰を挑んだ十九路軍の堅城閘北を以て無防禦の土地等と荒唐無稽も甚だしい、支那が如何に詭辯を弄しても支那軍が堅固精巧なる防禦陣地に據つて閘北から我を攻擊した事は否み難い皇軍は斷じて無防禦の敵を攻擊してゐない

本省よりの回訓到着

【上海十七日發】本省よりの回訓到着したので重光公使は本日午後英、米、佛公使及び郭泰祺と會見の筈である

蔣直系軍と疎隔

共產黨の勢力增大し

【上海十七日發】第十九路軍が共產黨の影響を多分に受けて居る事は明白な事實で婦人宣傳隊員は今尙同軍中で活躍し居る模樣である事は陣地に殘された遺留品で明かである、十九路軍は退却に當り陣地內に「日本軍の兵士に與ふ」と題して過激な文字を並べた宣傳ビラを殘したり戰線に撒布したりした、十九路軍の下級幹部中には學生上りの共產黨員多數居り同軍中の共產黨の勢力增加と共に蔣介石直系軍との疎隔益々擴大して行く模樣である

中村司令官

天津に着任

【天津十七日發】新任中村支那駐屯軍司令官は本日正午日本碼頭着英米佛伊各國軍司令官、儀仗兵並に我官民の盛んな出迎へを受け駐屯軍司令部に入つた、尙前任者香椎中將は十九日離津[illegible]長城丸で歸國任地に向ふ筈

十八、九の兩日上海より凱旋する下元〇團

各特科隊もつゞいて凱旋

【上海十七日發】二月七日雲降る吳淞に敵前上陸以來堅固なる防禦陣地に立籠る吳淞の大軍と奮戰、轉じて廟行の堅壘を突破して遂に南翔まで長驅し凡ゆる苦難を嘗めて大勝し二度寶山縣に引揚げ吳淞一帶の守備に就いて居た下元〇團はいよいよ功成り名遂げて明十八日と十九日の二日に亙り當地發凱旋の途に就くに決定した、第一回凱旋部隊として明日出帆する部隊は次の如くで午前八時より乘船開始午後二時頃出帆宇品に向ひ二十三日門司入港凱旋の豫定

一、大連汽船碼頭出帆の華南丸で〇團司令部、小倉岡本〇隊、吳淞出帆の遼海丸で福岡從〇隊及び岡本〇隊の一部、同昭久丸で〇〇隊の一〇隊

二、十九日發部隊次の如く是も廿四日門司上陸凱旋し是で下元〇團の凱旋は完了する筈

なほ特科隊は上海より出帆のフロリダ丸で重見大尉の獨立戰車〇〇隊、小倉〇團の〇個輸送隊、吳淞出帆の第六室蘭丸で〇〇〇名の〇〇隊、久留米湯淺〇隊、工兵〇〇〇隊の〇〇隊、〇團衞生隊、吳淞出帆の第三太源丸で臨時派遣工兵無線二十二、四十九五十五〇隊第〇〇團の第四兵站司令部第三〇團の四個輸送隊野戰病院が凱旋する

寧古塔といふ所

米作の好適地

邦人の發展は有望

＝神藏特派員發＝

寧古塔といつても今次天野〇隊出動によつて一般に知られたが、これまでは殆ど滿洲人さへもあまり多く知らない邊陬の地方にある小都會である、けれども將來吉會鐵道が開通すれば當然[illegible]化を經て北方寧古塔、海林に達する一線の敷設さるべきことは、地方產業開發上當然の成行で滿蒙鐵道網實現の第一番に着手さるべき重要鐵道である、又一面牡丹江流域の唯一の物資集散地として古來經濟の中心地であり將來これを中心として牡丹江流域が資本の力によつて開發されゝばその資源は殆ど無限である、現在でもこの地方は東部北滿でも人口の最も稠密な所で鮮人農民約二萬入り込んでゐる

×

寧古塔は專門家からは古都としてよく知られた所で紀元前二千年の大昔から既に物資集散地となつてゐたもので松花江を中心に北滿に覇を唱へた肅愼族が漸次南下するにつれて政治上の中心地となつたそれ以來幾變遷はあつたが靺鞨族が北滿を平定し南下するに及んで一時寧古塔の繁榮は東京城に奪はれその後中世に及んでは金、元、明さもここに總督を置いて統治し清朝も之に倣つた、現在は寧安縣政府の所在地となつてゐるが經濟及び文化の中心として又北滿の都會としての寧古塔の歷史は古い、今ではそれらしい遺跡も殆ど無くなつて市中は近代式の高層な建物が軒を連ねてゐるが、市街の外廓には城廓がなく他とは一見して別な感じがする

×

寧安縣の富は牡丹江流域における農業から生れる、先づ主要農產物としては收穫量の多いのは大豆、高粱、小麥であるが、これは收穫總量からいへば他縣に比して寧ろ少い位であるが、此等について年約十萬石の米を產出してゐる、而もその大部分は鮮人移民の水田によるもので、米の移出高は第五位に位しハルビンはじめ滿洲各地の邦人が食する米は大部分寧古塔から供給する實狀である、以て如何に將來水田として有望であるかゞ解る、この方面の水田經營は滿洲各地で見られるものと同樣殆ど自然のまゝ耕したものであるが、それでも牡丹江流域には尙百五十萬人の鮮人農民を收容することが出來ると稱せられてゐる、多少灌漑その他の人工を加へれば三百萬人は充分植民されやう、從來の鮮人農夫は高い小作料と官吏の苛斂誅求とに禍ひされ、且當局の移民阻止政策のために幾多の困難を嘗めたが新政權が進んで誘致政策を採るならば、續々移住し得やう。

×

又內地人の農業移民地としてもこの一帶及び鏡泊湖附近は地質もよく風景も日本內地に酷似し氣溫も溫暖で濕度が高いから最も好適地である、工業用植物としては現在では芝麻、綿麻、煙草等があるが工業の勃興につれてあらゆる工業用植物の栽培に適してゐる殊にホップの栽培に最も適し相當獎勵すれば世界的藝品として輸出される可能性がある、既に一部邦人資本家に依つて計畫されてゐる由である

×

工業として製粉工場は裕東、新華兩公司、增興火磨、永衡號の工場、恆元祥、[illegible]油房、牛[illegible]房、富有長興泉隆、同巨東等の油房工場、大德永、公益合、元合盛、和源永、興隆永、永興泉等の燒鍋がある外製粉、製油、精米の小工場五、六がある、ハルビンに本店を有し海林に支店を有する海林公司は日支合辦事業で廣大な林場を有してゐるが、最近は殆ど閉鎖の形である同公司は製材工場を有しないので枕木、桃木、角材等を主として南滿方面に出してゐたが最近は不自然な東支の運賃政策に禍され且支那側の木稅及び附加稅は從價三割八分五厘に相當し到底採算引合はず林場は空しく放置してある

×

一方滿鐵仕向も荷役料金、雜費、置場稅、輸入稅等の賦課が法外に多く且金融不圓滑等のために之が發展ない、山崎同公司海林支店長は滿鮮の木材界には永い經驗を有するエキスパートだがこの手足を縛されたやうな狀勢下には如何とも出來ず、居食ひの有樣だといつてゐた、海林公司は滿洲における東拓の事業として最も有望視されてゐる事業であるから新政權の確立によつて少くも課稅問題が解決すれば再び林場復活の運びとなるう

×

寧安縣下における邦人の見るべき事業としては海林公司を除いては殆どないが、從來日本內地資本家からは屢次投資を企てたが何れも支那官憲の私腹を肥やすだけでいざ實現する段になると握りつぶされ泣き寢入りとなつてゐた、特に著名なものとしては王子製紙が十萬元の權利金を支拂つて獲得した富寧造紙公司（今では三井、三菱の財閥が加はり共榮企業公司）は官憲の二枚舌で行惱みとなつてゐたが遠からず實現しやう、又同じく王子製紙の獲得した利權として鏡泊湖水力發電所及び海林寧古塔間輕便鐵道敷設權等がある外寧古塔方面一般から熱望されてゐるのは不動產金融の特殊銀行であるが、これは土地の登記が完成しなくては事實不可能であるから法律的解決が先決である、又鮮人に對する勸業銀行の設立は急務中の急務とされてゐる、その他パルプ、ペニヤ、柚木等の木材加工業、交通機關、煙草、製麻等は政權さへ確立すれば外資の必要は益々大となる（をはり）

內閣改造は議會終了直後

內相は矢張り鈴木氏

【東京十七日發】內閣改造に關しては犬養首相は黨內の紛糾を避けるため久原幹事長の進言を入れ一時中止し內相を自ら兼攝して臨時議會に臨む事となつたが議會終了直後二十六、七日頃改造を斷行するに決意し既定方針通り鈴木法相を內相に其後任に川村竹治氏入閣の肚を極めこの間反鈴木派の策動あらんも首相は相當強い決意を以て押切るを觀られてゐる

六十一議會を前に朝野兩黨の勢揃へ

▽……犬養若槻兩總裁の激勵演說

政友會

【東京十七日發】政友會は臨時議會に臨む陣容を整へ我黨天下の氣勢を揚ぐべく十七日午後二時より本部に議員總會を開き犬養總裁以下高橋藏相、鈴木法相、床次鐵相、山本農相、三土遞相、秦拓相、鳩山文相、前田商相の各閣僚、森翰長、島田法制局長官他各政務官各顧問各總務久原幹事長以下各幹事、所屬兩院議員約四百名出席先づ東總務を座長に推し久原幹事長の挨拶あり次いで犬養總裁立つて十八日召集の第六十一臨時議會に入るに就ての方針を指示する演說あり引續き代議士會を開き議事に入り

一、院內總務選擧の件
一、院內幹事選擧の件
一、議案提出に關する件
一、正副議長候補者豫選の件（犬養首相指名に一任）
一、全院委員長常任委員候補者豫選の件
一、勅語奉答文起草委員豫選の件
[illegible]

を決定最後に犬養總裁發聲で兩陛下の萬歲を三唱し望月顧問發聲で政友會萬歲を三唱して議員總會を終り一同は午後五時より東京會館に於ける犬養總裁の招宴に臨んだ

民政黨

【東京十七日發】民政黨では第六十一議會に臨む新陣容を整へるため十七日午後一時から本部に兩院議員の聯合會を開き若槻總裁、山本、片岡、加藤其他各顧問、町田筆頭總務、永井氏その他兩院議員評議員等約三百餘名出席先づ永井氏開會の挨拶をなした後俵氏を會長に推し次いで議事に入り

第六十一回帝國議會における我黨の行動は議員總會の決議に一任す

の決議案を滿場一致可決し若槻總裁より新役員八名を追加指名し引續き若槻總裁より一場の激勵的挨拶を爲し一先づ閉會引續き議員總會を開會議事に入り院內總務及び正副議長全院委員長以下各常任委員候補者を指名し之を決定午後三時散會、一同は中央亭の永井幹事長招待會に臨んだ

民政黨の院內總務

【東京十七日發】民政黨の黨役員並に院內總務、正副議長候補者は十七日黨聯合會並に議員總會席上若槻總裁より左の如く指名發表された

院內筆頭總務 小山松壽
同總務 井上剛一（東海）
同 野村嘉六（北陸）
同 工藤鐵男（東北）
同 八並武治（關東）
同 岩切重雄（關東）
同 田中武雄（近畿）
同 山道襄一（中國四國）
同 勝正憲（九州）
同 木村小左衞門（同）
議長候補者 高田耘平
副議長候補者 菊地良一
黨總務 牧山耕藏
顧問（追加） 吉田磯吉
全院委員長 戶井嘉作
豫算委員長 飯塚春太郎

議員總會における犬養首相演說

會期が短いから政策に觸れぬ

產業立國政策實施の好機

【東京十七日發】議員總會に於ける犬養首相の挨拶左のごとし

今期臨時議會は事後承諾案並に滿洲上海事件に關する軍事費の協贊を求むる爲めである從つて此の短期議會では政策に觸れぬ考へである目下重大なる關心事は外に於ては滿蒙及び上海事件で後者は幸ひ軍事行動一段落を告げ軈て其の後始末は圓卓會議で解決せられんとす滿洲に於ては既に新國家建設され將來に就ては深甚なる考慮を拂ひ解決せねばならぬ事が多々あるが擾亂の域を脫し建設の途に就くの趨勢に於てはその揆を一にしてゐるから更に國內に於ける經濟財政の建て直しも亦建設時期に入り今や產業立國政策を斷行する絕好の時期である近來世相に徵するに政治に與る者自ら議院政治の美點を國民の前に發揮する事は極めて肝要である國難に際して政黨は黨略本位より國策本位に轉換すべきで諸君も一致協力之れが打開し國民の前に光明を與へその期待に背かざらん事を期せられ度い

「再び多數黨となる迄一步も退かぬ」

＝若槻民政總裁の演說＝

【東京十七日發】民政黨の若槻總裁に對しては協力內閣問題以來黨內に於ても不滿を懷くもの多く殊に總選擧に大敗せる爲め一層黨の內外に於てその信望は失墜したる感ある爲め一部に總裁更迭說等の風說も起り黨內種々不安動搖を來しかけたので幹部間に於て、寄り〱協議の結果、議會に臨むに先立ち登院に際し若槻氏より自己の鞏固な決意を披瀝して不安を一掃するに決し十七日の聯合會席上にて別項の如き信念を披瀝し決意を示す演說をなした、內容は左の如くである

自分は此の難局に當り身命を賭して時局救濟の大任を全うせんとする熱意と信念は人後に落ちぬ、自分は生命の存する限り君國の大任に殉ぜんとする決意を有す、若し一身の安きを貪り此の重大責務を回避する如き事有らば吾人は何の面目有つて地下の憂國の先輩同志にまみゆるを得んやと思ふ、自分は諸君と共に我黨の主義政策を國民に徹底せしめ再び最大多數黨となるまでは一步も退かない覺悟である

滿洲國に關する質問には不答辯主義

議會の質問に對する政府の方針

【東京十七日發】滿洲國に對する帝國政府の態度方針は去る十二日の臨時閣議で決定をみたがこの問題は當然臨時議會でも質問あるものと思はれるが政府としては同問題がデリケートな國際關係にあるので國際法上許される範圍內の答辯はするがそれ以上の點に就ては不答辯主義をとる事に方針を決定した

各團體の基金一億圓で軍人遺家族を救護

【東京十七日發】內務省社會局では滿洲上海兩事件の軍事行動も一段落したので十九日午後三時から內相官邸に愛國婦人會、赤十字社報國會、軍人後援會、在鄕軍人會、濟生會、警醒社、男女青年團等關係九團體の代表者並に陸、海軍內務各省からもそれぞれ關係者出席今度の軍人遺家族救護の具體的方針に就き懇談を遂げる事となつた其の目的は右諸團體の資金一億圓運用を社會局の指導統制下に置き國民の軍事救護の實を完全に行はんとするにある

施政方針演說と質問應答は廿一日から

【東京十七日發】滿洲、上海事件の軍事費支出並に兌換停止、減債基金一部繰入れ停止に關する緊急勅令事後承諾案の協贊を經べき臨時議會は十八日午前九時召集、貴族院は九時議場に參集議席部屬を抽籤決定し即日成立、衆議院は總選擧後始めての議會であるから各議員は受付で當選證書と當選人名簿の對照をなし控室に入り午前十時開會、劈頭田口書記官長議長席に就き議員數三分の一の着席を待つて、議長、副議長の選擧を行ふべき旨を宣して無記名にて正副議長を選擧して散會する順序である當選した正副議長は、即日勅任せらる、筈、尙十九日午前九時開會部屬、部長、理事を互選して成立この旨を政府及貴族院に通告し開院式を奏請二十日午前十一時貴族院にて開院式擧行、二十二日首相藏相、外相の演說後政府提出の軍事費並に緊急勅令案に關する本格的討議に入る筈なるが野黨は深刻な質問戰を開始する態度なれば相當議場は緊張せん

貴院各派勢力

【東京十七日發】貴族院各派の勢力左の如し

皇族一六、研究會一四八、公正六八、同和四〇、交友三八、火三四、同成二六、無所屬三三

尙門野幾之進氏は十七日同和會に入つた

衆議院各派現有勢力

【東京十七日發】臨時議會召集日に於ける各派現有勢力は左の如く

派	勢力
政友	三〇三名
民政	一四四名
社民	三名
革新	二名
大衆派	二名
安達	五名
無所屬	七名
計	四四六名

政友會院內總務決定す

【東京十七日發】政友會の議員總會は十七日午後二時開會出席者三百三名犬養首相より別項の演說あり四時散會、なほ院內總務は左の如く決定した

志賀和多利（東北）青木精一（關東）大口喜六（北信、[illegible]）原惣兵衛（中國、四國）[illegible]鄕實（九州）

對議會策決定す

十七日閣議で

【東京十七日發】對議會策を協議すべき臨時閣議は十七日午前十一時より官邸に開會犬養首相始め各閣僚出席、先づ臨時議會に提出すべき

滿洲事件費に關する緊急勅令の事後承諾案、金兌換停止及び減債基金繰入れ停止の緊急勅令事後承諾案、昭和六、七年度軍事費追加豫算案並びに公債發行に關する法律案等

九件を正式決定の後議會において行ふべき外相の支那事件に關する外交經過報告演說草稿、陸海軍兩相の同樣軍事方面の經過に關する演說草稿を所管大臣より說明、各相との間に意見交換の後決定午後零時五十分散會した

新興滿洲國 映畫と講演の夕

一、日時 三月十八日午後七時
一、場所 滿日講堂に於て

映畫―新興滿洲國 三卷 滿洲日報社撮影

講演―新國家に就て 關東軍參謀 臼田少佐

附記…整理料として金十錢を申受けます

主催 滿洲日報社

第三回五分利公債發行

【東京十七日發】政府は第三回五分利公債八千七百[illegible]五千九百五十圓を預金部[illegible]發行した

一、額面 八千七百六十[illegible]九百五十圓
一、發行價格 百圓に付[illegible]四十錢
一、償還期限 昭和十一[illegible]十二年から五十ケ年に[illegible]
一、利率年五分 最初の[illegible]和七年六月一日後[illegible]

上海支那街で邦人毆打さる

【上海十六日發】當地[illegible]場洋行店員窪田某は十[illegible]用のため支那街城內に[illegible]那暴民に取り卷かれ[illegible]負傷した身柄は我總領[illegible]渡されたが支那街英租[illegible]人の通行は尙危險であ[illegible]

本庄軍司令官江橋戰跡視察

【チチハル十七日發】本庄[illegible]は今日江橋戰跡視察に[illegible]時の立役者馬占山氏自[illegible]め同行した

松田氏赴任

今回關東廳高等課長よ[illegible]て佐賀縣學務課長に榮[illegible]助氏は家族を同伴十七[illegible]かる丸で赴任の途に就[illegible]局法院關係者多數の見[illegible]た

葉梨前秘書官入京

【東京特電十七日發】[illegible]た關東長官秘書官葉梨[illegible]臨時議會に出席のため[illegible]あつたが十六日夜九時[illegible]驛着入京した

廟行鎭の戰死者中に旅順一中出身者

同朋會で弔慰金募集

上海方面の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げた幾多の忠勇なる我が將士の中に滿洲出身者、而も旅順第一中學校の卒業生が加はつてゐた、旅順一中第十四回の卒業生で上海派遣步兵第〇〇聯隊步兵第〇〇隊の陸軍步兵軍曹樋口實氏であるが、二月二十二日の廟行鎭の戰鬪に於て悲壯なる戰死を遂げた、この勇敢なる勇士を出した旅順一中同朋會では樋口氏の葬儀を弔ふと共に遺族（老父及び幼き弟妹三人）を慰問する意味に於て弔慰金を募集することゝなつた

樋口軍曹戰死當時の模樣を聞くに二十二日午前五時半廟行鎭の攻擊中、敵前四百米に於て小隊長代理として部下の位置を移動せしめ、勇敢にも小隊の先頭に立つて輕機關銃を以[illegible]倒してゐたが、移動[illegible]て鹿小隊長の下に報告中下腹部に敵彈[illegible]皇陛下の御爲に死ぬ[illegible]何も云ひ殘すことは[illegible]の言葉を最後に[illegible]たのである

樋口軍曹より嚴父の[illegible]便りは二月六日午前[illegible]消印あるもので「出[illegible]る、日頃愛讀せし[illegible]んとす、父上、正、[illegible]健在を祈る」と書し[illegible]まゆらぬ兵隊かなり[illegible]さゆかしき武人の心[illegible]つた、尙弔慰金の募[illegible]迄で旅順一中內同朋會[illegible]されたいと

行幸を仰ぎ靖國神社の大祭

事變戰死病歿者合祀

【東京十七日發】陸軍では海軍側との協議の下に今回の事變に於ける戰死病歿者を靖國神社に合祀する臨時大祭を催すべく謹て計畫中の處漸く成案を得たので勅許奏請中の處十六日勅許あらせられた

一、臨時大祭委員長 海軍大將[illegible]
一、四月二十五日招[illegible]
一、二十六、七兩日[illegible]

であつて大元帥陛下[illegible]ては二十七日に親臨[illegible]

家庭

鷄を飼育するには 丁度今がよい季節

斯うして餌づけ

暖かい日には外に出して太陽の光線に充分當てる

初生雛の育て方(下)

次ぎは餌づけです生れてすぐの雛は未だ體内に黄味をもつてゐて五十時間位たゝないと完全に消化吸收されません、この黄味のあるうちに餌をやりますと消化不良を起すおそれがあります。普通遠い所から初生雛を送るにはこの黄味の體内にある時間を利用するわけです。さて雛を家へ持つてかへつてこの黄味のあるなしを驗するにはおなかを押へて見るのです、押さへて見てゴムまりのやうに彈力のあるのは▼…**黄味** の殘つてゐる證據で、ペシャンコになるのは既に消化されてゐるしるしです。おなかが空つぽになつたら餌づけをする前に木炭末を食べさせて胃腸内に殘つてゐる惡い物を吸收させるのです。木炭はすつかり粉にして新聞紙の上にでもパラまいてやれば大がい食べますが、餌をついばむ事をしらぬものにはくちばしをなつつけて食べ方を敎へてやります次に二十羽に對し茹で玉子の黄味をつぶしたもの一箇分を與へ水を充分にやります。餌や水は金網を張つた運動場の方で與へるのですが、おなかがくちくなつて水を飮むと急に▼…**寒氣** をおぼえますからどの雛もカーテンをくぐつて溫室へ入つて來ます、かうして溫室へ來て眠り、外へ出て遊び、おなかがすいたら食べ、水をのんで寒くなると溫室へ來て眠るといふ風にしてずんずん大きくなるのです。卵の黄味を一回與へましたら今度は日に五、六回粉餌をやります。この粉餌も雛や寒暖計と同じく大連紀伊町の滿洲農事協會で取扱つてゐますが鑛物質、植物質、動物質が完全に混じつてゐて最も理想的な餌です。餌を容れるにはトタンで造つた細長い▼…**餌箱** が適當ですが雛はよく餌箱の中に入つてはかき出しますから箱の上に針金を張つて入れないやうにします。他にホーレン草を小さくきざんだ緑餌を日に四回位やります。三、四日たつたら粉餌は與へばなしにしてよいのです。四、五日たつたら補助餌として植物質の粒餌を時々パラまいてやります。さうすると雛は餌をあさつて食べますので運動をうながす事にもなります、淸水を絶えないやうに入れてやります。かうして順調に成長すればいゝのですが時さすると消化不良で下痢を起すことがあります、これには木炭末をやれば大がいなほりますが、一向きゝめがなく餌もたべず▼…**元氣** がないやうでしたら水の中に少しピリツとする位唐辛子の粉をまぜて飮ませます。ヴイタミンの不足からビツコになる場合もありますがこれにはつとめて緑餌を與へ養雛用の肝油を飮ませればなほります。肝油がのませにくかつたら粉餌の中に肝油を二パーセント位混ぜて食べさせます。あたゝかい日には外に出して太陽の光線にあてる事も大切です。雛でも毎度同じ物を食べさせると飽きますから一日に一回位は粉餌を水でねつたり、魚の腸を煮て汁と一しよに▼…**粉餌** に混ぜてやつたりするとよろこんで食べます。あまり脂の濃いものは消化不良を起し易いからこんな時にはつとめて青物をやるやうにします。四十日もたちましたら雌雄の別がすぐわかりますから雌十羽に對し雄一羽位にして殘りの雄は處分します。別な籠に入れて七八十匁から百匁位になつた時つぶして頂きますとおいしいスプリングチキンがたべられます。總じて雄は元氣でいたづらで大食ですから弱い雌と一しよに置きますと雌の發育がさまたげられます。

アサヒノボル

中溝しんいち作(78)河野ひさし画

一 タイチヤンハダイジノタマヲコノミヅウミノカメガトツタカラカタキヲウツテクダサイト

二 タノムトヨウシデハハヤクキナサイトタイチヤンヲヒカウキニノセテブルブルトビアガツタ

三 フワフワフワソラニトビナガラミヅウミノナカヲミテヰルトムカフノイワノウヘニ

四 ソノカメガコウラヲホシテヰルヨウシトカメヲメガケテボーントバクダン・ヲナゲタ

Koh.

春のスポーツは ゴルフから

春のスポーツはゴルフから……一九三二年燦々たる春光をあびつゝ陽炎もゆる緑の丘に立つ彼女の夢よいづこ？滿身の力をこめて振りあげたクラブに三月の太陽がキラりと光る。ゴムマリのやうに彈んだ彼女の心臟のとゞろきが大空に波紋をえがく。寫眞はさきに北米加州パサテナで行はれたページエントの一場面です。例年パサテナで開催されるパサテナオープン、ゴルフ、トーナメントを祝してその前に行はれたもの。

お嫁入すりや半人前に落ぶれる

◇嫁ぎ行く人に贈る言葉◇

(三)……地方法院長 森本豐治郎氏談

＝年頃＝の娘さんは御縁づきになると、御本人自身でも、これでこそ自分も「一人前の人間」となつたと肩身廣く御考へになり又親御さんも、うちの娘も漸く「一人前の人間」になつたと世間にも御吹聽になる樣でありますがこれは大なる謬見誤解であつて、娘さんはお嫁入に依つて「一人前の人間」から「半人前の人間」に相場が下落するのであります。嘗つて私はさる令孃の結婚披露宴で、新婦人A子さんは昨日迄はB氏の御令孃として「一人前の人間」として御待遇申上げて居りましたが今日以後C氏の令夫人としては「半人前の人間」として御取扱ひ致します、而してかくの如きは、何も私一個の私意からではなく、實に關東廳法院が斯く取扱ひ待遇するのである。否、帝國議會の協贊を經＝天皇＝の裁可せられた我大日本帝國の法律がかく待遇し取扱ふのであると述べた事がありますが、民法第十四條には

妻が左に揭げたる行爲を爲すには夫の許可を受くることを要す

一、第十二條第一項第一號乃至第六號に揭げたる行爲を爲すこと

二、贈與若くは遺贈を受諾し又は之を拒絶すること

三、身體に羈絆を受くべき契約を爲すこと

云々。而して第十二條第一項第一號乃至第六號には

一、元本を領收し又は之を利用すること

二、借財又は保證を爲すこと

三、不動産又は重要なる動産に關する權利の得喪を目的とする行爲を爲すこと

四、訴訟行爲を爲すこと

五、贈與、和解又は仲裁契約を爲すこと

六、相續を承認し又は之を拋棄すること

と規定され、妻が重要な法律行爲を爲すにはいちいち夫の＝許可＝を受けなければならぬのである、若しその許可を受けずに勝手にやれば、後日夫は之を取消し得るものにて、即ち妻は法律上一種の無能力者で一人前の人間ではありませぬ。同じく女であつても、それが二十歳以上の娘さんであれば、完全なる能力者として娘さん一人の考へで、何千圓の借金をする事も何萬圓の家屋敷を買ふ事も出來ますが、一度亭主を持つと最後、今申す半人前の人間と爲るのであります。故に娘さん達よおん身が耻しさうれしさとに戰く手に捧げ持たれた三々九度の盃に紅の唇をふれ、三國一のお嫁さんをお持ちになつたといふ事に依て、かりそめにも自分は立身出世したなど、うぬぼれられては＝大變＝な間違ひ、飽くまでも「一人前」から「半人前」に落ちぶれたと再思三省し、どこまでも夫の蔭にかくれ、牝雞の晨告ぐるが如き事あつてはならぬのであります

成績の惡い子供はどうして出來るか

(五)

遺傳と境遇の話……糸長忠彦氏談

(7)母體の異狀

A…妊娠中の故障　母體の病氣はもとより妊娠中の諸種の不攝生、又は非常な心配事等は極度に抵抗力の弱い胎兒には強く影響し發育不良のため精神も薄弱になる場合もあると考へられます

B…出産時の故障　早産、難産等によつて極めて身體の弱い私生兒には大きな缺陷を與へ或は將來しそれが劣等兒になる原因をなしてゐる場合も相當に多い樣です。

C…受胎時の精神狀態　私生兒は多く成績が惡いといはれてゐます、之には色々原因もありませうが私通或は淫樂の結果が多いと思はれますので正常の結婚者よりも精神狀態が不安定であると考へられます、そんな不安定な狀態に置かれてゐる場合の妊娠は不良な結果を來すのは當然だと思ひます。此の私生兒を生む樣な方には多く低能な人が多いとも言つてゐます、尚正常な結婚をしてゐても受胎當時非常な心配事に惱まされてゐたら之も前の場合と同じ結果が考へられると思ひます。

(8)生れた月

生れた月、一寸考へると何でもない樣にも思はれますが優等生、中等生劣等生等を月別に考へて見ますと四月五月六月頃生れた子供の中によく出來る子供が多く二月三月頃生れた子供の中に成績の惡い子供が多いと言はれてゐます、之については色々の統計もありますがそれははぶく事にします、何故こんな結果が表れるかを考へて見ますと大體二つの原因がある樣です、一つは受胎當時の樣子、一つは出産當時の樣子、二月三月に生れた子供は非常に寒い時に生れて發育に非常に支障を來し受胎當時の母の諸種の原因が禍してゐるのだらうと考へられます、母の諸種の原因については説明をはぶきます。

永々と遺傳による原因を述べて來ましたが要するに君達は只の一個人ではない上は何千萬人かの血を受けやがて何千萬人かの祖とならねばならぬ社會的な個人である事を考へ責任の大である事を思ふと同時に出産した子供に對しては責任を完うする義務があると思ふのであります、學校と家庭と共力して此の義務を遂行しなければならぬと考へます。

【附】特殊な技能の遺傳を受けてゐる子供があります、例へば算術や讀方等はそれ程出來ないが圖畫や書方手工等に於ては天才的であると思ふやうな子供があります、かゝる子供の素質を早く見出してその才能を發揮させるやうに努力することは大事なことだと思ひます。他の學科を忘れてしまつてやれといふわけではありませんがいくらやつても出來ない方面に無理に向はせるよりも先天的に優良な遺傳を受けてゐる方面に指導して行く方が子供にも興味を持ち成績も舉がると思ひます。

祝滿洲國建設

大同元年

久留島氏一行無事 救出は案外容易か

「目下蛤蟆塘にゐる」と便りを齎し密使到着

鞍山製鐵所採鑛課長久留島氏遭難の確報は氏と同行せる採鑛課雇支那人縣鉉恩が久留島氏が賊の要求によつて書いたと思はれる手紙を持ち午前十一時十里河驛につき製鐵所に電話したので判明したのである、採鑛課事務主任吉川恭氏は救出連絡のため午後零時三十五分發急行にて煙臺に急行した、右手紙の內容により救出は案外易く運ぶものと見られてゐる【鞍山電話】

久留島採鑛課長一行が牛拉山子で與國璧のため拉致されたことは確實で午後二時半同氏から煙臺炭礦派出所宛急使を寄越したその情報によれば唯今蛤蟆塘にゐるが與國璧との談判永びくにつきそれまでは彼等と共にあり御心配御無用に候とあり又同行せる一名は十里河驛を經て鞍山に歸着したと【鞍山電話】

久留島氏救出のため鞍山守備隊より味岡中隊長は部下卅名を率ゐて午後二時五分發急行にて煙臺に急行した【鞍山電話】

大石橋東北方において鞍山製鐵所採鑛課長久留島秀三郎氏が頭匪王金一のために拉致されたとのことに大石橋守備隊では早田少尉引率の下に○○名が十七日午後二時發列車で、また熊岳城より庄司大尉引率の下に○○名、鞍山より味岡中隊長以下○○名それぞれ某方面に出動し目下賊の跡を追跡中【大石橋電話】

元苦力頭の賊を連れに行つたか

◇遭難前後の模樣

鞍山製鐵所採鑛課長久留島秀三郎氏は支那人通譯二名を同へ十七日午前六時煙臺炭礦を出發、一里餘の牛拉山子に赴いたが今尙歸來せずその用件は元製鐵所の苦力頭であつた與國璧が現在匪賊の頭目となり部下二百名位を率ゐる牛拉山子附近に占據してゐるので去る九日煙臺守備隊と煙臺炭礦防備團がこれを討伐に赴き擊退した處二、三日前より又もや前記牛拉山子附近に來つたので久留島氏は與國璧に對し鞍山に來るやう十四日書面を出したるも來鞍せざるにより自ら出迎へに赴いたのではないかと見られ十七日午前八時半頃牛拉山子を經て炭礦に來た支那人の談によれば一人の日本人が五六十名の騎馬賊に縛られ馬に乘り他の支那人二名は徒歩で牛拉山子を東方に向け護送されて居るを目擊したと、或はそれが久留島氏一行ではないかといはれて居る【遼陽電話】

二百の馬賊 突如包圍

久留島氏遭難の狀況は煙臺炭礦北約半里牛拉山子邑に居住する同所自衞團長で元西鞍山採鑛所苦力請負人與國璧に面會の爲十七日朝八時鞍山發外支那人道案內人滿廣義の三名と共に炭礦を發ち牛拉山子に行く途中約二百名の馬賊に包圍され同所より更に北一里半三家子部落に拉致されたもので氏は現在三家子に居ると【鞍山電話】

伍堂理事等 救出策協議

今朝大連發赴湯中の伍堂理事は久留島氏遭難の報に豫定を變更し午後二時四分鞍山に途中下車し急遽製鐵所に向ひ富永次長右近庶務課長その他幹部と救出策に鳩首協議をつゞけて居る【鞍山電話】

バスに跳ね飛ばされ 重傷を負ふ

十七日午後一時四十分ごろ同三十分尾ケ浦黑石礁を發した滿鐵バス(運轉手井上新治)が小平島に向け旅大道路愛水橋東方を疾走中同所に居合せた鬼家屯會文峰蔡鳳居住戰參宗(三七)が突然走り出しバスの前面を橫切らんとして跳飛ばされ左足骨折頭部打撲傷の全治三週間を要する重傷を負ひ直に小崗子博愛病院に收容されたが井上運轉手は沙河口署にて目下取調中

常安寺の彼岸法要

天神町常安寺にては十八日より廿四日まで春彼岸法要を營み二十一日は滿洲事變上海事變戰死者追悼會を修行すると

トーキーで滿蒙を宣傳

大スタヂオを滿洲に建設し

第二「トルクシブ」を製作 當局の援助の下に 根岸氏らの計畫

前日活常務取締役根岸耕一氏が映畫要務を帶びて去る九日來滿直に長春に赴いて軍部要路に面會を終へ來奉して現在ヤマトホテルに滯在してゐるが根岸氏今回の來滿の目的は滿洲において官僚的な映畫を製作する映畫會社を設立するためで氏は目下これを極秘にしてゐるが仄聞するにこれは秦憲兵司令官の發案にて滿蒙の現狀即ち政治、民情、風俗を內地は勿論在滿邦人や滿洲人に、または海外歐米人に諒解させる映畫製作機關を設ける計畫を陸軍省新聞班が乘氣になり根岸氏がこれの選擇を受けたので、この計畫を以て氏は來滿せるものである、既に氏は本庄軍司令官、三宅參謀長等にも面會し愈々實現確定した模樣である、その內容については奉天或は長春にスタヂオを設立し取敢ずミス奉天、ミス長春、ミスハルビン等の紹介映畫を興味的に織込み製作し一般民衆にも解り易く理解せしむるもので全部トーキーとし監督、カメラマンだけは邦人をもつて來ることゝし俳優は全部土地の者から養成する事になつて居る、根岸氏は十八日大連に赴くがホテルに氏を訪へば語る

◇…この問題はモウ一週間待つて下されば具體案をお話しますが今書かれるのは困ります、とに角私一個の營利會社でなく重要使命を帶びた機關となるのですから要路との打合せもあるのです、勿論實現は致しますが最初から大きな資本を投資することは出來ず先づトーキーですが最初は滿蒙內または日本だけを目的の紹介映畫にとゞめ第二段としては歐米五大映畫會社まで手を延ばさねばなりませんがそうすれば二十萬や五十萬の資本では出來ません

◇…俳優は勿論全部土地の滿洲人を使ひますがスター養成は造作ありません、映畫を製作する上は引合はねばなりませんから商品として價値のある物を造るのですがアメリカ映畫のやうに全然娛樂的な映畫を作るわけにもいかず、要するにソウエート映畫の例を眞似て理想としてはアジアの嵐、トルクシブの如きものを考へてゐます

◇…さうなれば小額の資本では間に合ひません、最初は二十五萬圓位の資本と申しましても第一案第二案と夫々考へてゐます【奉天電話】

約廿名加盟

拳銃を兇器に暗殺隊

【東京特電十七日發】井上、團兩氏射殺から恐るべき政界、財界の名士暗殺團が暴露したが之が取調に從ひ血盟團同志は二十名近くあること判明した彼等は一國學者を理想的背景として怪僧井上、元訓導古內を盟主及び參謀としピストルを兇器に第一第二部隊を組織してゐたこと判明非常なセンセーションを起してゐる

謎 といはるゝ女優生活を裏面から、縱橫に描き出した大名作『映畫女優』。富士四月號にある話題の中心、大評判!

第二段の計畫を自白

恐るべき內狀

【東京十七日發】血盟團の暗殺計畫は田倉、田中兩帝大生の出現に依つて愈々戰慄すべき內容を暴露するに至つたが取調べの進行に伴ひ意外にも彼等血盟團が第一段の政界財界名士の暗殺を遂行した上第二段として味方の陣營の鋒を向け彼等の指導者でもあり其の黑幕と睨まれてゐる右傾理論家リーダー某々氏等の三名を暗殺する計畫を立ててゐた事を自白係官一同を啞然たらしめた、此の計畫は所謂ダラ幹膺懲の目的を以てなせるもので彼等は自分等が天下を掌握した際の內閣組織を夢見それぞれ首相以下閣僚の椅子を振り當てゝ悅に入つてゐた、又田中と共に脫走りしてゐた彼の親友帝大生權田讓(二)が田中の持てる拳銃の處置につき相談に乘り或は田中が古內や井上との聯絡に際し協力して田中を補佐してゐた事實が明瞭となり十七日午前九時逃走せんとする處を逮捕警視廳で取調中

羽衣高女卒業式

大連羽衣高等女學校第二回卒業式は十七日午前十時から擧行、來賓として竹內大連民政署長、森本地方法院長、關東長官代理長尾視學官、滿鐵總裁代理下津庶務課長、大連市長代理岡野市助役、大連各女學校長等ら三十餘名列席、型の如く君ケ代齊唱についで勅語捧讀卒業證書授與、來賓祝辭あり、閉式後餘興として在校生の謠曲「羅生門」「鉢の木」を出席者一同に見せて和氣藹々裡に散會した、因に今春の卒業生は四十八名である

松林小學校 內地見學團

松林小學校內地見學團は愈々二十日當地を出發するが代表兒童五名は校歌及青年團歌をコロムビアレコードに吹き込みレコードによつて大連を廣く紹介しやうと計畫してゐる

沙河口小學校

沙河口尋常小學校では十八日午前十時半より第廿一回卒業式を同校講堂において擧行するが、又十七日は午後二時より卒業生百〇七名親睦會を催し一半日を愉快に過ごした

安樂椅子

新京長春の景氣は外來から……滿鐵の都市計畫發表と共にその土地の貸下げを開始せざる限り暗夜に鐵砲と同樣今後の新京に進出せんとする各種銀行會社、商店、官廳その他總ゆるものはただ模索するのみである

…◇…

然し新京長春では建國式前後より宿屋料理店は矢鱈に景氣來て財布の紐が締らぬといつたニコ〳〵振りである、都市計畫が發表にならない以上はどうにもならぬ位はご存知であらうけれどやれ視察それ調査と押かけて來る人達はどの列車も滿員の盛況これが皆宿屋と料理店に雪崩込み懸からぬ金を落す

…◇…

各銀行が擔保流れでもてあましてゐたボロイ家に羽が生えて飛んでゆく、それに伴なつて何にもかにも暴騰振りお蔭で逼迫を告げてゐた金融が圓滑になつた模樣であるどうせ落ち着くべき新京も出來るだけ早く各機關の家屋、役人の宿舍といつたものは早く建築にかゝるとにならうから滿鐵都市計畫の發表と相前後して本格的の景氣を見せることにならうがそれまでの繫ぎの景氣は所謂外來者によつて齎されるわけであらう【長春電話】

戰傷病兵の歸還 きのふ埠頭にて

また悲しい凱旋

きのふ戰傷病兵卅名 痛しい姿で出發

十七日午後四時、甲埠頭九番バース繫留中の陸軍御用船慶運丸で第九回戰傷病患者三十名が金尾軍醫正竹鼻衞生隊長外六名に引率され傷つき痛んだ悲しい姿で廣島に向つて出發した、これよりさき埠頭待合室には竹內民政署長、岡野助役、森本法院長、三澤水上署長、滿鐵より大藏理事狸田鐵道部次長、吉富埠頭事務所長等市中有志等をはじめ各方面多數の

見送り があつたがいづれも日の丸の小旗を打ち振り乍らカーキ色のマントを着た悲しき勇士等に最後の別れを交した、出帆にのぞみ先づ竹內民政署長立つてこの勇敢なる傷病將卒に對し滿腔の謝意を表する旨を述べこれに對して金尾輸送指揮官は御多忙中御見送りを謝し一日も早く快癒の上再び皇國の爲に御報公する事を誓ふと述べて別れの挨拶を交し午後四時宇品に向つた

長女に暴行せんとし 留める夫人と格闘か

騷ぐ子供らは鍬で慘殺す

愈々悲慘な母子殺し

櫻花臺の母子四人殺しは大連始まつて以來の未曾有の慘虐性を帶びた兇行として池內檢察官千葉司法主任らは十七日午前十時頃より詳細な檢證に取り掛り午後四時ごろ漸く終了した

その結果兇行原因が痴情に絡るものであることは犯罪現狀より推定して動かぬものとされてゐるが、暴行の目的人物が夫人キシ子にあつたか、長女泰子にあつたかは目下のところ判然としない、即ち長女泰子が裸となつて蒲團のうへに

倒れ てゐる點、泰子の陰部に刺傷がある點などから見て加害者が長女に暴行を加へんとしたのを夫人が阻止し、こゝに格闘となり遂に殺意を生じたと見られる節がある、さらに夫人が右腕に斬りつけられた傷口に繃帶し、ガーゼの腰巻きを銘仙の不斷着に着替へてゐる點は、一度加害者が夫人か長女かに挑みかゝつたのを夫人にはねつけられその際夫人の右腕に傷を負はせたが、その場は靜まり、夫人が

着替 を終つてから屋外に逃げ出さうとするを見て犯行發覺を恐れ、再び惡鬼の如く狂び出した夫人を慘殺せんものと追つかけ廻してゐるうちに子供三人が目を醒まして騷ぎ出したので裏玄關から鍬を持ち出し泣き叫ぶ子供三人の頸部目がけて數回打ち下したものらしく、子供三人の首は殆ど皮のみ胴體についてゐるといふ慘虐極まる殺し方であつた、兇行時刻は加害者の胃袋の食物が完全に消化してゐる點から

推定 し、十七日午前十二時以後に行はれたもので、十六日午後十時ごろまで被害者應接室に電燈が點つてゐたのは夫人が鄕里の父に愛兒の消息を知らす手紙を認めてゐた爲めであることが判つたなほ加害者が附近の權藤水産氏方ボーイに四日以前「柴田の家は嫌だから暇を取る」と洩らした事實及び夫人がヒステリーで子供が泣いてもボーイの故だと常に加害者を叱責してゐたといふ事實より怨恨說も傳へられてゐるが、これは極めて薄弱なものである

運命の一歩手前! 平和な燈の下で

書かれた故鄕への手紙と無邪氣な頴坊の寫眞

恐ろしい運命が足下に迫つてゐるとは露知らず夫人キシ子が兇行當夜認めた夫人の鄕里新潟縣中魚沼郡なる實父林太郎に宛てた主人及び愛兒三名の消息を知らす手紙と二月五日頃寫した長男頴祐(二)=既報京助は誤り=の寫眞とが郵送するばかりになつて現場の机の上に殘されてゐるのが發見され、新らたなる淚を誘つてゐる、その文面はペンの走りも鮮かに機關中尉である夫は時局柄多忙な日を送つてゐますとの書出しで

▼……?

月日の經つのは早いものでございますお蔭樣で長女泰子もようやく本年四月から小學校に通ふやうになりました、只今その準備で大騷ぎです、でも「いろは」は讀りで書けるやうになりましたから御安心下さいまし次女の冴子も四月から幼稚園に入れる考へです、長男の頴祐はお寫眞御覽の通り丸々と肥つて、健かに成長致して居ります、頴坊のお寫眞は二月初めお父樣に見て戴くつもりでわざ〳〵寫しました

▼……?

とありこの嬉しい父への便りが今は悲しみの底に沈む親せたちは餘りに運命の惡戲がひどすぎると知友の人々は手紙を中にして泣いてゐた【寫眞は机の上に殘されてあつた頴ちやん】

車中で聞かされた 留守中の悲劇

默々と呷る苦惱の酒 悲しみ人、柴田嘉雄氏歸連す

友人の思ひやりの「妻急病」の至急電報に取るものも取敢ず窯口を出發した櫻花臺母子四人殺しの柴田家の主人嘉雄氏は十七日午後八時奉天發急行列車で歸連したが、途中まで出迎へた埠頭現業員中の世話された三老人から眞實の話を打ち開けられ餘りの出來事に茫然としてゐたが、食堂車に入つてコップ酒をあふつて強て元氣を付けやうと努めてゐた、記者が刺を通ずるとさすがに包み切れぬ苦みを面に浮べながら

▼

御心配を掛けて眞に相すみません、世間を騷がしたお詫を申したいのですが、何分御覽の通り落ちついて居りませんので惡しからず

▼

とだけで眼を俯せるのみであつた柴田氏はわざと大連驛に下車せず沙河口驛で下車し、少數の出迎への人の悲しみの挨拶を受けつゝ自動車で直に慘劇の行はれた血腥さい自宅へと歸つたが、主人公を迎へた柴田家では急を聞いて駈けつけた埠頭關係者始め知人及び附近の人々によつて四つの遺骸を圍みしめやかな通夜が營まれた

手當の結果 犯人恢復す

二三日中には訊問

兇行後リゾールを呷つた加害者宮野謙(二七)は聖愛醫院に擔ぎ込まれ野田博士の應急手當で胃洗滌が行はれた結果辛ふじて生命を取止めるらしく、十七日午後五時ごろは眼瞼を開くまでに恢復してゐる、この容態なれば二、三日後には臨床訊問が行はれるものと見られてゐる

沙河口小學校 沙河口尋

曙の鐘 (229)

倉田潮 作　河野想多 畫

紫の海（三）

芳川が默りこんでしまふと、あけみは怒つて男の肩をついた。

「なぜ中途でやめるの。なぜ默りこんでしまふのよ。その先を詳しく話して下さいな。早く、早くさ」

仕方なく芳川は語り出した。

「私はその後、より子さんの云ふなりになつたのです。ならねばならない義理がありますものね。それにより子さんにはいろ／＼な戀愛の經緯があるし、私はその時まだ全く何も知らなかつたのですか

られ」

「では、あんた、およりの自由になつたの。おさなしく、云はれるままに」

「さう、さうです」

眼を閉ぢたままあけみは快よく羨ましげな笑ひを浮べた。が、急にきつと其の眼を開いて、男を見つめて、

「嘘だわ」

「何うしてです」

「でも、先程あなたはおよりに夢中になつたと云つたぢやないの」

「それはずつと其の後のことですよ。初めはより子さんを思つてもゐなかつたのですが、戀が深くなつて來るにつれて、私はだん／＼より子さんに引きつけられて來たのです」

「それで、何うしたのよ」

「戀人の爲なら何んなことでも、生命でも投げ出す氣になつたのですよ。だから假面舞踏會の夜…」

「誘惑で、汚らはしい淫らな方法で……賣女があんたを汚辱したのだわ」

あけみは憎惡に唇を顫はせながら叫ぶと、ひしと芳川にしがみついた。外の一さいの罪は許すことが出來ても、この芳川を誘惑して思ふまゝなことをした其の罪は許せない。芳川があんな女の爲に罪惡の泥濘によごされてしまつたのは、何んなに惜んでもなほ足りないではないか。

芳川はヒステリックなあけみの抱擁に驚きながら、しかし、その驚きを悟られないやうに、輕く女の腕に己の手をからんだ。と、あけみはまた癇高い聲で叫んだ。

「あの賣女にあなたは汚辱されたのだわ。玩弄されたのだわ。その時あの賣女が心の中で何んな淫らな得意の笑ひを漏らしてゐたか。ああ、堪らない氣がするわ」

芳川は答へる言葉を知らなかつた。海が次第に暗くなつて來た。

そして、その暗がりの中にたつた一つ漁船の灯が現れた頃には、夜空には既に幾つかの星があがつてゐた。芳川は急に思ひついたやうに女の腕に卷いた手をさいた。

「もう行きませんか。あけみさん」

「何處へ」

「何處へでも行きませう。泊るのは藤澤にしようとあなたは云つてゐましたね」

とあけみは漸く眼を開いた。

「私、もうあなたと泊るのがいやになつたわ」

およりとの戀のもぬけのからを戀してゐるのかと思ふと、あけみは急に悲しくなつて來るのだつた。なぜ早く自分が芳川を知つてゐなかつたか。自分が最初に芳川を戀しなかつたか。

「あけみさん」と芳川は立ち止まつた。「あなた、あの話で私がいやになつたのですか」

「いいえ、今のは嘘よ」と諦めて冷やかにあけみは答へた。「今夜は最初に見つけた宿屋に泊ることにしませうね。私、疲れたのですもの」

二人は各自分の思ひに耽りながら、默つて松林の丘を下りた。廣い野原を距て、春の柔かい闇の中に、村家の灯が二つ三つ寂しげに搖いで見えた。

「あの村の宿に泊りませう」

あけみは芳川の手を引いて、畦路を急いだ。

風が強くなつたので、背後からはがう／＼と松風の音が聞えて、その絶え間には永劫の悲しい響をちりばめた波の遠なりが、かすかに旅人を呼びかけてゐた。

第一回 滿日特選碁戰

四目込出 五先 先番 長谷川章（四段）　吳清源（四段）

黒	白
●四一ロの十四	○四二ハの十
●四三ロの十	○四四ロの九
●四五ロの十一	○四六イの十八
●四七ニの十五	○四八ホの十九
●四九ニの十二	○五〇ホの十二
●五一ニの九	○五二ホの十
●五三ハの九	○五四ハの十八
●五五ハの十	○五六ホの十一
●五七への四	○五八ホの十六
●五九ホの十七	○六〇リの十七

—【3】—

對局者の感想

白曰く　白四八はこの場合形ですから打ちました

黒曰く　黒四九、五一と打つたのは白を窄める繚ひはありますが打たずにおくと白直ちに（ニの十三）にやつて來て、黒（イの十二）に活きればなりません、それがツラいです

白曰く　白五八は今キリを利かしておかぬと、後では棄てられる恐れがあります

白曰く　白六〇は（トの三）に受けておくのですか知ら

黒曰く　受けられたら（ニの八）にハネ出して打つ積りでした

瀬越七段の評釋

白四二とユルメたが、これを五五にオサへると、黒四五、白四三、黒五〇とツケ越され、白四九　黒（ニの十三）白（への十二）　黒四二とキラれて、隅は死が殘るからマヅい

黒四七當然、若し五三にキレば白（ニの九）にハネ、ギウ／＼オシてくるから黒惡い

黒四九から五五まで少しも損をしない所は流石に藝が細かい、下方の黒が堅いから、これも嚴くはないだらう

白六〇は（トの三）に受けおくも一策だ、黒若し（ニの八）にハネ出せば、白（ニの九）黒四二の時、白（トの四）にオシて打つのだ、黒は（ニの七）に一着を要するから、その時白（ヨの四）にコスムのである、但し白（トの三）に受けると黒（ヨの四）にカケて打つ意味もあるから、實は考へ物ではある

けふの放送

大連 JQAK　三月十八日

▲午前七時 ラヂオ體操 ▲午後六時五十分 ニュース ▲露語講座「テキスト第卅一課」大連語學校講師グロースマン ▲ジャズ（新松旭齋天勝一座ジャズバンド）西田俊明、ホスコ石井、佐久間操、松坂正夫、北野昭夫、石井英二、宮津建一、水野操、三木義夫 ▲テノール獨唱 青木充宏 ▲ジャズ 西田俊明、ホスコ石井、佐久間操、松坂正夫、北野昭夫、石井英二、宮津建一、水野操、三木義夫 ▲音樂漫談「メロデーの再考査」白藤六郎 ▲テノール獨唱 順藤鐵 ▲ジャズ 西田俊明、ホスコ石井、佐久間操、松坂正夫、北野昭夫、石井英二、宮津建一、水野操、三木義夫 ▲ソプラノ獨唱 常磐靜子 ▲職業紹介事項 ▲天氣豫報 ▲ニュース

東京 JOAK

三月十八日午後六時三十分 ▲講演「發明の新興と世界の平和」伯爵清浦奎吾 ▲講演「産業と發明」商工大臣前田米藏 ▲航空座談會出席者未定

新刊紹介

▲つはもの（第三三二號）定價四錢、東京市牛込原町三ノ八つはもの社發行

▲同仁（三月號）定價二十錢、東京市神田區北神保町二十番地同仁會發行

▲大衆の友（三月號）帝國議會（谷村直義）時の問題（池田一郎）赤色救援會と勞農救援會（木村信夫）文化サークルの話（深谷進）ソウエート同盟赤軍の話（田村英一）定價二十五錢 東京市神田區美土代町四ノ五小川町ビル三階日本プロレタリア文化聯盟出版所發行

▲滿洲（三月號）定價三十錢、大連市大江町六番地滿洲俳句會發行

▲理科教育（第三號）定價四十錢 東京市小石川區雜司ケ谷町八七理科教育研究會發行

少女倶樂部（四月號）「誓ひの榮冠」「靜川御前」「麗はしき母」「少女百面相」「萬國の王城」等の好讀物が充滿掲載された以外に附錄として「日光陽明門」は素晴しいもの

少年倶樂部（四月號）「愛國特大號」と銘打つた本號は附錄に「愛國號」の飛行機模型をつけ、讀物は「海に戰ふ」「鷲の行方」「愛のスパイク」「日の丸塔」「貴い贈物」其他面白い讀物が全册を埋めてゐる

滿洲日報
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢

和平直接交渉に關し 日支の諒解愈よ成立
國民政府既に交渉開始回訓
けふ正式會議を開く

【上海特電十七日發】本日開催さるべき日支和平會議に出席すべき支那側代表は顧維鈞、郭泰祺、蔣光鼐、宋子文氏等、日本側は重光公使、松岡洋右氏、野村司令長官で、既に昨日までの豫備交渉で正式會議を開催の諒解成立したといはれ國民政府は既に昨日郭泰祺氏の請訓に對し回訓し交渉開始を命じて來てゐる、日本公使館は未だ回訓に接せずと稱しをるも本會議に參會するは明らかで本日の正式會議は確定的と觀らる

停戰交渉事實上成立
撤兵後は保安隊が警備か

【上海十六日發】重光公使は海軍側との打合せを待つて今夜八時から聯盟調査員一行を招待するため右會見は取止めとなつた、尚日支間に英大使を通じ支那軍が現在の日本軍占據地内に進出せざる事を條件に日本軍の租界外撤退問題も諒解成立せしもの如く、從つて停戰交渉は事實上既に成立したものと同樣である、而して治安殘る問題は日本軍撤退後の治安維持を如何にすべきかといふ點にあるが、この問題解決せば直に圓卓會議を開催の筈である、而して治安維持機關としては國際軍の編成、工部局委任統治等の意見あるも結局中立國の監督の下に支那保安隊をこれに當らしめる事に落着するものと觀られ、明日行はるゝ筈の重光、郭泰祺兩氏會見において具體化するものと樂觀的觀測が行はれてゐる

日支代表の說明聽取
けふ聯盟繼續委員會にて

【ジユネーヴ十六日發】上海事件の常設的審議機關たる十九國繼續委員會は十六日午後三時半非公開裡に開會、委員長より「日本代表より上海事件に關し日支代表間に暫定的協定が成立した」との通告に接した旨言明した、この結果十七日非公開で日支代表の說明を聽き午後公開會議を開く事となつた

繼續委員會 休會希望
事態好轉に鑑み

【ジユネーヴ十六日發】聯盟事務局は十七日午後三時半(滿洲時間十七日午後十時半)十九國繼續委員會公開會議を開催する旨發表した、なほ本委員會は上海における休戰協定が順調に進行し、事態が平和になればこの公開會議を最後としイーマン議長が必要と認めた際は何時にても即時召集し得るた條件として軍縮會議同樣イースターの休會に入らうと希望してゐる

機嫌取の宴會は今後一切お斷り
聯盟調査委員の悲鳴

【上海十七日發】リツトン卿以下支那調査委員一行は來滬以來のべつ幕なしの支那側御機嫌取りの御馳走で胃袋の休む暇もなく、支那料理の油つこい歡迎ぶりに降參悲鳴をあげ、顧維鈞氏と交渉、十七日の新聞記者歡迎午餐會と顧維鈞氏の晩餐會を最後として一切の歡迎宴に臨まぬ事とした

四國公使主催 歡迎晩餐會

【上海十六日發】英、米、佛、伊四國公使主催の國際聯盟調査委員招待晩餐會は十六日午後八時からキヤセーホテルにて開催され、各委員及び隨員四國公使の外、日本側重光公使、吉田大使、支那側顧維鈞、郭泰祺氏等出席した、調査委員參與委員として顧維鈞氏と吉田大使が顏を合せたのは今日が初めてで、デザートコースに入りランプソン英公使の歡迎の辭に次ぎリツトン卿が謝辭を述べ、日支及び關係各國を網羅したこの會は午後十時散會した

蔣光鼐戴戟等 活躍

【上海十七日發】十七路軍總指揮蔣光鼐、松滬警備司令戴戟は昨日午後三時杭州より上海に來り顧維鈞、郭泰祺等を助けて上海事件支那側軍事行動その他の資料を聯盟調査委員に提供報告すると共に聯盟視察の支那側案内人となること

きのふ長春驛に着いた溥傑氏(寫眞は長春驛にて、×印が溥氏)

滿洲國承認問題
中央滿蒙協會の建議

【東京十六日發】中央滿蒙協會は滿洲國承認問題につき内外の形勢と國論の歸趨に鑑み、その可否實行順序等につき慎重研究を進めたが、十六日午後三時同會事務所に評議員會を開催・協議の結果、第三回建議として左の意見書を政府に提出するに決し即日犬養首相始め關係閣僚にこれを申達した

滿洲國承認問題に關する建議
政府は日滿關係の特異性に鑑み既に成立をつげたる新滿洲國政府を事實上政府として當面の急要事項を商議すべく、その前途に安定性を認むる時はこれを對象として日滿關係の基本を確定し滿洲國自體の國際的地位を明確ならしむるためこれに承認を與へる方針で、内外政務を處理せらるべきものと信ず
右建議に及び候也(理由略)

海軍根據地として 葫蘆島築港を繼續
滿洲政府の海軍計畫

【北平十六日發】滿洲政府は渤海近海及び松花江警備のため海軍を設置するに決し、葫蘆島を海軍の根據地とする方針で從來葫蘆島が大連港に對抗すべくオランダ築港會社と契約して滿洲事變以來工事中止中だつた葫蘆島築港を繼續する筈

犬養兼攝内相 各宮家に伺候

【東京十七日發】犬養兼攝内相は十七日午前九時半各宮家に伺候し内相兼任の挨拶を述べ、十時半官邸に歸邸、臨時閣議に臨み午後内務省に登廳就任の挨拶を述べた

佐藤全權壽府滯在

【ジユネーヴ十六日發】佐藤全權は休會中の不測の事件に備へるためベルギーに歸らずジユネーヴに滯在することに決定した

參謀總長をも 蔣介石兼任

【洛陽十七日發】洛陽政府は十六日附で參謀總長朱培德の辭職を許し改めて軍事委員會辦公廳主任に任じ、參謀總長は蔣介石の兼任とし名實共に蔣の獨裁制を完備する事となつた

野黨にも委員長を讓り 議會の品位を向上
山本条太郎氏熱心に提唱努力

【東京十七日發】議會の亂鬪事件や疑獄事件等續發した〻めか、最近議會政治否認の聲さへ高まりつゝあるに鑑み、政治淨化、政黨の革新、議會の品位向上等が叫ばれてゐるが、政友會もこの空氣に刺戟され山本条太郎氏は政友會が絕對多數を取つてゐる事であるから、大政黨の襟度を示し常任委員長の如きも獨占せず民政黨に對し委員長を讓り圓滿に議會を切拔け亂鬪の如きは絕對に惹起せぬやうにするために政民兩黨の幹部が會見し議會の品位向上を圖り議會政治の信用を高めるやうにしなければならぬといふので首相始め各幹部等にこの意見を述べて民政黨に對しても働きかけたが何處まで進展するか興味を以て觀られてゐる

内相更迭後の 對貴院策

【東京十七日發】内相更迭の結果政府は櫻田門外事件並に帝都治安維持に關する直接責任者が辭職した以上は貴族院も出鼻を挫かれた形となつたので、表面的にはやゝ樂觀するに至つたが、臣節問題もあり且つ内相更迭で閣内黨内の不統一を暴露するに至つたので、貴族院の民政系議員が如何なる方策に出づるやも測られ難いものあるのでこの方面の動靜に深甚の注意を拂ふと共に引續き各方面の諒解に努める事となつた

臨時議會の日程

【東京十六日發】軍事費の協贊、金兌換停止を始め緊急勅令五條の事後承諾を求める第六十一會臨時議會は愈々十八日召集されるので與黨政友會は本日午後二時より所屬議員總會を、野黨民政黨は午後一時より黨大會に加はるべき兩院議員の聯合會を開催し、臨時議會に臨む陣容を整へたが、召集當日貴族院は午前九時開會、議席及び部屬を定め各部において議長及び理事の互選をなし成立を告げる一方、衆議院は午前十時開會、田口書記官長議長席につき正副議長選擧をなし即日勅任される筈であるが、十九日以後の議事日程は左の如くである

▲十九日 衆議院成立
▲二十日 貴族院で開院式擧行
▲二十一日 春季皇靈祭のため休會
▲二十二日 衆議院本會議及各委員會を開き各議案全部上程可決
▲二十三日 貴族院本會議及各委員會を開會、各議案を上程する
▲二十四日 同上各議案全部可決
▲二十五日 午前十一時貴族院で閉院式擧行

議長候補に 菅原氏
東北團體決議

【東京十七日發】政友會東北團體所屬議員は十六日午後五時芝紅葉館に集合、内閣改造問題につき意見交換後、議長候補として黨の長老菅原傳氏を推すに決定八時散會した

けふ臨時閣議
議會對策が決定

【東京十六日發】十七日午前十一時より開かれる臨時閣議においては臨時議會對策に關する臨時閣議において犬養首相より内相の辭任並に首相自ら兼攝の事を報告、諒解を求め、次いで議會に臨む事とゝなつた

軍縮會議は 來月中旬迄休會
獨、佛總選擧等で期間延長

【ジユネーヴ特電十六日發】軍縮會議は開會以來既に四旬を經たが審議は遲々として進まず空漠たる抽象論に終始して居る有樣だが、今朝の幹部會では十九日より豫定された前後二週間の休日を更に四月十一日まで延期するに決し、事實上本日の一般委員會を最後として再び冬眠狀態に入ることゝなつた、一般委員會が休會となればその所屬各分科委員會も當分休會する外はなく遲くとも明日委員會の會議が開かれゝば關の山であらう、斯く復活祭休會を延期したのはプロシアの總選擧が内政上の理由で四月十日に延期されたのとフランスの總選擧が行はれるなどのためである

休日明後に 議事進捗

【ジユネーヴ特電十六日發】軍縮會議一般委員會は本日の會議で愈々復活祭休日に入つた、本日の會議では議長ヘンダーソン氏、米代表ギブソン氏以下八ヶ國代表いづれも復活祭休日後に熱心に會議の議事を進捗せしむべきことを言明特に議長ヘンダーソン氏は各代表に對し休會中を利用し侵略的武器並に非人道的戰爭的形式の撤廢に關する各自の主張を具體化した案を練ることを要請した

會議促進案提出

【ジユネーヴ十七日發】軍縮會議アメリカ代表ギブソン氏は左の決議案を提出し會議を促進した
軍縮會議四月十一日再開早々原則問題に全力を集中し、政治委員會、一般委員會は毎日午前午後の二回連續的に開會する事

技術委員會設置

【ジユネーヴ十六日發】軍縮豫算委員會は十六日最終の會合において技術委員會を設置しなほ各國に對し軍事豫算の總額及びその統制方法について質問書を提出しイースター休日中に回答を求むる事に決定した

國防費委員に 建川少將が任命

【ジユネーヴ特電十六日發】軍縮一般委員會所屬國防費委員會は本日會議で各國の國防費を檢討報告する分科委員會を任命し四月十一日まで休會に入つた、右分科委員會には日本代表部より建川少將が委員に任命された、空軍委員會も亦同樣決議を審議中であるが本日決定を見、十七日午前會議を續行する

民政黨幹部 今後方針を協議

【東京十七日發】民政黨の首腦部たる町田、原、櫻内、頼母木、川崎(卓)、永井の六氏は黨として今後進むべき最高政策に關して協議するため十六日午後九時より院内の町田總務邸で會合し、院内役員、總裁擁立運動並に安達氏の復黨運動等に關し種々隔意なき意見交換の結果、此際總裁を中心とする黨内の一致結束を圖るに決し、黨の進むべき一途に邁進する事に意見一致し散會した

久原氏園公訪問

【東京十七日發】久原政友會幹事長は十六日午後八時西園寺公を訪問黨内の事情並に對支問題につき意見の交換を行つた

事變並に聯盟の 經過報告に止む
芳澤外相の施政演說

【東京十七日發】芳澤外相は來る臨時議會において犬養首相の施政方針演說に引續き外交方針に關する演說を行ふことに決定したので十六日午後四時より外務省に首腦部參集、右演說草案に關する協議を遂げ十七日の臨時閣議に附して正式決定を見る事となつたが、右外相の演說は主として滿洲事變、上海事變及び國際聯盟に於ける外交經過の報告で滿洲國承認問題等には觸れぬ見込のものである

事變費豫算 總額五千二、三百萬圓
けふ閣議に上程決定

【東京十六日發】臨時議會に提出すべき軍事費豫算は大藏省と關係各省との間に折衝中であつたが、十六日漸く纒まりを見たので十七日の閣議に上程する事となつた、その總額は五千二、三百萬圓に上り内容左の如くである

一、昭和六年度追加豫算三月分の殘り滿洲及び上海事件費七百三十餘萬圓
一、昭和七年度追加豫算四、五兩月分の滿洲上海事件費二千五百餘萬圓、臨時費二千萬圓、合計四千五百萬圓

右豫算の中には一般外者に對する一時賜金六十萬圓、上海よりの軍隊歸還費五十萬圓も含まれてゐる、而して財源は全部公債に仰ぐ外無いので滿洲事件費公債を同時に提出する事になつてゐる、なほ本年度の恩給が豫算よりも增加して約百二十餘萬圓の剩餘金支出を行つたが未だ不足するので昭和六年度追加豫算第二號として要求する事にならう、而して是も財源は公債に仰ぐ筈

事變の行賞 五月頃から發表

【東京十七日發】滿洲、上海兩事件の論功行賞は目下關係當局で審議を急いでゐるが、今回の事變は期間、人員、彈藥の消費數共その規模の大なる事シベリア出兵、濟南事件の比で無く金鵄勳章受勳者も相當多數に上るべく、これが公表をみるは五月となり一般に對する行賞はこれより遙かに遲れる筈

上海歸還部隊 乘船順序

【東京十七日發】上海より凱旋する陸軍部隊の歸還に關する細部については未だ中央部に報告はないが下元、成二十四旅團が來る十八日乘船するを先頭に兵站部その他特科隊善通寺第十一師團の順序で乘船する事に決定した

經登參謀赴任

多門將軍の幕下にありその才能を認められてゐた經登參謀は今回新に滿洲國の軍政部顧問に栄轉、十七日出帆はいかる丸に乘船任に就いたが、出發にのぞみ語る、色々お世話になつたよ、…

はるぴん丸
十八日午前九時半大連港外着の豫定

人事

▲松田芳助氏(新任佐縣地方事務官)十七日出帆ばいかる丸にて内地へ
▲栃内壬五郎氏(前滿鐵社員) 同上
▲佐藤善助氏(計理士) 同上
▲松山忠二郎氏(本社社長) 同上
▲阿部眞言氏(泰東日報社長) 同
▲矢我崎正治氏(海軍中佐) 同上
▲松隈吉郎氏(滿鐵社員) 同上
▲親登行一氏(陸軍中佐) 同上
▲伍堂卓雄氏(滿鐵理事)十七日朝九時發列車で撫順へ
▲寺田虎次郎氏(三菱大連支店長)十七日午前九時發列車で奉天方面へ出張
▲小須田常三郎氏(滿鐵商工課長)十六日夜行にて奉天へ

滿洲事變にもぶつつかつた軍人として名譽な事と思つてゐる、今この懷しい滿洲を去るのは心殘りがしてならぬが、どうやら滿洲國の建設も出來上つたし一段落を告げたんだから、しばらく本國勤めをする、今後も滿洲とは切つても切れない關係を續けて行きたいものだ

滿鐵事業報告 打合せ

【東京特電十七日發】江口滿鐵副總裁は十六日午後一時より麻布狸穴町社宅に木村、村上、首藤、竹中各理事、新被顧問、大淵支社長等の參集を求め政府に提出する事業報告の打合せ、その他重要事項につき種々協議を遂げ同三時散會した

執政府閣議

十七日午後二時より執政府において閣議を開催することになつてゐるが治安維持、國内支部に對する今後の對策その他相當多數の議案が提出される筈、なほ閣議においで決定後發表さるべきものは十八日午前十時總務廳において鄭垂氏より發表を見る筈【長春電話】

◇
議會政治の向上、それは暫く措き、差詰め議場の淨化は誰しも望む所、政友會が絕對多數であるが故に、これによりて少數黨を輕んずるので無い樣に。
◇
外人に對する侮蔑惡を含む文句を學校教科書より削除す可き事これが軍縮草案の文句、成程國際間の惡感を除けば軍備に資するわけ、隨つて支部は軍縮精神に反する譯か。
◇
滿洲國の省廢止が傳へられるかと思へば、新に興安省が出來た、但し省はあつても、從來の樣な獨立的の省制は廢止されねばならぬ
◇
溥儀執政を始め、臧國務總理以下の新政府要人、一意王道政治に急ぐ、いつまでもこの意氣を失はざれ。
◇
若槻男の總裁は不評、床次氏は内相の椅子に坐る、但し兩者共血眼に狙はれて居た、つまらぬ方面…

東亞の謎 (219)
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

庫倫の春(三)

外國の力を借りることによつて自國の一方の競爭相手──反對黨を斃すといふことは、外國に利權を奪はれることで、結局亡國的政策であるので、ダンサンといへども出來得べくんば、自力を以て反對黨を斃し、蒙古を統一したいものと、心にかけた次第ではあつたが、既に蒙古はソウエート露西亞によつて、一切の實權を握られて居り、反對黨の青年蒙古黨が、それの前衛となつて活躍してゐる以上は、さうていい自力では敵を斃すことが出來ず、何處かの有力外國の一つを、味方として援助して貰はなければならず、それには人種を一つにし、任俠的であり尚武的であり、殊には近い距離にある日本に、援助を乞ふのが一番よかつた。

そこで彼は彼の弟、ダットと一緒に日本へ渡り、朝野の名士と交はつたり、日本の文化を學んだりし、歸國するや同志を語り、蒙古に無盡に埋沒してゐる、砂金、鐵、石炭その他の、天産物を發掘するために、日本の科學者を招徠し、國教であり蒙古全民衆の、信仰心を支配してゐる、喇嘛教へ新しい光と力とを、注ぎ入れて宗教の改革をするために、日本の一流の宗教家を招き、無智と迷信と陋習と、非近代的思想に捉はれてゐる、多くの蒙古人へ時代に適應した、新しい教育をして貰ふために、日本一流の教育家を招き、更に完備した憲法と、又完備した法律とを、編纂して貰ふために日本一流の、法律家を招徠することにした。

ところが不幸にもヤポン・ダンサンは、反對黨の刺客の手によつて、非業の最後を遂げさせられて了ひ、彼の大目的もこれがために…

兄の遺志を繼いだのが、弟のヤポン・ダットであつて、彼の新蒙古國建設の目的、又その手段も兄ダンサンと同じく、日本に援助して貰ふことであり、科學、宗教、教育、法律の、一流大家に來て貰つて、力を添へて貰ふことであつた。

で、彼は松下伯爵や、その妹の松下洋子や、小桜次郎といふやうな、日本人と交はりを結んだことを、衷心から喜んでゐるのであつた。

併しダットの今の境遇は、日本の一流の人士を招いて、國策を建てるといふやうな、よい境遇には置かれてゐなかつた。

彼の首には賞金がかゝつてゐる、發見されたら捕縛され、捕縛されたら銃殺される──さういふ境遇にゐるのであつた。

…紅衛隊や赤衛隊や、青年蒙古黨の黨員たちから、つけ狙はれてゐる身分であつた。が、彼は恐れなかつた。

大膽で小心の性格者の彼は、偽装を巧に潛つて、到る所の秘密集會所へ出て行き、主義を述べ理想を說き、事務を執り黨員を鼓舞した。

さて戒夜のことであつた。東部庫倫の北の外れの、可成り大きな蒙古屋敷の奧の、小廣い部屋でダットと洋子とは國民黨の五人の幹部と秘密の會合をやつてゐた。

ウリハイといふ四十年配の、顏の濃い男が心配さうに云つた。

「ダット君用心しなけりやア不可ない、保安部の奴等が君の來たことを、どうやら嗅ぎ付けて知つたらしい」

「有難う、恐ろしい用心しやう」…

ボーイ血達磨となり無殘、母子四人を殺す
兇行後に服毒して自殺を圖る
櫻花臺・血の海の慘劇

市内櫻花臺七七番地大連埠頭事務所船舶係助役柴田嘉雄方で夫人キシ子（三三）が全身十數ケ所の刺傷を負ひ鮮血に染つて表玄關土間に卽死してをり奥十疊の間には長女綦子（七）が眞裸のまゝ蒲團のうへに俯伏せとなつて殺されそのすぐ横の疊のうへに次女冴子（五）と長男京助（二）が枕を並べて血海の中に見るものをして慄然たらしめる殘虐極まる殺され方をしてをり更に玄關脇きのボーイ部屋にかへり血を浴びて全身血達磨となつた同家のボーイ宮愁勝（一八）が多量のリゾールを呷つて斷末魔の苦みにあへぎつゝあり屋内はさながら惡鬼が暴れ狂つた如き凄慘そのものと化してゐるを十七日午前九時三十分出入の御用聞きの訴へにより初めて發見された、夫人と子供三人を慘殺した犯人は服毒せるボーイ宮愁勝の仕業と判明し世にも稀なる親子慘殺事件は市民に大きいショツクを與へてゐる

手當り次第の兇器で惡鬼の如く狂ふ
殘虐極まる兇行模樣

十七日午前九時三十分ごろ市内櫻花臺七七番地大連埠頭事務所船舶係助役柴田嘉雄方へ出入の雜貨屋が御用聞に訪れると表玄關硝子戸が

血潮 のしぶきで眞紅に染り、ドアの隙間から夥だしき血潮が流れて出てゐるを發見、直に沙河口派出所員が駈つけ窓硝子を破つて屋内に入つて見ると何たる悲慘！屋内は疊、障子、壁といはず血沫をあびて物凄く、階下、階上の部屋といふ部屋は足の踏場もなき血潮の海と化しその凄慘さ見るものをして慄然たらしめた、血海中には長女綦子（七）が眞裸にされ頸動脈を鈍器で二ケ所突き刺されて南向に俯伏せとなり、そのすぐ横には蒲團からはみ出て次女冴子（五）が同じく頸動脈を見事に

切斷 されて北向き斜に上向きとなり、それと殆ど折重なつて長男京助（二）が咽喉を突きえぐられて北を枕に何れも無殘極まる殺され方をしてをり表玄關土間には夫人キシ子が頸動脈二ケ所、兩足部に四ケ所、腹部に二ケ所、肩先に三ケ所と殆ど全身に亘り突傷や斬り傷を負ふて鮮血にまみれ西向きに横倒さとなつて卽死してゐた兇器は斧、菜切庖丁、刺身庖丁、鉈、錐先、出刃庖丁などあらゆる鉈鈍兩樣の兇器が使用されてゐるところを見ても兇行が如何に殘虐であつたか想像される、斧、菜切庖丁は

湯殿 に投げ込まれ、刺身庖丁と鉈は炊事場の流槽に漬せ錐先はボーイ部屋に投出してあつた

守ること、なつたが、加害者ボーイ宮は未成年者であるのに夫人の美貌に懸想し兇行時刻と推定される十七日午前二時乃至三時頃夫人の寢室に忍び寄つたところを夫人に手嚴しくはねつけられ遂に野獸性を發揮してこの兇行に及んだものと見られてゐる

加害者が半裸體となつてゐたのもこの間の事情を物語つてゐる、なほ加害者は兇行後湯殿で鮮血に染まつた手を洗ひ落したものらしく湯殿の中にも血がしたたり、バケツの水は眞赤に染まつてゐた、更にボーイ部屋には半裸體となつたボーイ宮愁勝（一八）がリゾール一瓶を嚥下し苦悶してゐるを發見した急報により大連檢察局から池内檢察官、大連署から花井署長、千葉司法主任、香取警察醫ら出張檢證を遂げたが流石檢證官もこの凄慘な現狀に面をそむけた、なほ瀕死の重態にあるボーイ宮は直に自動車で聖愛醫院に收容、應急手當中であるが生命危篤である

加害者の身許

加害者のボーイ宮愁勝（一八）の原籍は山東省福山縣で昨年八月九日柴田氏が市内櫻町五七番地にゐた頃雇つたものであるが、この以前には濱町湯屋三盛號に使はれてゐたことがある

夫人は死力を盡し最後まで抵抗した
兇行は今曉二、三時頃

常生活狀態から見て強盜、怨恨の目的ではないらしく大連署では夫人の死體解剖を行ふこと、なつた卽ち柴田方では主人嘉雄氏は社務を帶びて十五日夜行で營口に出張し夫人と子供三人が留守をしてゐるのは夫人が窓の掛金を外して屋外に飛び降りやうとしたものらしく、こゝにも犯人と格鬪したらしい血の足跡が殘されてゐるが夫人は階上から脱れる目的も達せられず更に階下に驅け降り最後に表玄關から逃げ出さうとするところを犯人に引き戻されこの場で頸部の致命傷を負はされ卽死したものと見られてゐる

無心 な可愛盛りの子供三名を慘殺したのは夫人を殺した以前か以後か判然としないが多分夫人との格鬪で目を醒まし恐ろしさの餘り泣き出したので犯行の邪魔と思つて三人を突き殺したものらしい、母子四人を慘殺した犯人は脱れられぬを知つて應接間の開き戸にあつた掃除用のリゾールを取り出して呷つたものであるらしく警察官が駈つけた時は全く虫の息であつた

人間業とは思はれぬ殘虐極まる兇行を敢行した下手人はボーイ宮愁勝であることが犯行模樣によつて判明した、兇行時刻は母子四名の死體が硬直してゐる點及び電氣のスイッチに犯人の血糊の

指紋 が附着してゐる點から見て今曉二時乃至三時頃と見られこれだけの大慘劇を演ずるには短くとも一時間以上の大格鬪が行はれるものと推定される、室内は椅子、机が顚覆し疊の上には夫人や加害者の血の足跡が入り亂れて附着してゐるところを見ても夫人は死力を盡して犯人に抵抗した

形跡 が歴然と殘されてゐる

さらに夫人は逃げ迷つて階上に駈けたものらしく階段には血潮がポタ〳〵と滴り二階の窓脇には多量の鮮血がかたまつて流れる

夫人に迫つて拒まれ兇行
主人は營口に出張中

慘劇の原因は何か？加害者危篤のため詳かでないが現場の狀況、日

強氣だつた夫人
日頃は優しいボーイ
隣家で驚いて語る

被害者一家と昵懇の間柄であつた隣家の岡崎弘文氏夫人は語る

柴田さんのお宅は毎晩九時頃には必ずお寢みになるのに昨夜はどうしたものか十時頃までも電燈がついてゐたので或はお子供さんの病氣（長男京助が病氣で通院中）が惡くなつたのではないかと心配してゐると間もなく電氣が消されましたそれからは何んの物音も聞えませんでした

今朝のことです、午前九時になるのに奥樣が病院に行かれないので心配して女中を見にやりましたが戸締りがして開かないといつて歸つて來ましたが虫が知らすのか非常に胸騷ぎがするので私自身で見にゆきましたが横の窓から内部を窺つただけでお留守だと思ひ歸りましたがこんな恐ろしい兇行が屋内で演ぜられてゐようとは夢だに思ひませんでした奥樣は非常にお氣の強い、氣位も高い方でどちらかといへば變つた性格の持ち主で近所との交際も餘りありませんでした、加害者のボーイは日頃非常に優しい男であのボーイがこんな恐ろしい兇行を演じようとはどうしても思はれません

兇報に埠頭事務所おどろく

兇報を知つた滿鐵埠頭事務所は俄然大騷ぎとなり谷川船舶主任その他船舶係員並に渡邊庶務課長は早速柴田氏宅に急行したが一方柴田氏は目下社命を帶び營口に出張中のこと、て直に營口に通知するなど變色みなぎるうちに多忙を極めこの係室に行つてもこの噂に充たされ今更乍ら柴田氏の不幸をいたんでゐる

柴田氏は出發前に虫の知せ

柴田氏の勤務してゐる埠頭事務所同僚の語るところによると柴田氏は今度の營口に出張する際出發にのぞんで何時もになく元氣がなく若し營口に行けば氷詰めにでもなりそうな氣がすると言つて居つたので今から考へて見るとこの出張中に不幸があることを出發の時虫が知らせたのでせう

鞍山製鐵所採鑛課長
久留島氏拉致さる
煙臺出張中匪賊來襲

鞍山製鐵所採鑛課長にして鞍山郷軍分會長久留島秀三郎氏は社用のため十六日煙臺炭礦に出張中十七日朝炭礦附近において匪賊の襲撃をうけ同行の支那人數名と共に人質として拉致された、詳細不明

＝寫眞は久留島氏＝【鞍山電話】

血盟團のピストルは八挺とも大連で購入
憲兵隊の證明で海軍中尉へ
他にも不明の十五挺

井上前藏相、團男爵を暗殺した血盟團使用の拳銃が何れも帝國海軍軍人が大連入港の際市内銃砲店において購入されたものであることが井上氏暗殺犯人小沼正の自白に依つて明かとなり警視廳より大連警察署並に水上警察署宛拳銃の出所に關する照會の飛電が數回入り十六日夜、水上署廣田保安主任が市内銃砲店を取調た所昨年四月第一

艦隊が當地に入港 した際市内濱速町坂本銃砲店に於て七日より十一日までの五日間に海軍々人に對して十五挺のブローニング及びモーゼル拳銃が賣り出されておりその後の消息が不明となつてゐることが判明したので直に銃型、番號、購入者氏名等長文の返電を發したが同時に小沼正の自白に依る問題の故藤井少佐に關する八挺の拳銃は昨年七月二十九日大村航空隊の重爆機が大連に飛來した際姓名不詳の海軍中尉によつて八名の海軍士官の名を以て當地日滿商會より購入されたもので右

八名 の中には當の藤井少佐の名前も加つてゐることが判明した

右拳銃八挺購入の方法は前記姓名不詳の中尉が八名の士官より依頼されたるものであると稱し大連憲兵分隊長の證明の下に大連警察署より讓渡許可書を得て日滿商會よりブローニング拳銃三號型一挺につき二十二圓の價格を以て彈丸百發つきで購入したものであるがこの内五挺までゐたものである、五挺の內小沼が暗殺團血盟團員の手に渡つてゐたもので、五挺の經路は既報の如く明かとなつたが他の四挺の經路については目下調査中である

更に坂本銃砲店より

發賣 された前記十五挺の拳銃に關しても藤井少佐の八挺の拳銃購入期と大體時期を同じうしてゐるので右十五挺が海軍々人の手を離れて民間に流れ出てゐる場合を豫想して相當憂慮されてゐる

坂本銃砲店談

右に關して坂本銃砲店主は語る

內地とちがつて當地は無稅である關係上拳銃一挺について內地よりはどうしても五圓以上安くなります、それで艦隊が入港すると必ず拳銃が相當軍人に賣れるのですが、昨年七月入港の際も十五挺拳銃を賣りました、ブローニングやモーゼル等色々ですが、軍人さんのことですから普通の一割引で、彈丸百發附きでモーゼル一挺卅圓位で賣りました、ブローニング一挺卅三圓、ブローニング一挺卅圓位で賣りました帳面を調べれば拳銃番號や購入者の氏名も皆わかります、軍人は當地では大連署から讓渡許可書さへもらへるので火器取扱ひ上最も必要な携帶許可書は內地へ歸つてから吳なら吳、佐世保なら佐世保で取ればよいのです

この樣に割合に自由である關係上拳銃の行方も相當やゝこしくなつて來るのです、しかし今後は軍人と云へども相當嚴重に取締まられることになるでせう

小沼正も出所自白

【東京特電十七日發】井上前藏相を射殺した小沼正は十六日市ケ谷刑務所で菱沼が團男を射殺した事並に井上日召、古內榮司、その他一味が逮捕された事を聞き駭然として今迄拳銃は故少佐から貰つたとのみで口を緘してゐた流石の彼も觀念したものか

件のピストルは故藤井少佐が大連で入手した八挺の中の一挺に相違ないが自分のピストルは直接受取り菱沼、黑澤並びに田倉田中の兩名の分は古內から渡されたものである

と男らしく申立てるに至り、所謂血盟暗殺團なるものゝ携帶せるピストル八挺の出所も判明し今後の取調は順調に進むものと觀られて居る

支那正規軍が綏中驛襲擊
三十分交戰して擊退

十七日午前四時五十五分綏中驛附近に突如銃聲起り間もなく守備隊驛に向つて約三、四百の支那正規軍襲擊し來り猛射を開始し驛を包圍したので守備隊及び驛員は協力してこれに應戰し一方電話電信を以て滿帮子、連興城驛に通報し各地の軍隊と連絡中折柄第六〇二列車が午前四時五十八分同驛に進入したので危險のため一時構外に退行せしめ接近する敵と三十分に亘り激戰を續け漸く擊退した、戰鬪において機關銃隊步兵一等兵牧野豐廣は右肩及び左掌に盲貫銃創を負ひ敵は大隊長以下五名の死體を遺棄し逃走したが多數の負傷者を出した模樣である【奉天電話】

寫眞說明

【上圖】慘殺された柴田氏家族【中圖】慘劇の生命危篤の犯人支那人ボーイ【下圖】慘劇の家〇印は子供三人が殺された寢室×印は夫人が倒れてゐた玄關

天氣豫報
十八日 南西の風晴 後曇

各地溫度

	十七日午前十一時	十六日最低
大連	三、七	零下七、三
旅順	四、二	同 八、五
營口	一、一	同 一〇、五
奉天	零下三、九	同 一六、三
長春	同 四、四	同 一九、〇

けふの小洋相場（正午）
金百圓は一五二圓六五錢

●訂正● 既報「アパートを女給とダンス」と題する記事中備後アパートとあるは隣家吉野アパートの誤りにつき訂正する

武門血笑記 (87)

下村悦夫作　布施長春挿畫

道中双六(七)

うさくさ、少し睡つたかと思ふと、作樂は崖から眞逆さに落ちる夢で、はつと眼が醒めた。身體の節々が抜けるやうに痛み續けてゐる。

ふさ、見ると、圍爐裏の火が消えかゝつて、暗闇の中で燒け殘つた薪から、白い煙がすつと立ち登つてゐる。

作樂はむつくりと起き上つて、傍にある枯木の枝を投げ入れた。と、間もなく、ぱつと燃え上る火焔――

それに照らされて、すぐ圍爐裏の向側に、繩を喰縛つたまゝ、氣を失つて仰向けに斃れてゐる鮫五郎の姿が浮び上つた。

(助かつたのだ)

それはこの半日しつきりなしに感じてゐる事ではあつたが、作樂は、こう思ふ度に、腹の底から込み上げて來るやうな悦びを感じたが、直その後から、何時も

(照枝はどうしてゐるだらう)

さう考へると、一瞬もじつとしてゐられないやうな苛立たしさに驅り立られるのであつた。

作樂が崖の途中にある灌木の茂みにのしかゝつたまゝ、意識を回復したのは、その日の八ッ時であつた。

腕に絡み附いてゐた取繩が都合よく五六間上の木の幹に絡はり附いたのであつた。

作樂はその繩を手繰寄せ、それをまた別の木の幹に引括つて、谷底の方へ下りて來た。

と、その途中で、鮫五郎がこれも木の茂みに引掛つて氣を失つてゐるのを發見した。

作樂は、それを、其儘にして行かうとしたが、何を思つたか、自分の持つてゐた繩を利用して、兎に角にも、谷底まで運んでやつた。

さうして、自分は谷に沿ふて、十町餘りも下つてゐる中に、この炭燒小屋を發見したのであつた。

どんな風に話したのか、作樂はその小屋の老爺に金をやつて、鮫五郎を小屋まで運ばせた。が、鮫五郎は未だ息はあるらしいが、手を震ふてゐる上に打處が悪かつたと見えて、一寸[illegible]かつた。

さうしてゐる中に、日もとつぷりと暮れたので、作樂と氣を失つた鮫五郎は、こうして圍爐裏を圍んだまゝ、この小屋で一夜を明かすことになつたのである。

作樂は、眠られぬまゝに、腕を組んだまゝ、今日の出來事を、じつと考へ込んでゐた。

人里離れた山奥の萬籟寂たる靜けさ、山水の落ちる谷川の音が、幽かに聞えるばかりである。

(今日の事は、どう考へても、この男の細工に違ひない、息を吹きかへしたら、口を割らして……)

作樂はそんな事を考へながら、だらしなくぶつ斃れてゐる鮫五郎の姿を、じつと眺めた。

と、不意に、作樂は、鮫五郎の懷からはみ出してゐる胴巻に眼を止めて、そつと手を伸ばすと、するとそれを引出して、金包の方には目もかけず、一緒に仕舞ひ込んでゐた二通の書き物を取り出した。

圍爐裏の中に薪を入れると、ぱつと燃え上る焔の光――

作樂はその書面を讀み始めた。

一通は、照枝の人相書、作樂に就いては調べが屆いてゐないと見えて、たゞ武士體の男と書いてゐるだけであつた。

別の一通は、京の東奉行、長谷川監物から、各藩の役人達に、これ〳〵の者召取りに就いて、この書面持參の者に助力を願むと云ふ依頼狀であつた。

作樂の眼が、あり〳〵と悦びに輝いた。

さうして金包は胴巻に入れたまゝ、鮫五郎の懷に返して、その二通の書類を自分の懷に仕舞ひ込んだ。

軈て、夜が明けかゝつたと見えて、ほの白い曉の光が、戸の隙間から、ぼんやりと差して來た。

續白痴の弟殺し　河合映畫のお涙頂戴映畫として好評を博した「白痴の弟殺し」續篇で琴糸路のお秋に五味國男の青島[illegible]石綿晴夫監督作品【次週寶館上映】

新興滿洲國 映畫と講演の夕
明夜滿日講堂で開催

本社主催で明十八日午後七時から滿日講堂に於て新興滿洲國の映畫と講演の夕を開催するが、上映々畫は本社撮影の「新興滿洲國」三巻でその内容は奉天に於ける溥儀氏執政就任の實況、新國家建設祝賀行列及び産業の滿洲國を紹介した吉林、省城吉敦線と敦化の情況等を記録したものである、また講演は關東軍參謀臼田少佐の「新國家に就て」と題する興味あるもので映畫と講演と相俟つて意義ある夕として期待されてゐる、なほ會場整理費として金十錢を申受ける

千惠藏映畫 金的力太郎 帝國館上映

これも亦、伊丹萬作と片岡千惠藏コムビになる朗かな時代劇作品である、相變らず伊丹萬作の良さが千惠藏によつてスクリーンに沁々と描き出されてゐる

ストオリイは有名なモルナールのリリオムからヒントを得たもので伊丹萬作の脚案脚色で、兩國見世物小屋の客呼び金的力太郎(千惠藏)がおそめ(佐久間妙子)を得たのが、小屋の持主おれん(衣笠淳子)と喧嘩して馘首され失業の末、悪事未遂から江戸を賣り、やくざ渡世となつて何年か振りで江戸に歸り、仲の悪かつた富藏の女房になつたおそめの姿に一度は怒つたが、すべてを涙のうちに了解して父性愛から男らしく立上るまでを描いたものである

伊丹萬作のメガホンは例によつて調子の良い話術とタイトルの輕快さを以てスクリーンに快味を與へ乍ら、ガッチリしたコンチニテイを以てヒタ押にローマンチックな手法を以て涙と笑ひのしみ〴〵とした心境を描き出して、所謂伊丹物の良さに終始してゐる

千惠藏の伴天姿の客呼びから長脇差への轉身も「一本刀土俵入」の樣に鮮やかで、持味を生かして所謂千惠藏物らしい風貌をスクリーンに描き出してゐる、それにこの映畫の相手女優として日活から選ばれ佐久間妙子のおそめが期待された如く素晴らしい出來で千惠藏との意氣がぴつたりと合つて、却つて衣笠淳子のおれんの方が場違ひな感じを抱かせる程優れた好演技を示してゐるのが注目される

その他キャストは瀬川路三郎の提婆の次郎吉、香川良介の富藏、尾上華丈の留吉、瀧澤靜子のおさく、南幸枝のお稲、林誠之助の許婚等いづれも持役で、伊丹監督の俳優指導はいつも乍ら手に入つたものである

カメラは例の如く石本秀雄で特異なワークはないが、大體好調で、川端その他のセット撮影の遠景に書割を使つたのも何となく淡いローマンチックな味を出して效果的である

バテー倶樂部例會

大連バテー倶樂部では三月例會を十八日午後七時から山縣通土地協會ホール(大連寫支店二階)で開催プログラムは左の如くである

一、新作映畫 滿洲事變、上海事件、スキー、天一坊と伊賀之亮、影法師出現、少年軍、お、妻よ、青い鳥、水戸黄門等
一、撮影會フヰルム互選(入賞者三名)
一、會員作品
一、撮影に關する座談研究會

根岸耕一氏 近く來連 目下滯奉中

總選擧に政友會の公認候補として東京府第六區から出馬し不幸落選した前日活常務取締役根岸耕一氏はその後滿洲國建設と共に新滿蒙の天地に映畫事業を目論んで奉天を中心にスタヂオ建設の計畫説が傳へられつゝあつたが、同氏は去る九日以來來奉中で各方面と新事業に關する折衝を重ね來る廿五日奉天發來連の豫定である、同氏來連と共に明治大學校友會では歡迎會を計畫中で、また映畫關係者間でも座談會を催すべく協議を進めてゐる

萬葉會例會

來る二十日正午から松山臺ラヂウム温泉で開催、番組は嵐山、忠度、千平、角田川、鞍馬天狗、番外吉野天人、瀬戸である

内田檢閲官轉勤

大連署保安係の檢閲官内田愛吉氏は今回異動で關東廳高等課に轉勤したが、後任者はなほ未定である

噂

帝國館の自動車サービスの宣傳が何より先にピンと響いたのはタクシー業者で▲忽ち特約爭奪戰が展開され大正タクシーとの特約に割込運動が始まつたと放送されてゐる▲兎に角けふの「鳩笛を吹く女」と「金的力太郎」から實施するのだが▲一つ思ひ切つて金を使ふなら呼び込みに千惠藏を雇つて力太郎の半纏姿で鳩笛を吹かしたらよからう▲おれんの見世物小屋みたいにお客の殺到することを請合ひで、これこそメイ案じやありませんか▲まだ五里霧中のやうに思つてゐる矢先へ不二映畫の第二回作品「ルンペン餓大盡」がいよ〳〵明日あたり入荷するとのこと▲富國映畫と大衆文藝映畫の賣り込み運動が頻りにあるがうつかり保證金を積んでベシヤツタラと警戒されてゐる

滿蒙の實情質問後 滿鐵改造案を審議
日本商議支那問題常設委員會 けふ第二日目の議事

日本商工會議所支那問題常設委員會二日目は十七日午前十時より始まつたが當日は前日の祕密會を改め公開となる、前日に引續き滿蒙の實情に關する質問應答に始まつたが神戸商議理事先づ立つて滿蒙開發資金は如何にして求めるやとの質問を發し、滿鐵側は目下具體案考究中で唯今回答し難しと答へ續いて奉天商議々員金丸富八郎氏の滿蒙治安維持會問題に關する質問提議あり左の如き要旨の質問應答があつた

▲金丸富八郎(奉天商議) 滿蒙の現在は治安維持に就ては悲觀すべきだ、百姓は未だ安んじて業につけない有樣だ、治安維持は遠き將來と思ふが如何

▲稲本義亮(神戸理事)

▲塚野俊郎(新潟理事) 我々內地より來たものは滿蒙に對してはすぐ事業でも始められるやうに聞いてゐるのだがかくの如く治安維持の點に就いて不安があるとなると全く去就に迷はざるを得ない、もつと滿蒙に對する適確な知識をたまはりたい

▲竹下參謀 治安維持に就ては完全を期せば色々な事情で八年より十年を要しやうが、根本的治安については匪賊討伐とか地方軍閥の討伐は大體日本軍の手によつて完成してゐるから後は滿洲軍又は安公局の手によつて行はれるわけである

▲荒川六平(安東會頭) 治安維持は不完全であれは比較的危害を受けること少い支那農民がさきに入り込み日鮮人は治安維持されてからおくれて入り込むとせば滿蒙移民につい遺憾の點がないだらう

▲渡邊鐵藏(東京理事) 目下の財政についてうかがひたい滿洲國は日本に援助を求めるのか又は財的に獨り立ちできるのか

▲竹下參謀 この點については私は參與してゐないから申上げられぬ、しかし今まで東北四省に計上してゐる豫算は非常に漠然したもので判らぬが大體九千七百萬元の歳入に對しその八割は武器をつくり殘り二割は行政方面に使はれてゐるが新國家においてその滿洲國だけの支那側の軍隊を養ふだけで三、四千萬元を要し新國家成立について過渡的に大きな費用を要するから或は日本又は諸外國に一時的には援助を求めればならぬかも知れぬ

▲三浦一(名古屋理事) 農業移民について軍部の意見を承りたい

▲竹下參謀 日本人を入れるといふことは將來實行の必要を信じてゐる

▲庵谷忱(奉天商議議員) 滿蒙の土地買收について當局は何らか行政上制限を設けてゐられるか

▲竹下參謀 場所によつては制限があると思ふがそれ以外には差支へないと思ふ

これをもつて質問應答議案上程に入る先づ奉天商議提出の滿鐵改造の件について奉天商議富村順一氏發案者として一通試案を說明したなほ奉天商議野添書記長はこの案は滿鐵を政黨政治の支配から逃れしめ母國日本を滿蒙に雄飛せしめる方法としてその意味をもつて作られたものと補足した、これに對し左のごとき質問あり

▲渡邊鐵藏(東京理事) 私はこの案について左のごとき見地から疑問をもつてゐる

(一)滿鐵を解體するとせばその各々事業會社となつたものの中利益のある會社には株式は集るか利益のないものはどうするか

(二)鐵道の利益に對し制限をするとあるがこの利益は何に使ふか

▲稲本義亮(神戸理事) 行政を還へすとせば滿鐵が關東廳この關係などゝいふ風になるが餘剩利益を制限するは如何なる意味か

▲高柳松一郎(大阪理事) ホーデイングカンパニーに政府が重役を任命するとあつたかそうすれば矢張り政黨政治の支配下にあるではないか

右の質問に對し野添書記長は左の如く答辯す

一、滿鐵が委任行政を返した場合これに對しては現在關東廳は法人所得稅を課してゐるから關東廳は各獨立會社に對して、この徵稅をもつて、行政費となし得る

二、有利なる事業の會社の株式のみ應募されるとの質問に對しては私はこの事業會社を獨立させてこそ諸からない會社も各重役が儲けるやうに努力するから所期の目的を達し得るものだと思ふ

三、鐵道收入に對して配當制限をなすとは鐵道は大體儲かるものでこの餘剩利益を他の事業會社に投資するか又は產業開發の方に入れるか具體的には決めてはをらぬが產業開發の見地から適當な方法と思ふ

四、ホーデイングカンパニーの重役を政府から任命するとしても事業會社と異り單に株式をもつてゐるものであるから事業會社の仕事が政黨政派の影響を受けるとは思へない

なほ滿鐵改造案については質問續出したが時刻迫り一先づ散會、時に午後零時半午後は一時より續開する筈である【奉天電話】

滿蒙進出は 先づ輕工業から
奉天に續々新工場

滿蒙における產業開發を目して內地商工業團體の視察調査隊は日を追ふて來滿激增するが來滿せるものは各自具體的收穫を得て歸り特に將來商工業の中心地として奉天附近を目差す者多く大資本を要する重工業の如きは却々事業着手に問ゝあるが、小資本にて濟む輕工業は二、三內地實業家において着手されやうとして居り愛知縣の岡本自轉車製作所株式會社は奉天に工場を設け新國家成立後の移動路完成を期して自轉車賣込みの有望なるを期し奉天において自轉車製造に着手せんとして居り、また名古屋の某會社は奉天において大正琴製造工場設置を企てゝをり滿蒙產業開發の端緒は先づ手近な輕工業より華々しく始められんとしてゐる【奉天電話】

關西の某實業家 煙草工業に進出
有望視される前途

新滿洲國建設後における資本家の滿洲產業界への進出投資に就てはそれぞれ視察調査員等を滿洲各地に派して先を爭つて進められつゝある如くであるが最近關西の某有力實業家が最も滿洲における有望なる工業の一として着手計畫をたて諸準備を極秘裡に進めつゝあるものに煙草工業があり一般の注目を惹いてゐる、卽ち

最近 の南北滿洲における卷煙草の總消費量は約八十億本で年々累增傾向を辿りつゝあるがこれに對する供給關係は

▲輸入品 約二十億本(上海方面よりの支那人向下級煙草たる雜牌物及高級品たるスリーキャッスル、パイレート其他)

▲地元製品 約六十億本(內譯約廿億本は東亞煙草の七億を含めた老巴奪烟父子公司、秋林商會南洋兄弟公司、廣成烟公司、中俄烟公司、パイジス商會其他大連、奉天の小工場等で占め約四十億本は英米煙草トラスト(資本金八千萬磅)の製品となつてゐる)

右のうち東亞煙草は約二十億本の生產設備を有するも現在約十五億程度しか操業せず約八億本(バット級)を內地市場に出してゐるのであるがこれが原料は在來種は別として

滿洲 では夙に大正七年頃よりアメリカ種優良葉煙草を滿洲に輸入して普及に努め現に鳳凰城得利寺の耕作組合に對しては補助金を交附し年額約六萬貫耕作面積五百五十町歩に達し鞍山地方でも昨年よりこれが栽培に着手する等今後の滿洲における人口の增加、生活程度の向上につれ無限の需要增加を見るべく原料關係は上記の如く有利なる外此種工業は熟練勞働を必要とせず比較的低廉なる子女の勞働にても事足るばかりでなく母國產業との

關係 においても何等壓迫となるものでなく殆ど無條件で投資擴張をなし得る工業として今後を有望視されるに至り現に東亞煙草の一大增產奉天工場擴張計畫の具體化も傳へられるに至り注目されてゐる

【寫眞は沙河口驛に着いた一行】

滿鐵の資金募集 大衆化する方針
富籤樣のもの發行も一方法
竹中理事入京語る

【東京十七日發】竹中滿鐵理事は十六日午前入京滿鐵支社にて左の如く語る

滿鐵事業の發展を期するに就ては先づ必要なものは資金であるから金を作る事が先決問題である、資金を作る上に於て注意せねばならぬ事は現在滿洲の權益を一部資本家の獨占に委れる事を不可とし一般國民に利益參加の機會を與へねばならぬとの聲が起つてゐる事である、依つて今後の資金募集に就ては出來る丈け資金を大衆化する方針で政府若しくは滿鐵が約一億五千萬圓の剩餘利益積立金で一年六分程度の利子保障をなし富籤樣のものを發行するのも一つの方法である

滿蒙向けセメント 販賣協會を設立
各社の比率割當決定

【東京十七日發】全國セメント出荷問題協議會は十六日正午常盤セメントで開會、臨時滿蒙セメント販賣協會を新設し事務所を大連市に置くに決定したる後出荷割當を協議したが小野田會社出荷占有を許さず暫定處置に反對するものあつて小野田社を除き出荷引受手なき奇現象を呈したが懇談を重ねた結果暫定的出荷割當は想定數一萬五千噸に對し小野田七割、淺野二割、磐城五分、宇五分部の四社のみとし七尾社は態度を保留し磐城と豐國其の他各社は何れも滿蒙出荷の暫定協定に不參加とし追つて八月迄に生產の上十一月迄の具體的立案審議を行ふ申合せをなし臨時滿蒙協會新設手續き一切を前記出荷割當四社に一任し四時散會したが根本的解決迄には尙相當の曲折が豫想さる

京城商工議 視察團來連

京城商工會議所主催の滿蒙經濟視察團一行廿五名は京城出發後途中撫順鞍山の兩地を視察、十七日朝來連花屋ホテルに投じた、一行の滯連は二日間で十八日は旅順に赴き、同夜大連商工會議所主催の招宴に臨み、十九日出發奉天以北の各主要地を順次視察の上ハルビンチチハルを經廿七日歸城の豫定であると、一行の氏名左の如し

古城龜之助、藤田米三郎、田中三郎、都筑辰二、關根金作、藤貞市、松浦齋生、蘇玉英、橋詰庄太郎、宋在榮、浦田多喜人、淺野正之助、松本淸次郎、李常爾、孫弘遠、成明信、柴山昇、小ケ倉喜平、李鳳根、張宗錫、李康賢、桐木重吉

各地輸組 二月中業績

滿洲各地輸入組合の二月中における業績は前月末貸付殘三百二十一萬八百五十二圓のところ本月百五十七萬二千二百二十九圓を貸付け百六十一萬五千百八十五圓を回收して次月繰越貸付殘三百十六萬千八百九十六圓となり、右に加入は員數六、口數百九十五で員數五、口數二百四十四月末現在口數千二百九十八四萬二千九百四十三であるが左の如し(單位圓)

▲貸付商品別

品目	金額
米雜穀	一六六、一[illegible]
薪炭	七、九[illegible]
食料雜貨	九四、[illegible]
海產物	一八、[illegible]
蔬菜果實	三六、五[illegible]
砂糖	二八、九[illegible]
菓子及原料	三五、八[illegible]
和洋酒	五〇、五[illegible]
和洋煙草	一六、六[illegible]
吳服	二〇八、七[illegible]
綿糸布棉花	五〇、九[illegible]
絹糸布	九、〇[illegible]
毛織物	七九、六[illegible]
麻袋	三七、九[illegible]
建築材料	一〇八、八[illegible]
金物機械	一四八、一[illegible]
硝子	八、九[illegible]
時計貴金屬	一七、五[illegible]
皮革	一六、四[illegible]
靴履物	五九、二[illegible]
圖書文房具紙	一〇四、一[illegible]
小間物化粧品	二二、七[illegible]
藥種	九四、二[illegible]
世帶道具	二七、八[illegible]
和洋雜貨	九四、九[illegible]
玩具運動具、樂器、寫眞材料	四九、一[illegible]
其他	七八、四[illegible]
計	一、五七二、[illegible]

▲仕入地別

地	金額
地場	七八一、三三五
內地	三九九、九四
大連	二〇六、一六
滿鮮其他	一九四、九三
合計	一、五七二、二二九

▲決濟方法

方法	金額
銀行爲替	三九六、〇六
送金	三三、〇四三
引換郵便	三八、六六八
鐵道便	三、七四四
地場仕入	七八一、三三五
運賃	三八一
合計	一、五七二、二二九

臺銀利下げ發表
十八日から一厘引下

【東京十七日發】日銀の利下げに追從して臺灣銀行も明十八日より貸出利子を二厘引下げることに決定發表した

大豆粕飼料化 視察團離滿

滿洲大豆粕飼料化關係者の視察團一行は去る三日來連以來滿鐵と懇談會、座談會に或は見學にその意なき意見の交換を遂げると共に智識を豐富ならしめた後七日より北行し奉天、撫順、長春より遠くはハルビン、チチハル方面の實情を視察中であつたが所期の目的を達し十七日出帆のバイカル丸にて歸途に就いた、視察團の團長たる農林省技師岸良一氏は左の如く語る

滿鐵は勿論關係方面の方々に隨分御厄介をかけたが、お陰で豫期以上の智識を得ると共に更に我々の專門以外の方面に於ても非常に參考になるものを得たわけである、故に吾々としてはこの御好意に對しても出來る限りしベストを盡し大豆粕の飼料化普及に盡力し併せて滿洲產業の開發に資するは勿論內地の有畜農業奬勵による農村の疲弊を幾分にても緩和したい考へである關係方面の方々に對しよろしく御傳へを願ひたい

水谷中將赴撫

滿鐵囑託水谷中將は十六日夕來撫筑紫館に一泊の上製油工場を視察したが、同氏來撫につき伍堂理事も十七日午後五時三十五分着撫、製油工場第二期擴張計畫に關し種々重要なる打合せを遂げた、尙擴張計畫に就ては目下尙研究中にて實現までには相當の日時を要する【撫順電話】

豆粕飼料化に就て
特產三團體主催講演會の要旨(九)
滿鐵商工課長 小須田常三郎氏

豆粕の飼料化問題については特に研究してきたわけのものではないので果して滿足を得るかどうかは疑問であるが、平素各位とは密接なる關係を有つてゐる以上滿鐵としてはこの問題について如何樣に考へてゐるか又は過去に於てどういふ徑路を辿つてきたものであるかを概說することは極めて

▼…必要な 事と思ふ、殊に飼料化普及の第一步として一府八縣の試驗場に委託した學術試驗の實績について述べることが最も意義あることゝ信ずるも時間の關係上こゝには省略することにする、又演題の內容から言ふも豆粕の滿洲產業上に於ける地位等についても一言すべきであるが既に津久井、本田兩氏から詳細に說明せられたからこれ又省略することにし委託試驗の過去の歷史及將來の變化等について考ふるところを述べたい。

……◇……

滿洲における豆粕の年產額は五千五百萬枚乃至六千萬枚であつてそのうち三千四百五十萬枚は內地市場に輸出されるのである、從つて內地市場は滿洲大豆粕にとつては大需要地であり缺くべからざる顧客なのである、而して日本內地における

▼…豆粕の 用途は過去においては全く肥料に用ひられ家畜飼料としては殆ど顧みられなかつた、然るに歐洲に於ては如何といふに、現在年額百五十萬噸內外の滿洲大豆が輸出されるが、悉く工業用の原料に供せられ製品たる豆油は食料及工業原料となり豆粕は家畜飼料並に食料となつて居る

▼…非常な 相違といはる實情と對比して國情の相違もあるが日本內地で豆粕が殆ど肥料としてのみ使用されればならぬ、卽ち歐洲に於ては

一、家畜業が非常に進步してゐること

二、種々の化學的事業が我國に比し先進的に一步長じてゐることなど我國に先んじて好き方法が工夫されてゐたのである、これに反して我國では從來豆粕の家畜飼料化普及の習慣が等閑に附されてゐたことがその重大原因であらう。

……◇……

然るに近年に及びて我國に於ても畜產物の需要が大となり農林當局も又有畜農業を重大視するに至り飼料問題が注目されることになつた、言ふ迄もなく從來日本の農業は米作と養蠶の二方面にのみ偏して多角形の經營が極めて幼稚であつた、これがため今日に於ける農村の現狀は極端に疲弊し切つて居り文字通り「農村は都會へ行く」の感があると共にこれが日本全人口の五十數%に餘る

▼…大衆の 生活であることに思ひ至れば寔に寒心に堪へぬものがある、故にこの疲弊し切つた農村の救濟方法如何を考ふるならば先づ農業を多方面に經營すると同時にこれを立體的に立直さなければならぬ、假へば米作、養蠶の外、畜產等を奬勵しその立體的方法によりて農業の改善を圖ることが緊要であると思ふ。

……◇……

而も只單に一匹の牛や馬を養ふといふのでなく、如何にして安價に養ひ、如何にせば高く賣れるかといふ方面に進まねばならぬ、同じく一匹は

▼…一匹で あつてもこれを立體的に考ふることである、然るに日本に畜產を奬勵するとすれば飼料を如何にするかゞ當面の問題となつてくる、これまで豚などを養ふに殘物であるとか殘飯を主として飼料としたようであるがかゝる方法を以てして果して家畜飼料として充分であらうか、專門家の話によつてみるも、決してかくの如き現狀では到底滿足さるべきものではない、故に何等かの方法によつてこれを打開するのでなければ、我國畜產業の前途に光明を齎すことは出來ないのである、然るに滿洲に於ける豆粕は非常に豐富であり南北滿洲の耕地の擴張による大豆の增收と共に洋々たる

▼…前途を 有つてゐるさればこの滿洲大豆粕を飼料化として廣く使用することになれば鄙へられつゝある有畜農業の飼料問題は直に解決が出來るわけである。(この項續く)

萬華鏡

◇…最近滿洲國の幣制は金本位に決定したとの說が傳へられたが、それは專實と餘りかけ離れた誤傳なることが判明した。

◇…滿洲の貨幣制度は日本のやうに單純なものでないからその根本的改革はさう簡單に解決出來るものでなく殊に金本位制の如きは言ふべくして今遽に行ひ難いことは吾人が屢報した通りである。

◇…金本位がいゝか銀本位がいゝかに就いてはさきに各方面で研究討議の結果さしあたり銀本位制による外適策がないといふことに意見の一致をみたものである。

◇…實情に卽して研究した結果が斯う決してゐるのにも拘らず前說金本位制決定說などを流布して殊更財界に波瀾を捲起さんとするが如き策動は斷然排除すべきである。

◇…一國の經濟機構は一個人一團の利害によつて私さるべきでない。

◇…從來兎角斯うした策動が世を毒し財界人を害する實例に乏しくないから財界安定の上からしても斯かる浮說の根を斷つ必要があらう。

市場電報

市況(十七日)

特產

錢鈔

株式

商品

物貨在庫頭埠

滿洲日報
發行人 [illegible] 編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible]
發行所 大連市[illegible] 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢

支那軍此上進出せず 我軍は自發的に撤退
日支直接交渉の曙光
撤兵後の警備問題が最難關

【上海十六日發】十四日の英總領事館における重光公使、郭泰祺氏の會見では日支直接交渉開始の曙光が認められたさいふが同日の會見に到達した唯一の條項は

日支兩國は互に平和回復を切望する趣旨から事件解決には互讓の精神を以て當り速かに完全なる停戰の實を擧ぐる事

といふもので郭泰祺氏よりは**支那軍は現在の地線を越えて上海に近づく意思なき事を言明し、重光公使よりは現在のわが兵力の四分の三を自發的に撤退**せしむる用意ある旨を述べたが具體問題殊にわが軍撤退後の警備は幾多の波瀾を見ん

わが輕氣球偵察は支那軍監視が目的
派遣軍司令部の發表

【上海十六日發】我軍は本日某方面で輕氣球により、盛んに戰鬪準備を進めてゐる敵状を觀察したが右につき軍司令部は左の如く發表した

日本軍は今明日中に氣球を某方面に昇騰させる豫定であるが、之は全然攻擊的企圖を有せざるは停戰聲明後の行動及び一部內地歸還等より見ても明かなり、一部に誤解なきため豫め發表するものだが、氣球昇騰の目的は先日來劉河鎭、太倉方面に支那軍が屢々わが警戒線內に進出不敵行動を爲すため單に停戰に關する支那軍の行動を監視するに過ぎぬものなり

支那軍、七キロの點に堅固な陣地を構築
飛行機偵察の結果發表

【上海十七日發】支那軍は潰走後我が聲明せる線より相當距離にある蘇州、嘉興の線に大兵を集結しつゝあつたが今朝我が軍飛行機の偵察によれば松江に本據を置く八十八師の一部隊は七寶(上海の南方七キロ)辛庄、閔行の線に進出堅固な陣地を構築してゐる

本省よりの回訓到着

【上海十七日發】本省よりの回訓到着したので重光公使は本日午後英、米、佛公使及び郭泰祺さ會見の筈である

中村司令官 天津に着任

【天津十七日發】新任中村支那駐屯軍司令官は本日正午日本碼頭着英米佛伊各國軍司令官、儀仗兵並に我官民の盛んな出迎へを受け零時半司令部に入つた、尚前任者香椎中將は十九日離津榊丸で歸國任地に向ふ筈

太平洋上の米國聯合艦隊

【ホノルル發】大西洋艦隊をも含む全合衆國艦隊の本年度海軍大演習はハワイを中心に太平洋を舞臺として大規模に行はれ時節柄世界の注目の的となつてゐる【寫眞はオアフ島に向ふコロラド號より前部からアリゾナ號、ネバダ號、テネシイ號、ウエスト・バアジニア號等の米國聯合艦隊の主力】

多數の外人間諜 我行動を支那に密告

【上海十六日發】植田〇團の行動開始と共に司令部の自動車と同樣の自動車を作り司令部の移動毎に幌を下ろして列中に加はつてゐた某國人あり、わが總領事館のため去月二十八日發見された、又砲兵陣地の變化を見て支那側に密告したる某國有力者ありその他支那側の間諜的行爲を爲せる者外人間に多數あり軍部で取調中である

『閘北は無防禦』 吳市長、詭辯を弄す

【上海十七日發】吳鐵城市長は調査員一行歡迎會席上で日本は無防禦の閘北を爆擊、砲擊したと支那一流の詭辯で我を誣いたに對し植松指揮官は本日談話の形式で左の聲明を發した 支那側は事件發生前堅壘を築き

閘北一帶の市街地に據り我に戰を挑んだ十九路軍の堅城閘北を以て無防禦の土地等と荒唐無稽も甚だしい、支那が如何に詭辯を弄しても支那軍が堅固精巧なる防禦陣地に據つて閘北から我を攻擊した事は否み難い皇軍は斷じて無防禦の敵を攻擊してゐない

特別法を制定し定款を變へねばならぬ
滿鐵の割增附債券計畫につき ―大藏當局の談―

【東京十七日發】滿洲國成立に伴ひ滿鐵では事業擴張の新資金を集める爲め割增金附き債券發行の計畫ありさ傳へられてゐるが之れに關し大藏當局は語る

割增金附債券を發行してゐるのは現在では勸業銀行丈けであつて富籤類似の性質を有するから之れには特別法の根據がある從つて滿鐵が內地で割增附債券を發行しようさすれば特別の法律が必要であらうさ思ふ又滿鐵の定款も變更せねばなるまい然しまだ滿洲國其のもの、基礎が確立してゐないから滿鐵の遣らうさする事業が果して採算の執れる健實なものであるかどうか十分調査をせねば往年の西原借款の轍を踏まぬさは斷言出來まい若し內地で割增金附債券を發行するこさなれば勸銀は少からぬ打擊を受ける事は明かだし且つ昨今の金融界の狀態財界の實勢から推して果して成功の見込みがあるか考慮の必要があらうさ思ふ

對議會策決定す 十七日閣議で

【東京十七日發】對議會策を協議すべき臨時閣議は十七日午前十一時より官邸に開會犬養首相始め各閣僚出席、先づ臨時議會に提出すべき

滿洲事件費に關する緊急勅令の事後承諾案、金兌換停止及び減債基金繰入れ停止の緊急勅令事後承諾案、昭和六、七年度軍事費追加豫算案並びに公債發行に關する法律案等

九件を正式決定の後議會において行ふべき外相の支那事件に關する外交經過報告演說草稿、陸海軍兩相の同樣軍事方面の經過に關する演說草稿を所管大臣より說明、各相との間に意見交換の後決定午後零時五十分散會した

會期が短いから政策に觸れぬ
產業立國政策實施の好機 ‖議員總會における‖ 犬養首相演說

【東京十七日發】議員總會に於ける犬養首相の挨拶左のごとし

今期臨時議會は事後承諾案並に滿洲上海事件に關する軍事費の協賛を求むる爲めである從つて此の短期議會では政策に觸れぬ考へである目下重大なる關心事は外にかては滿蒙及び上海事件で後者は幸ひ軍事行動一段落を告げ鬱て其の後始末は圓卓會議で解決せられんとす滿洲に於ては既に新國家建設され將來に就ては[illegible]なる考慮を拂ひ解決せねばならぬ事が多々あるが擾亂の域を脫し建設の途に就くの機勢に於てはその[illegible]にしてゐるから更に國內に於ける經濟財政の建て直しも亦建設時期に入り今や產業立國政策を斷行する絕好の時期である近來世相に激するに政治に與る者自ら議院政治の美點を國民の前に發揮する事は極めて肝要である國難に際して政黨は經綸本位より國策本位に轉換すべきで諸君も一致協力之れを打開し國民の前に光明を與へその期待に背かざらん事を期せられ度い

六十一議會を前に朝野兩黨の勢揃へ
▽……犬養若槻兩總裁の激勵演說

政友會 【東京十七日發】政友會は臨時議會に臨む陣容を整へ我黨天下の組勢を揚ぐべく十七日午後二時より本部に議員總會を開き犬養總裁以下高橋藏相、鈴木法相、床次鐵相、山本農相、三土遞相、秦拓相、鳩山文相、前田商相の各閣僚、森翰長、島田法制局長官他各政務官各顧問各總務久原幹事長以下各幹事、所屬兩院議員約四百名出席先づ東總務を座長に推し久原幹事長の挨拶あり次いで犬養總裁立つて十八日召集の第六十一臨時議會に入るに就ての方針を指示する演說あり引續き代議士會を開き議事に入り

一、院內總務選擧の件
一、院內幹事選擧の件
一、議案提出に關する件
一、正副議長候補者豫選の件(犬養首相指名に一任)
一、全院委員長常任委員候補者豫選の件
一、勅語奉答文起草委員豫選の件

を決定最後に犬養總裁發聲で兩陛下の萬歲を三唱し[illegible]發聲で政友會萬歲を三唱して議員總會を終り一同は午後五時より東京會館に於ける犬養總裁の招宴に臨んだ

民政黨 【東京十七日發】民政黨では第六十一議會に臨む新陣容を整へるため十七日午後一時から本部に兩院議員の聯合會を開き若槻總裁、山本、片岡、加藤其他各顧問、町田筆頭總務、永井氏その他兩院議員評議員等約三百餘名出席先づ永井氏開會の挨拶をなした後[illegible]氏を會長に推し次いで議事に入り第六十一回帝國議會における我黨の行動は議員總會の決議に一任す

この決議案を滿場一致可決し若槻總裁より新役員八名を追加指名し引續き若槻總裁より一場の激勵的挨拶を爲し一先づ閉會引續き議員總會を開會議事に入り院內總務及び正副議長全院委員長以下各常任委員候補者を指名し之を決定午後三時散會、一同は中央亭の永井幹事長招待會に臨んだ

民政黨の院內總務

【東京十七日發】民政黨の黨役員並に院內總務、正副議長候補者は十七日黨聯合會並に議員總會席上若槻總裁より左の如く指名發表された

院內筆頭總務 小山松壽
同總務 井上剛一(東海)
同 野村嘉六(北陸)
同 工藤鐵男(東北)
同 八並武治(關東)
同 岩切重雄(關東)
同 田中武雄(近畿)
同 山道襄一(中國四國)
同 木村小左衛門(同)
同 勝正憲(九州)
議長候補者 高田耘平
副議長候補者 菊地良一
黨總務 牧山耕藏
顧問(追加) 吉田磯吉
全院委員長 戸井嘉作
豫算委員長 飯塚春太郎

與黨內部の抗爭漸く尖銳化
內相後任問題に關し

【東京十六日發】中橋內相の辭任に伴ふ閣內の異動は十五日夜迄は筋書通りに運び鈴木法相の承諾すら得たのであるが、之を聞いた久原幹事長は鈴木派の橫暴と首相の之に迎合する態度を快しとせず十五日深更に犬養首相を訪問し黨內の事情を述べ、斯かる人事異動は黨のために採るべきでないと强硬に反對した結果、首相も遂に[illegible]志を飜へし十六日鈴木法相を招き事情を述べ議會終了迄一時首相の兼攝となし此問題內を取纏め議會後に鈴木法相を內相さする諒解が成立したこの[illegible]は明かに首相さしての輕重を問はれたもので之を機さして鈴木派久原派床次派の對立が表面化し抗爭も尖銳化した

政友幹部會

【東京十六日發】政友會は十六日午後二時定例幹部會を開き臨時議會に臨む黨の新陣容を整へた上、明十七日午後二時から開かれる議員總會の順序並に議題につき協議した

施政方針演說と質問應答は廿二日から

【東京十七日發】滿洲、上海事件の軍事費支出並に兌換停止、減債基金一部繰入れ停止に關する緊急勅令事後承諾案の協賛を經べき臨時議會は十八日午前九時召集、貴族院は九時議場に參集議席部屬を抽籤決定し即日成立、衆議院は議長選擧後始めての議會であるから各議員は受付で當選證書と當選人名簿の對照をなし控室に入り午前十時開會、田口書記官長議長席に就き議員數三分の一の着席を待つて、議長、副議長の選擧を行ふべき旨を宣して無記名にて正副議長を選擧して散會する順序である、斯くて當選した正副議長は、即日勅任せらる、尚十九日午前九時開會部屬、部長、理事を互選して成立この旨を政府及貴族院に通告し開院式を奏請二十日午前十一時貴族院にて開院式擧行、二十二日首相藏相、外相の演說後政府提出の軍事費並に緊急勅令案に關する本格的討議に入る筈なるが野黨は深刻な質問戰を開始する態度なれば相當議場は緊張せん

各團體の基金一億圓で軍人遺家族を救護

【東京十七日發】內務省社會局では滿洲上海兩事件の軍事行動も一段落したので十九日午後三時から內相官邸に[illegible]赤十字社[illegible]軍人後援會、在鄕軍人會、濟生會、警醒社、男女青年團等關係九團體の代表者並に陸、海軍內務省からもそれぞれ關係者出席今度の[illegible]き懇談を遂げる事となつた其の目的は右諸團體の資金一億圓運用を社會局の指導統制下に置き國民の軍事救護の實を完全に行はんとするにある

日本商議委員會 きのふ午後の議事

日本商議支部問題常設委員會は十六日午後二時より再開引續き秘密會議のまゝ日本議員側より質問應答あり、米原氏より滿蒙航空路に關する詳細なる計劃說明をはじめ各產業部門に對する關係者側の應答說明あつて午後四時半終つた、而して同六時よりヤマトホテルにおいて晩餐會を催したが會するもの六十餘名盛會であつた、十七日は午前より愈々提出議案上程されるが、同日を以て本會議は終る筈【奉天電話】

中橋前內相に前官の禮遇

【東京十六日發】前內相中橋德五郎氏に對し特に前官の禮遇を賜ふ御沙汰あつた

貴院各派勢力

【東京十七日發】貴族院各派の勢力左の如し
皇族一六、研究會一四八、公正六八、同和四〇、交友三八、火曜三四、同成二六、無所屬三三
[illegible]門野幾之進氏は十七日同和會に入つた

政友會院內總務決定す

【東京十七日發】政友會の議員總會は十七日午後二時開會出席者三百三名犬養首相より別項の演說あり四時散會、なほ院內總務は左の如く決定した
志賀和多利(東北)青木精一(關東)大口喜六(北信、東海、近畿)原惣兵衛(中國、四國)東鄕實(九州)

第三回五分利公債發行

【東京十七日發】政府は十六日第三回五分利公債八千七百六十六萬五千九百五十圓を預金部引受にて發行した
一、額面 八千七百六十六萬五千九百五十圓
一、發行價格 百圓に付八十六圓四十錢
一、償還期限 昭和十一年迄据置十二年から五十ケ年に償還
一、利率年五分 最初の利拂は昭和七年六月一日

園公十八日退京

【東京十六日發】西園寺公は五日歸京以來兩陛下の天機並に御機嫌を奉伺せる他、犬養首相以下關係閣僚、倉富議長、牧野內府、一木宮相始め宮中の重臣、若槻、安達諸氏の訪問を受け國家の重大時局について說明を聽取したが用件も終了したので十八日午前十時十九分新發興津に行く事となつた

顧問官天機奉伺

【東京十六日發】樞密院は十六日定例參集日なるも議案なきため倉富、平沼以下各顧問官及び二上翰長は十時參內、陛下に拜謁仰せつけられ天機奉伺の上退出した

滿洲上海事件委曲奏上

【東京十六日發】伏見軍令部長宮殿下には十六日午前十時半參內滿洲上海事件その後の狀況につき委曲奏上御下問に奉答して退下された、又眞崎參謀次長も同時刻參內奏上した

犬養首相窮地に陷らん 民政幹事長談

【東京十六日發】民政黨永井幹事長語る
今度の人事問題により犬養首相は明かに總裁としての統制力を失ひ黨內の軋轢は愈々深刻さなり且つ犬養首相の內相兼攝の爲め大[illegible]事件に關する兩院の論難は犬養首相の一身に集中し首相は重大責任に對し愈々窮地に陷る譯で不法、不自然な多數黨に立脚せる內閣の運命は畢竟砂上の樓閣に過ぎざる事を現實に暴露しつゝある

山岡長官の時局談

山岡關東長官は十六日朝在旅記者團さのインターヴューにおいて當面諸般の問題に關し左の如く語つた

內田滿鐵總裁の來訪は鐵道交通問題に關する一般的打合せの爲めだが、この交通の發達如何はその地方の開發に多大の關係がある、當旅順の經濟的に振はざるも交通の不便さ港灣の設備足らざるに因る、此點何さか考へねばならぬ點である、全く今日の狀態では關東廳として滿蒙の現局に順應し敏速なる活動を爲すにも遺憾の點尠くない、だといつて關東廳そのものが大連なり奉天なりに出てゆく譯にゆかぬ、對時局の仕事は奉天出張所において取扱ふ筈で首都が長春だから長春へ移るべきだとの說も聞くが、余にいはしむれば百尺竿頭一歩を進め松花江岸ハルビンに進出せよといひたい位だ關東州內外殊に鐵道沿線の警備に關しては余の最も關心を以て萬全を企圖しつゝある處で軍事行動一段落の今日、滿蒙の更生復興の爲め緊急缺くべからざるものである、そこで滿蒙の現勢に適合する樣、目下增員中の警察官も巡捕の數を激增し而かも彼等に部長、警部たり得る樣努力すれば酬いらるゝ途を拓き仕事に全精力を打ち込み得べく官制の改正を講究中である、又朝鮮人巡捕をも採用の筈でこれ亦、支那巡捕重用さ同一趣旨に出づるので滿鐵沿線附近居住の鮮人保護には特殊の便益を與へんが爲めである

葉梨前秘書官入京

【東京特電十七日發】曩に辭職した關東長官秘書官葉梨新五郎氏は臨時議會に出席のため上京の途にあつたが十六日夜九時二十分東京驛着入京した

家庭

斯うして餌づけ
暖かい日には外に出して太陽の光線に充分當てる
初生雛の育て方（下）
—鷄を飼育するには—
—丁度今がよい季節—

次ぎは餌づけです生れてすぐの雛は未だ體内に黄味をもつてゐて五十時間位たゝないと完全に消化吸收されません、この黄味のあるうちに餌をやりますと消化不良を起すおそれがあります。普通遠い所から初生雛を送るにはこの黄味の體内にある時間を利用するわけです。さて雛を家へ持つてかへつてこの黄味のあるなしを驗するにはおなかを押へて見るのです、押さへて見てゴムまりのやうに彈力のあるのは

▼…黄味の殘つてゐる證據で、ペシヤンコになるのは既に消化されてゐるしるしです。おなかが空つぽになつたら餌づけをする前に木炭末を食べさせて胃腸内に殘つてゐる惡い物を吸收させるのです。木炭はすつかり粉にして新聞紙の上にでもバラまいてやれば大がい食べますが、餌をついばむ事をしらぬものにはくちばしをくつつけて食べ方を敎へてやります次に二十羽に對し茹で玉子の黄味をつぶしたもの一箇分を與へ水を充分にやります。餌や水は金網を張つた運動場の方で與へるのですが、おなかがくちくなつて水を飲むと急に

▼…寒氣をおぼえますから、どの雛もカーテンをくぐつて溫室へ入つて來ます、かうして溫室へ來て眠り、外へ出て遊び、おなかがすいたら食べ、水をのんで寒くなると溫室へ來て眠るといふ風にしてすんくく大きくなるのです。卵の黄味を一回與へましたら今度は日に五、六回粉餌をやります。この粉餌も雛や寒計と同じく大連紀伊町の滿洲農事協會で取扱つてゐますが鑛物質、植物質、動物質が完全に混じつてゐて最も理想的な餌です。餌を容れるにはトタンで造つた細長い

▼…餌箱が適當ですが雛はよく餌箱の中に入つてはかき出しますから箱の上に針金を張つて入れないやうにします。他にホーレン草を小さくきざんだ綠餌を日に四回位やります。三、四日たつたら粉餌は與へばなしにしてよいのです。四、五日たつたら補助餌として植物質の粒餌を時々バラまいてやります。さうすると雛は餌をあさつて食べますので運動をうながす事にもなります、滯水を絶えないやうに入れてやります。かうして順調に成長すればいゝのですが時とすると消化不良で下痢を起すこともあります、これには木炭末をやれば大がいなほりますが、一向きゝめがなく餌もたべず

▼…元氣がないやうでしたら水の中に少しピリツとする位唐辛子の粉をまぜて飲ませます。ヴイタミンの不足からビッコになる場合もありますがこれにはつとめて綠餌を與へ養雛用の肝油を飲ませればなほります。肝油が飲みにくかつたら粉餌の中に肝油を二パーセント位混ぜて食べさせますあたゝかい日には外に出して太陽の光線にあてる事も大切です。雛でも毎度同じ物を食べさせると飽きますから一日に一回位は粉餌を水でねつたり、魚の腸を煮て煮汁と一しよに

▼…粉餌に混ぜてやつたりするとよろこんで食べます。あまり脂の濃いものは消化不良を起し易いからこんな時にはつとめて物をやるやうにします。四十日もたちましたら雌雄の別がすぐわかりますから雌十羽に對し雄一羽位な籠に入れて七八十匁から百匁位になつた時つぶして頂きますとおいしいスプリングチキンがたべられます。總じて雛は元氣でいたづらで大食ですから弱い雛と一しよに置きますと雛の發育がさまたげられます。

中溝しんいち作(78)河野ひさし画
アサヒノボル

春のスポーツは
ゴルフから

春のスポーツはゴルフから……一九三二年燦々たる春光をあびつゝ陽炎もゆる綠の丘に立つ彼女の夢よいづこ渾身の力をこめて振りあげたクラブに三月の太陽がキラリと光る。ゴムマリのやうに彈んだ彼女の心臟のとゞろきが大空に波紋をえがく。寫眞はさきに北米加州パサテナで行はれたページエントの一場面です。例年パサテナで開催されるパサテナオープン、ゴルフ、トーナメントを祝してその前日行はれたもの。

成績の惡い子供
はどうして出來るか
（五）
遺傳と境遇の話……糸長忠彥氏談

(7)母體の異狀

A姙娠中の故障　母體の病氣はもとより姙娠中の諸種の不攝生、又は非常な心配事等は種々抵抗力の弱い胎兒には強く影響し發育不良のため精神も薄弱になる場合もあると考へられます

B出産時の故障　早産、難産等によつて極めて身體の弱い新生兒には大きな刺戟を與へれば或は損傷しそれが劣等兒になる原因をなしてゐる場合も相當に多い樣です。

C受胎時の精神狀態　私生兒は多く成績が惡いといはれてゐます、之には色々原因もありませうが私通或は淫樂の結果が多いと思はれますので正常の結婚者よりも精神狀態が不安定であると考へられます、そんな不安定な狀態に置かれてゐる場合の姙娠は不良な結果を來すのは當然だと思ひます。此の私生兒を生む樣な方には多く低能な人が多いとも言つてゐます、尙正常な結婚をしてゐても受胎當時非常な心配事に惱まされてゐたら之も前の場合と同じ結果が考へられると思ひます。

(8)生れた月　生れた月、一寸考へると何でもない樣にも思はれますが優等生、中等生劣等生等を月別に考へて見ますと四月五月六月頃生れた子供の中によく出來る子供が多く二月三月頃生れた子供の中に成績の惡い子供が多いと言はれてゐます、之については色々の統計もあります。何故こんな結果が表れるかを考へて見ますと大體二つの原因がある樣です、一つは受胎當時の樣子、一つは出産當時の樣子、二月三月に生れた子供は非常に寒い時に生れて發育に非常に支障を來し受胎當時の母の諸種の原因が關係してゐるのだらうと考へられます、毎の諸種の原因については說明をはぶきます。

永々と遺傳による原因を述べて來ましたが要するに私達は只の一個人ではない上は何千萬人かの血を受けやがて何千萬人かの祖とならればならぬ社會的な個人である事を考へ責任の大である事を思ふと同時に出産した子供に對しては責任を完うする義務があると思ふのであります、學校と家庭と共力して此の義務を遂行しなければならぬと考へます。

【附】特殊な技能の遺傳を受けてゐる子供があります、例へば算術、讀方等はそれ程出來ないが圖畫や書方手工等に於ては天才的である子供があります、かゝる子供の素質を早く見出してその才能を發揮させるやうに努力することは大事なことだと思ひます。他の學科を忘れてしまつてやれといふわけではありませんがいくらやつても出來ない方面に無理に强ひるよりも先天的に優良な遺傳を受けてゐる方面に指導して行く方が子供にも興味を持ち成績も擧がると思ひます。

お嫁入すりや
半人前に落ぶれる
◇嫁ぎ行く人に贈る言葉◇
（三）……地方法院長　森本豐治郞氏談

＝年頃＝の娘さんは御緣づきになると、御本人自身でも、これでこそ自分も「一人前の人間」となつたと肩身廣く御考へになり又親御さんも、うちの娘も漸く「一人前の人間」になつたと世間にも御吹聽になる樣でありますがこれは大なる誤見誤解であつて、娘さんはお嫁入に依つて「一人前の人間」から「半人前の人間」に相場が下落するのであります。實例を證で私はさる令嬢の結婚披露宴で、新婦人A子さんは昨日迄はB氏の御令嬢として「一人前の人間」として御待遇申上げて居りましたが今日以後はC氏の令夫人としては「半人前の人間」として御取扱ひ致します、而してかくの如きは、何も私一個の私儀からではなく、實に關東廳法院が斯く取扱ひ待遇するのである。否、帝國議會の協贊を經

＝天皇＝の裁可せられた我大日本帝國の法律がかく待遇し取扱ふのであると述べた事がありますが、民法第十四條には、妻が左に揭げたる行爲を爲すには夫の許可を受くることを要す
一、第十二條第一項第一號乃至第六號に揭げたる行爲を爲すこと
二、贈與若くは遺贈を受諾し又は之を拒絶すること
三、身體に羈絆を受くべき契約を爲すこと
云々。而して第十二條第一項第一號乃至第六號には
一、元本を領收し又は之を利用すること
二、借財又は保證を爲すこと
三、不動産又は重要なる動産に關する權利の得喪を目的とする行爲を爲すこと
四、訴訟行爲を爲すこと
五、贈與、和解又は仲裁契約を爲すこと
六、相續を承認し又は之を拋棄すること
と規定され、妻が重要な法律行爲を爲すにはいちくく夫の

＝許可＝を受けねばならぬのである、若しその許可を受けず勝手にやれば、後日夫は之を取消し得るものにて、卽ち妻は法律上一種の無能力者で一人前の人間ではありませぬ。同じく女であつても、それが二十歲以上の娘さんであれば、完全なる能力者として娘さん一人の考へで、何千圓の借金をする事も何萬圓の家屋敷を買ふ事も出來ますが、一度亭主を持つと最後、今申す半人前の人間と爲るのであります。故に娘さん達よおん身が恥しさうれしさとに顏を紅の唇をふれ、三國一のお婿さん手に捧げ持たれた三々九度の盃をお持ちになつたといふ事に依て、かりそめにも自分は立身出世したなど、うぬぼれられては

＝大變＝な間違ひ、飽くまでも「一人前」から「半人前」に落ちぶれたと再思三省し、どこまでも夫の陰にかくれ、牝雞の晨告ぐるが如き事あつてはならぬのであります

滿日各地版

熊岳城露天市場 共存共榮に躍進
從來の一口一權利主義を棄て 一人一權利主義確立

【熊岳城】滿洲新國家建國に依る滿洲人側の產業熱勃興の芽ざしに依る經濟方面の響きもぼつ〱うごめき立つた十四日當地に於ける唯一の日滿共同經營に成る露店市場組合の第三回總會は開かれた日滿共存共榮協同一致四海平等公平無私等の觀念がさすがに滿洲人間の頭腦に織込まれ此の共同經營に對する趣味も一段と高められた觀があつた、それは當地に於ける一般批評の的となつてゐる一部重役間に於ける占有口數一口に對する一權利主義を加入者一人一權利主義に改むべき議が今回の總會に於て公平無私なる立場に於ける規約訂正のため日本人側より叫ばるゝや待つてゐましたとばかり期せずして滿場の贊成の聲となつたことである、當日の同總會經過の概略は左記の通りであつた

午前十一時半開會組合員(決議權有資格者)總數三十七名(外に死亡者一名)出席者總數三十四名内有資格者二十四名、代理者(無資格者)八名無資格者二名

先づ組合長の挨拶規約訂正及削除緊急處理追認要求の件最大多數を以て可決承認

一、理事及監事補欠選擧の件 組合長に一任せられ左の通り決定承認さる

理事谷秀一、高瀨川、監事董爾亭

二、規約訂正及削除の件 規約第十八條及第廿一條中(出資口)とあるを(組合員)に第十九條(へ出資一口)とあるを(一人)に訂正、第三十四條中「前項の讓受人は本組合員に限るものとす」を削除

右規約變更削除の件に至り前重役中一二名は斷乎として不贊成を唱へ議席を蹴つて立ち去つたが大衆の意見は出資口數一口一權利させる結果買占めとなり重役橫暴の如き今日の惡評となる廣く衆議を開き萬機公論に決すべしといふ輿論が突然場內に充滿し二十一名、八百七十口の大多數贊成によつて可決さる、其の反對者三名持口計三百九十五口、この規約訂正を敢て背ぜず前重役の重大責任多條項に亘る規約違反行爲として非難除名の止むを得ざるに至る形勢に大衆も同情し止むを得ず組合長以下各理事この大勢に順應、ここに始めて昭和六年度の事業報告、以下豫定の報告を終り午後一時半終了閉會後市場關係者をも招待し宴した

夫に見捨てられ 餓ゑに泣く一家
旅順署で救濟策講究

【旅順】原籍熊本縣天草郡上村七六五二番地目下旅順朝日町一ノ二六漁業松尾佐市內縁の妻田下モモ(三)は大正十二年一月佐市と結婚し同年六月來滿直に前記旅順朝日町に居住し專ら夫の出漁に依つて生活してゐた處

佐市は 去る昭和四年十二月二十五日同町內の同じ漁業仲間佐藤源造に雇はれ出漁したまゝ無憾にも今日迄音信不通となり所在さへ不明の爲め辛くも家財を賣り現在では僅かに魚類の行商を營み生活しつゝあるが隣人の間には本年九歲に成る長女ハツ子二女キミ(七)三女ハルエ(五)長男弘(三)の子供が激變した昨今の寒空に火の氣なき留守宅を守り姉弟相擁し姉いながらも餓ゑと寒氣と戰ひ悲しき母の歸宅を待ち詫びつゝ涙ながらの

生活苦 にあへいでゐる實狀は眞に同情に堪へないものがあるさしこれを知つた部內の派出所では直に本署へ報告したので谷警務主任は救濟方法を講じてゐる

上流工程局 事務所に賊

【營口】十日午後遼河上流工程局事務所に六十餘名の馬賊襲來し同所の請願巡警駐在の十三名は勇敢に應戰せしも衆寡敵せず測量器二臺、ロップ若干、長銃七挺、小銃彈全部を奪取され賊は西方に向つて逃走した

珠蓮縣より 掃匪の請願

【吉林】珠蓮縣の商、農、教育等の各法團は十三日兵匪の擾亂に對して之れを掃蕩せられたき旨の左記要旨を長官に打電して來たさ

現在珠蓮縣內に於ては兵匪の搜虐行爲によつて縣民の被害は甚大に縣の財政は盡き果て農民は又春季の耕作も望みなく商民は閉店してゐるといふ狀況であれば速に兵隊の掃蕩を實行して縣

多門師團長 の謝狀

【遼陽】遼陽時局委員長は第二十七回陸軍記念日當日目下北滿に出動中の遼陽駐箚多門〇師團長に祝電を送つた處十三日附左の謝狀が到着した

御懇電拜誦何時もながら御芳情深謝仕候既に御承知の如くハルビン附近の戰鬪に於て諸隊も種々辛酸をなめ候ひしも御陰を以て完全に居留民保護の目的を達し一般住民亦始めて平和の曙光を認め希望に勇み居候斯くて南北滿洲の要地悉く皇軍の威風に靡き新に新國家の成立を見部下將兵の意氣益々旺なるもの有之候間何卒御休神被下度候然れ共東亞の形勢は益々國民の一致奮起を要するものあり候間此上共に御後援の程願上候乍略儀不取敢御禮申上候 敬具

三月十三日 第〇師團長 多門二郎

旅順醫院 屍室擴張

【旅順】關東廳旅順醫院の屍室は數年來より狹隘に加へ暖房設備もなく殊に外部へ搬出するに際しても非常なる困難を感じ死者に對する禮を缺くこと甚だしかつた處今回建坪二十二坪を有し疊數も六疊一間十疊餘の禮拜室及び便所爐壇を設け更に完備せる解剖室も併合して立派な家屋を起工する事となり來る四月中には完成するが總經費約二千圓を要し大體に於て大連醫院同樣の體裁で多年の要望が達成されることになつた

播種期迄には 賊を剿滅する
渾河解氷で討伐で 進退谷つた撫順附近馬賊

【撫順】撫順縣下の匪賊も建國以來餘程不活潑となり加へて滿洲國の討伐軍たる于芷山、王殿忠兩軍の討伐開始と渾河の解氷は忽ち彼等大小匪賊團の行動を不自由にした、軍當局の豫想では兩討伐軍の總攻擊決行により恐らくこゝ數日中には總頭目趙亞洲、金山好、眞打等の大匪賊團も一掃され隨て憂慮されてゐた播種期前の治安確保も目下疑ひなしとされてゐる、即ち撫順縣下に於ける現下の匪賊狀勢は本溪縣南方に劉海泉、于子藻の殘黨部隊約百名ゐるも最近の行動は頗る不活潑にして遂は自警團その他部落の警備機關の充實につれては自滅の外なく同縣北方即ち渾河北岸に移動したる頭目劉海泉于子藻は目下尙三四百名の集團をなし居り、更にその東方撫順縣境三塊石子附近には約二千名より成る大頭目趙亞洲、金山好、眞打等の大集團が蟠居せるも之等は前記討伐軍の包圍中にありその一齊攻擊に依つて一部の潰走賊を殘し大部分は殲滅さるべし又南方本溪縣境…

…隊火藥庫附近に忍び寄り立哨の守備兵を狙擊逃走したる犯人に就ては搜査の結果住所不定關化周と判明し指名犯人として手配中なりしが同日其後馬賊頭目方振國と知友なりしを以て方の部下となり各地を荒しつゝあつた最近は賊團中にあつて人質看視係となりたるを奇貨とし身代金數千元を拐帶逃走せるを方頭目は馬賊の掟によつて八方に手配逮捕の結果永年の知友で

守備兵狙擊の 賊
賊仲間に殺さる

【鐵嶺】昨年十一月五日當地守備

兵匪の一團 歸順せん

【吉林】扶餘縣五家站方面には兵匪李海青の率ゆる二千五百餘名の一隊は機關銃四架、迫擊砲三、自動車數臺を有し大三家子(五家站の東南二十支里)一帶に蟠居し在り又五家站一帶には馬賊二千餘名あるも內千五百名は縣に歸順する

…て自、部下をして自警團として治安維持に努力しつゝある狀態であり、周圍何れの匪賊團も既に活潑なる活動の峠は過ぎて昨今はたゞ潰滅乃至自滅の外なき狀態に置かれてゐると

猛烈な大暴風雪 チチハルを襲ふ
三日に亘る大吹雪

【チチハル電】十一日夜來の北々西の大暴風は折柄の雪を加へて吹雪となり地を捲き天を摩するの概があつたが十二日に至り益々吹き募り當地測候所の風速計は空に舞ひ、午後一時には二十五秒米となり漸次いよ〱猛烈を加へ屋根を飛ぎ小屋を飛し街道も雑の子一匹通らぬ狀態、齊克鐵道齊昂線は遂に列車運轉休止の止むなきに至つた、明けて十三日に至るも尙収まらず通信機關も發受信共に不通になり吹雪の闇に前方一間の見分けもつかぬ有樣街道を吹き轉がらされつゝ城內の偵察に出かけたがチチハルの城は堅く閉され唯天と地を搏つ吹雪の中に皇軍の勇士が屯する各機關の門に步哨のみが嚴然として佇んでゐるのを見るばかりだつた

金融組合の 好成績

【營口】營口店金融組合昭和七年度事業計畫は十二日評議員會に於て左の如く決定關東廳の認可を受ける事になつた

入金

項目	金額
前年度繰越	六五、一二五圓〇〇
生資拂込	一、七九六、〇〇
借入金	一〇〇、〇〇〇、〇〇
預り金	五五一、三四二、〇〇
身元保證金	一、一四八、〇〇
貸金回收	三二四、六四一、〇〇
未決算勘定收入	三〇〇、〇〇
損益勘定收入金	五二、九四一、六二
合計	一、〇九七、二九三、六二

出金

項目	金額
出資拂戾金	一一九圓七五
借入金返還	六〇、〇〇〇、〇〇
預り金拂戾	四六五、四四三、〇〇
貸出金	四三九、五二一、〇〇
未決算勘定支出	三五〇、七七
損益勘定支出金	三一、七五二、一九
年度末餘裕金	一〇〇、一〇六、九一
合計	一五八〇、〇五八、六一

從來金融組合は關東廳から補助金を交附されて居た關係上創立以來株主に對し無配當を繼續して來たが一昨年來補助を受けぬ事になり業務の成績も良好なので本年よりは多少の配當をなす準備あるよしである

拾得金獻金【大石橋】

當地盤龍街十七ノ二機關士井上一紀氏は昭和五年九月二十七日盤龍街に於て拾得し落し主が判明しないので拾得屆出人に交附された金十圓のうち滿洲號に金五圓、蟠龍寺に金五圓を寄贈方申出でたるを以て警察に於ては直に之れが手續を採つた

四平街の大火
中央大街より出火し

【四平街】十五日午後十時十分市內目拔の盛場中央大街(郵便局眞向ひ角)眼鏡商畑拾之助方より發火し呀やと言ふ間に同家二階に燃へ擴がり焔は更に東隣り馮海軒、北隣り東海興、天增泉に及び同廓內一圓は火の海と化した、急報に接した消防隊並に警察署は時を移さず出動、中央大街に延燒せしめては一大事と隊員必死に防火につとめた結果幸に同十一時四十分に鎭火した、出火の原因については失火とか便衣隊、放火とか稱してゐるが失火說が有力視されてゐる損害は一萬二千圓の見込み

新義州料理屋 組合の歎願

【安東】新義州料理屋營業組合では府會開會を目前に控へて藝妓、酌婦に對する課稅撤廢並に助興稅撤廢の二件に關し高橋府尹宛に歎願書を提出すると共に、一方府會議員に對しても同樣の歎願書の寫しを配付して應援方を求めて居る、組合側が右二稅を不當なりと云ふ所にも一應の理由はあり一面府としても直に歲入との關係ある問題であるが故に此の歎願に對し府當局並に府會が如何なる措置を採るか大いに注目されて居る

奉天舊競馬場 貸付許可願

【奉天】先般來天舊競馬場の貸付を開始した滿鐵土地係では次いで豫備滿鐵地及び十間房附近約三萬坪の貸付に對し準備中でありこれを目當てに許可願ひが毎日机上に山積する狀態だが、貸付開始期については目下年度變りの事務整理

東北地方義 捐金の寄贈

【奉天】奉天加茂小學校六年生より成る自治會では東北地方義捐金を募集中であつたが今回岡保、赤松秀夫の兩君は代表にて金四圓七十三錢を、又奉天列車區田岐正實氏外十一名は金十一圓をそれ〲十四日奉天署に寄贈方を申出た

平北の六年度 土建界

【安東】昭和六年度平北道管內に於ける土木工事は頗る順調に進捗し工事分量の多きに拘らず近年稀に見る好成績を示し事業の性質が窮民救濟事業と云ふので人心も未熟なる地元民を使役したのに而も順調なる進捗を見たのは當局も請負人も緊張して居た上に地方警察並に部當局の多大なる應援に負ふ所が多い七年度も略工事分量は同じ位であるが先づ第一に着手せんと道當局が計畫して居るのは工事期の長い大工事で義美舊滋間の道路工事及び江界郡前川の架橋工事等で速かに認可を受け新年度匆々着手する手筈である

大石橋

大石橋商務會 家賃値下運動
營口縣長に請願

當地支那町における各商賈の家賃は現在の不況時に際し餘りに高價にして到底その負擔に堪へずと爲し各借家人等よりしく協議を爲し商務會長をして懇々家主と協議を爲さしめ極力値下げ方勸告したるも家主側に於ては之を肯ぜざるを以て止む無く商務會長等は去る十三日營口縣長に對し左記文の如き嘆願書を提出したと

昨年に於ける本鎭の家賃は每間年定め大洋二百元見當なりしが金融逼迫商業凋落し各物價亦下落せる際獨り家賃のみが依然として値下げせざるは不合理不公平にして近來これが爲休業の止むなきに至りたるもの廿餘軒に及びなほ商業維持困難なる者相當多數に及べり、本年も家主等は家賃値下に關し何等考慮する處なくこのまゝに捨て置くに於ては更に休業者續出は免れず斯くては本鎭商業の前途は甚だ疲弊慘想以上ならん、本會長は各商家の要求を受け並に當地市場維持の目的に依りこれを默視する能はず詳細調査するに現行家賃の三割減を適當且つ公平なるものと認めたるも本會に於ては其強制命令權無く如何とも致し難きを以つて茲に謹んで家賃値下佈告方嘆願に及ぶものなり

大石橋商務會長 王玉階
同 副長 揚俊山

營口縣長殿

海軍々樂隊 演奏會

來る二十日午後五時より公會堂に於て地方事務所地方課主催軍警慰問並に在滿同胞慰問のため海軍少佐以下二十六名の海軍々樂隊演奏會を催す筈なりといふが軍隊警察官は一切無料とし一般は場內整理のため金十錢宛を申受けると

兩部長轉任

目下保安係として本署勤務中の安川巡査部長及南警派出所勤務中の山之內巡査部長は何れも十六日發令を以て任官安川警部補は公主嶺に、山之內警部補は安東にそれ〲榮轉

村岡巡查榮轉

昨年十一月匪賊討伐に向ひ負傷した村岡巡査は快癒後高等視察係として勤務してゐたが去る十五日附で金州署に榮轉する事となり十八日赴任の豫定

長崎縣人會獻金

當地長崎縣人會に於ては過日協議の上滿洲號及肉彈三勇士に各々金一封宛を贈るべくそれ〲手續きを取つた

安東

安東高女の 送別茶話會
大へん賑ふ

安東高女では十五日午後一時から同校講堂に於て第五回卒業生七十六名の送別の茶話會を催したが在校生及び卒業生の餘興あり一入賑はひを呈し懷しい思ひでの數々を殘して巢立つお姉樣達の合唱や…

安東飲食店 カフエ改善
七月までに

昨年六月下旬關東廳よりの達しによる安東飲食店、カフエーの營業所改善策については其後當業者に於てもこれが改善に努めつゝある向もあつたが中には相當の猶豫を希望し所定の七月迄に到底改造困難と見られてゐる、安東署では十四日午前十時よりこれが關係者を招致し種々懇談の結果愈々七月迄に改造実行せしめることに決した

戰歿者慰靈祭
安東白百合會

安東白百合會員は同會主催の下に

魚菜市場組合 總會

安東魚菜市場組合では來る二十六日商工會議所に於て組合總會を開催し本期收支決算報告及び役員の改選を行ふ筈である

十五日正午より左の順序により東本願寺に於て事變による戰歿者の追悼法要を執行したが有志參拜者堂に充つ盛況を極め、修養團高橋昭道氏の追悼講話あり後茶話會に移り午後三時終了した

高女校卒業式

安東高女では來る十九日午前十時より同校講堂に於て第五回卒業式を擧行するが尙修業式は廿四日午前十時よりである

糶市場合併

安東伊佐合商會では江岸に多數の糶市場を經營してあるが滿洲國成立と共に滿洲街の糶市場と合併すべく日滿兩國當局の諒解を求めつゝあるが實現の可能性があるものと見られてゐる

滿洲號獻金

安東地方事務所を通じての滿洲號建造獻金累計は一千六百五十五圓六十二錢に達した

蓄音器寄贈

新義州本町齒科醫師板東彥郞氏は三月十日の陸軍記念日に新義州衞戍分院に出征者慰問として蓄音器一臺の寄贈方を當地憲兵分隊を通じ申出た

奉天

花界繁昌で 花柳病蔓延

時局以來奉天に來往する人々の增加と共に一時は青息吐息の狀態にあつた房柳街の各料理店は昨今漸く甦へり料理店を新築したり增築したり抱妓も內地その他からドシ〱直輸入するといふ景氣振りである、一方これに伴つて花柳病は益々蔓延する傾向あり奉天署では特に注意して衞生の施設を整へさせ患者は徹底的に治療せしめる方針を採つてゐる、しかしそれでも五十五人收容の婦人病院は一時定員を超過すること數名といつた滿員振りであつた、十五日施行した定期檢査に於ても受檢者百名中五名即ち五パーセントの患者を發見し直に入院せしめたが奉天署では時節柄尙一層豫防に努める必要あるに鑑み更に各料理店の衞生施設を完備し衞生思想を喚起せしめ患者は程度の輕重に拘らず病院に入れ徹底的治療せしめるなど細心の注意を拂ふことになつた

奉天省縣立各 中學校開校期

昨秋以來休業中であつた奉天省縣立各中學校はその後教科書並に學校の規則改正を終へたので來る四月一日から一齊に開校することになつたと

滿洲號獻金

奉天佛教婦人聯合會では滿洲號の獻金八百三十四圓四十五錢を十六日奉天署に屆け出た

沿線往來

▲加藤朝鮮銀行總裁 十五日來奉
▲山田京城帝大總長 十五日赴連
▲十河滿鐵理事 十五日安奉線にて內地へ
▲名和奉天中學校長 十六日赴連

吉林

新潟縣人慰問團

新潟縣の滿洲派遣軍慰問團々長反町榮一氏他二十二名は十四日午前十一時著吉長列車にて來吉し駐屯軍隊を訪問の上午後五時三十分著列車にて離吉した

撫順

撫順高女の卒業式

撫順高女第八回卒業式は二十三日午前九時より同校講堂に於て左記の通り擧行の筈
▲一同敬禮▲君が代▲勅語捧讀▲唱歌勅語奉答▲學事報告▲卒業證書及賞品賞状授與▲學校長告辭▲總裁告辭▲來賓祝辭▲在校生總代送辭▲卒業生同答辭▲唱歌仰げば尊し▲一同敬禮

賭博前科者捕はる

本年一月末頃まで撫順西七條二六に實業の滿洲支局を設けてゐた安見佳男(三〇)は各方面に多額の借財を猫婆したまゝ長春に飛んでゐたが憲兵隊に逮捕された由同人は先年東京に於て賭博開帳中警視廳巡査數名に踏み込まれたる際警官に刺傷を負はせ當地に高飛びし行方をくらましてゐた強か者であつた

◇炭塊◇

炭礦事務所では十六日午後一時から各採炭所坑内主任會議を開いた▲今春の撫順高女卒業生九十四名は十五日慣例によつて守備隊を見學したが、時局柄とて一層感激が深かつたと▲羽田女史の主宰せる「友の會」では二十日午前十時から高女講堂に於て今春の高女卒業生初め家庭研究所、高等小學校卒業生百余名を招待し歡迎會を催す由▲撫順醫學會例會は十九日午後三時より撫順醫院講堂に於て開會・五十嵐秘氏「腐植病竈とその『治』」西山喩義氏「所謂顏面痙『て』」佐藤寶次氏「脊髓療性視經萎縮の治療成績に就て」等の講演がある

時局委員會

營口時局委員會は十四日常議員會を開き時局一段落を機とし警察、憲兵隊、警備團の治安當局及び功勞者に感謝状を呈すること、常駐兵力増加請願追願の件、戰死者遺族に對する弔慰の件を附議し外なしとし尙今後熟議を重ねて適策を講ずることゝし散會した

商議議員改選

營口商業會議所では第七回の議員改選期が今月であるので本月十五日から十九日までの五日間會議所内に議員選擧名簿の從覽を爲すことゝなり二十二日改選を行ふことゝせり

商議役員會

營口商業會議所は十四日役員會を開き七年度豫算に關する件、定時總會開催日の件を附議し十九日開催のことに決定した

錦州視察に

營口商議及輸入組合主催の下に錦州商工視察をなすことになり佐々木輸組理事、岡崎商議書記案内の下に當地商工團が來る十九日同方面に出發する筈である

鞍山

鞍中の追悼式

鞍山中學校では慣例により二十一日午前十時より講堂に於て職員及生徒の物故者追悼會を遺族を案内して擧行するが鞍中創設以來の物故者は職員一名、在學中生徒十六名、卒業後三名にて合計二十名に達して居る

青森知事より謝状

鞍山東北人會及鞍山時局婦人會は青森縣、北海道、岩手、秋田の各縣凶作饑饉の爲め救濟金及衣類十數梱包を寄贈したので青森縣知事宮本貞三郎氏より十六日東北人會長小野寺清雄氏及婦人會宛感謝状が到着した

建國資料展覽會

鞍山滿鐵圖書館では十九、二十の兩日圖書館樓上に於て滿洲國建國資料展覽會を開催すべく準備中

不破醫長內地へ

鞍山滿鐵醫院小兒科醫長不破保充氏は名古屋に於て開催する傳染病學會出席の爲め來る二十日頃出發

鞍中卒業式

鞍山中學校では來る二十三日午前十時より本年度の修業式を擧行す

紫藤五段來任

元鞍山地方事務所に勤務して居た紫藤克巳氏は鞍山製鐵所劍道教として増田氏の後任に十六日着任したが紫藤氏は劍道五段である

金州

旅順重砲兵隊長講演

州内警備演習のため十四日來金せる旅順重砲兵隊と山村中佐及び同隊中隊長矢野大尉は青年間の請ひを容れ同日午後四時より公學堂講堂に於て昂々溪附近の實戰講話並に州內警備演習の目的につき有益な講話を行つたが聽衆二百名を超え盛會であつた

民政署長招宴

金州在住民有志は十三日午後五時より小學校講堂に新任安永民政署長を招待し盛大な歡迎宴を張つた尙安永民政署長は十四日午後五時より金州小學校講堂に在住日滿人有志二百餘名及び當日州內警備演習のため來金せる山村旅順重砲兵隊長外數名を招待し新任披露の宴を張つたが主客歡を盡して午後七時盛會裡に散會した

各學校卒業式

金州に於ける各學校の卒業式は左の日割に依り行はるゝ筈
▲農業學堂　來る十八日午前十時より
▲小學校　同上十九日午前十時
▲公學堂　同上二十二日同上

營口

商務總會の役員會

營口商務總會では去る十三日委員會を開き沈滯せる經濟界の打開策につき協議したが結局金融の梗塞と生産界の沈滯は東記の盛衰如何にありとしこれが救濟策を講ずることが最大急務なりとし實業公司を設立して東記の資產を整理し且つ營業者三箇年以內に引戾す事に依る

遼陽

戰傷者を慰問

軍人後援會遼陽支部ではハルビン附近の戰鬪で負傷した步兵第廿九聯隊菅野軍曹外十三名及步兵第十六聯隊高橋上等兵外四名が去る九日遼陽衛戍病院に轉送されて來たので山崎支部委員長と長山副委員長の兩氏が以上の勇士を見舞ふて慰問品を贈呈したと

金融役員會

遼陽金融組合では十四日午後三時から役員會を開き七年度の收支豫算を主として協議したが同組合六年度の豫算は五千九百圓であつたが七年度は六千百圓見當であると

尉問金を送附

上海に於ける我が出動軍隊へ慰問金送呈の爲め陸軍記念日當日昭和園に於て開催された旅順市民演藝會の總收入金は二百四十二圓八十錢を算し支出金二十九圓を差引いた純益金二百十三圓八十錢は十六日市役所の手を經て上海に送附する事となつた

同組合は目下組合員八十四名あり積立金も七千餘圓あり本月末決算に於て約一萬圓に到達し貸付金は毎月四萬圓乃至四萬五千圓内外なるが會員出資も一萬八千圓を越へ組合の基礎も漸次確實に向ひつゝあると

記者團懇親會

遼陽記者團は十四日午後六時半から正通家に於て新國家の建國祝賀を兼れ山崎領事、長山署長、關屋地方事務所長の三氏を招待して懇親の宴を催した

三勇士遺族へ

遼陽樗關區の奧平武好氏は母堂の忌明香奠返しの代りに金十圓を三勇士の遺族へ贈りたしと取次方警察署に申出でたが此外滿洲號獻納基金へも十圓地方事務所へ差出したと

彼岸法要修行

遼陽本派本願寺出張所では十八日から二十四日中まで春季彼岸法要を修行すると

錦州

大阪市議の慰問團

大阪市市會議員一行九名は皇軍將士慰問と戰跡視察の爲本月二日大阪發朝鮮經由にて七日着奉し爾來各地を慰問中だつたが十五日五時三十分着の軍用列車にて入錦直に自動車にて室師團長を訪ひ慰問の挨拶を述べ建國ホテルに投宿市內見學の上十六日午前十時發の軍用列車にて大連經由歸阪する筈

熊岳城

中等校入學者

當地小學校本年度卒業生にして中等學校入學志望者の入學試驗合格者は成績百パーセントにて其の氏名左の如し
旅中(木村毅)鞍中(津島弘毅、島本正雄)旅高女(岡島春子、入江久代)撫高女(岡田喜美子)

山崎驛長轉任

驚家市驛の貨物集收同附屬地の發展策等に多大の盡力をなし衆望をあつめてゐた山崎福三氏は今回本線滿井驛長として轉ずる事となり十六日第十五列車にて任地に赴いたが其の後任としては前九寨越野驛長赴任の筈

旅順

義勇隊解散

事變突發直後組織された旅順青年義勇警備隊は其後一段落を告げ今日ではその後援會も必要がなくなつたので近く解散を行ふ事となつた、而して右解散により各方面からの寄附金三百餘圓の剩餘金を生じたがこれは各方面から要望されてゐた旅順音樂隊の設立資中主として樂器購入資に充てられ有意義に振向けられる筈である、實現の上は之に依つて市民は今後種々な催し事に利用が出來從來の物足りなさが一掃される事とならう

行商して獻金

第二小學校の兒童十六名は先月二十八日から本月十三日迄の間每週日曜日を利用し「あんぱん」行商を行ひその賣上純益金二十八圓五十九錢となつたので十四日市役所に出頭飛行機建造資へ獻金方を申込んだ此少年達は左の十六名である
高柔造、武田信夫、庄司信義、森寬、三好忠親、杉山正義、嘉村康熙、繁富文男、色川忠三、古門顯直(以上六年生)中澤寬勢重夫、三上洋、鶴田寬三、高橋勤(以上五年生)杉山信夫(四年生)

第二の反抗 (178)

三宅やす子
阿部金剛畫

強くなつて(五)

「風邪をひかせないやうに」
實家の母は心配をして、溫かい毛糸やネルの品を送つてよこしたりした。
「初めての冬は育てにくいから、寒の間だけでも、東京に來て育てたらどうか。こつちに來れば人手も揃つて居るし」
田舍者の守や女中は、佐枝子のいふ通りに、赤ン坊の世話が出來ないことを知つて、母は案じてよこす。
でも佐枝子は
「大丈夫です。私が達者で、守をしてゐますから」
さう云つて、東京には出てゆかなかつた。
東京の生活は、もう彼女には合はない。
凡てが浮薄に見える。
父と母と、それは生みの親であつても、今の心を理解してくれない親の傍で、何がたのしいことがあらう。
あんなに逢ひたかつた寮一にも——戀に溺れることから、さつぱり救はれた佐枝子には、なまじ彼が、今になつて、戀愛の表現をしてくることに重荷を感じるのだ。
「私の境遇と、あの方の境遇とはさつぱり別なのだもの。それを合流させやうとして、もう一度無理な生活に入ることは、到底堪へられない」
彼女は一旦はいつた不合理な生活の、決算をつけてしまふまでは新らしい生活を拓くまいと思つて居るのだ。
其生活の決算は、いつになつたら總決算が出來るのか、
寮一は時々それを云つてよこすのだ。
「あなたは誤算してやしませんか陽子さんを立派に育てることは、あなたの使命であることに、僕も異論はない。けれど、あなたが結婚しても、陽子さんは立派に育てられますよ。僭越乍ら、僕は其熱誠を持つて居る」
佐枝子の手簞笥の抽斗の中には、こんな寮一の手紙がしまつてある。
またこんな手紙もある。
「あなたは陽子さんを、亡き静衞さんの子だから僕に育てさすのは厭だといふんですね。そんな氣兼ねがどこから湧いて來たのか、不思議だ。僕には陽子さんは、あなたの子でしかない。自分の好きな人の子は、やつぱり僕にも大好きな大切な人です、これは理論でも何でもない、自然の愛情ぢやありませんか。僕は陽子さんを力一ぱい抱きしめたい。さう思ふことが間違つて居るだらうか」
寮一のかういふ手紙には、佐枝子はホロリとさせられる。
彼女の決心が、どうかするとにぶりさうになる。
しかし、彼女の背後にしよはされた責任は——財產があるから、それを捨てられないといふやうな簡單なものではなかつた。
財產といつても實にこみいつた不動產が多く、それに附隨する人事關係が、とても一通りや二通りではないのだ。そんなことを一々寮一の耳に入れるだけでもわづらはしい。
新らしい女主人の評判は非常によくて、今までうらみの的にされてゐた本家の風向きが、どうやら村の救ひ主でもあるかのやうに人望をあつめて來た。
佐枝子は、それをよろこびはしなかつた。
「女だから、どうにでもなるさいふあの人たちの云ひかたを、腹の底から代へて來なければ、私は、村のためにお人好しになつて金びらを切るやうな悪趣味なお道樂はしないわ」

滿日案内

◎三行回　金九拾錢
◎被雇庚　金六拾錢
◎五行回　金壹圓五拾錢
◎十行回　金參圓
◎十五行回　金四圓五拾錢
◎二十行回　金六圓
◎姓名在社は一回　金三拾錢
廣告部電話は三六九五　四四九一番です

雇入　店員　店員　店員　女中　寫眞　和服　店員　女給　教授　和服　和服　英語　邦文　邦文　琴古　習字　貸家　貸家　かり　日當　貸家　貸家　貸事　貸家　貸家　南向　貸家　貸家　大勉　貸室　貸間　貸室　譲店　譲店　土地　寫眞　賣買

ミシン　子供　慶紙　白帆　天帆　算盤　ミシ　債券　貸衣裳　不用品　不用　古着　古物　金融　金融　質貸　金融　恩給　金融　電話　電ワ　電ワ　病院　日野　鶴見　ホネ　ホネ　治療　せん　麻薬

實務界の一大福音
和文・英文　東洋タイプライター
最も安價なる鉄製活字盤
滿洲代理店　小村又一　大連市大山通二八

中風　林病　クサ　中風　印刷と寫眞　寫眞　寫眞　實印　邦文　旅館　一圓　下宿　下宿　宿料　下宿　ニチ　天津　牛乳　牛乳　簡易　娛樂　犬　犬　番犬　家政婦　附添婦派遣

家政婦　附添婦派遣　家政婦　通勤家政婦　附添婦　ミツワ附添婦會　引越荷物　古市運送店　引越荷物運搬　滿トラ　造荷越引　重量物運搬　岸運送店　賣生活論　二膳寫版　質　寫眞機　大氣堂　吉川式ストーブ　吉川商店

感冒流行　油斷大敵　にんにく葡萄酒

あま酒　片岡糀店

クスリとお化粧品は
小寺藥局へ
電話六六〇六番
但馬町西廣場上る

僞物有り御注意

フケとカユミはすぐ止る
すゞらんフケ止香水

本品は於て既に御承知の通り有効確實にして芳香優雅なるすゞらんフケ止香水は好評に伴ひ近頃彼是外見を僞せ粗惡なる品を販賣する不道德極まる奸商有り御注意を願ふ本物のすゞらん香水と僞物との見分法
僞物は浮き出しなし
是れからは絶對に僞せることの出來ぬ特許局印のマークを添附し有又滿洲には滿鐵衛生研究所の檢査成績書を添附しておりますので前記のレッテル浮き出し檢査成績書添附の品をお買求め下さる樣特に御注意申上ます

各位樣
至る處の化粧品店、藥店等に有り　定價金壹圓也
すゞらん本舖

祝滿洲國建設

大同元年

辯護士 井下多美雄
事務所 東京市麴町區丸ノ内ビル五一七號 電話丸ノ内二七七二番
住所 東京府澁谷町宵葉三番地 電話青山(36)四七三〇番

衆議院議員 春名成章

葉梨新五郎

大来修治

加藤鐐五郎

衆議院議員 胎中楠右衛門

高倉寛

副島千八

衆議院議員 津雲國利

衆議院議員 久原房之助

衆議院議員 山崎猛

山本条太郎

岸田英作

菅原通敬

製造品目

一孔雀印一

- 新聞印刷インキ
- 石版印刷インキ
- オフセットインキ
- コロタイプインキ
- 活版印刷インキ
- 三色版印刷インキ
- 寫眞版印刷インキ
- 謄寫版印刷インキ

登錄商標

株式會社 諸星千代吉商店

橫濱市中區久保町一一一六番地
電話長者町③〇・三三七・一二八五番

東京支店	東京市京橋區寶町二丁目
大阪支店	大阪市南區鍛冶屋町
名古屋支店	名古屋市東區大津町五丁目
奉天分行	奉天城大北門裡
橫濱工場	橫濱市中區久保町一一一七
保土ヶ谷工場	橫濱保土ヶ谷區保土ヶ谷町
諸星油墨公司	上海蓬路十五號

撫順炭 一手販賣

鞍山銑鐵 特約販賣

撫順炭販賣株式會社

本店	東京市麴町區丸ビル内
若松出張員	福岡縣若松市濱三番町二ノ五六
清水出張員	清水市入江受新田一三二
名古屋支店	名古屋市中區新柳町住友ビル内
大阪支店	大阪市東區安土町二ノ五六
大連支店	大連市山縣通大倉ビル内
伏木出張所	富山縣伏木町古國府九四

富士製紙株式會社

創立 明治二十年
資本金 七千七百七十萬圓
社長 大川平三郎

王子製紙株式會社

創立 明治六年
資本金 六千五百九十一萬六千六百五十圓
社長 藤原銀次郎

樺太工業株式會社

創立 大正二年
資本金 七千萬圓
社長 大川平三郎

久留島氏一行無事
救出は案外容易か
「目下蛤蟆塘にゐる」と便りを齎し密使到着

鞍山製鐵所探鑛課長久留島氏遭難の確報は氏と同行せる探鑛課雇支那人顧鉉恩が久留島氏が賊の要求によつて書いたと思はれる手紙を持ち午前十一時十里河驛につき製鐵所に電話したので判明したのである、探鑛課事務主任吉川恭氏は救出連絡のため午後零時三十五分發煙臺に急行した、右手紙の內容により救出は案外易く運ぶものと見られてゐる【鞍山電話】

久留島探鑛課長一行が牛拉山子で吳國璧のため拉致されたことは確實で午後二時半同氏から煙臺炭礦派出所宛急使を寄越したその情報によれば唯今蛤蟆塘にゐるが吳國璧との談判永びくにつきそれまでは彼等と共にあり御心配御無用に候とあり又同行せる一名は十里河驛を經て鞍山に歸着したと【鞍山電話】

久留島氏救出のため鞍山守備隊より味岡中隊長は部下卅名を率ゐて午後二時五分發急行にて煙臺に急行した【鞍山電話】

大石橋某所に達した情報によると煙臺東北方において鞍山製鐵所探鑛課長久留島秀三郎氏が頭匪王金一のために拉致されたのでこゝに大石橋守備隊では早田少尉引率の下に〇〇名が十七日午後二時發列車で、また熊岳城より庄司大尉引率の下に〇〇名、鞍山より味岡中隊長以下〇〇名それぞれ某方面に出動し目下賊の跡を追跡中【大石橋電話】

元苦力頭の賊を連れに行つたか
◇―遭難前後の模樣

鞍山製鐵所探鑛課長久留島秀三郎氏は支那人通譯二名を隨へ十七日午前六時煙臺炭礦を出發、一里餘の牛拉山子に赴いたが今尚歸來せずその用件は元製鐵所の苦力頭であつた吳國璧が現在

匪賊 の頭目となり部下二百名位を率ゐ牛拉山子附近に占據してゐるので去る九日煙臺守備隊と煙臺炭礦防備團がこれを討伐に赴き擊退した處二、三日前より又もや前記牛拉山子附近に來つたので久留島氏は吳國璧に對し鞍山に來るやう十四日書面を出したるも來鞍せざるにより自ら出迎へに赴いたのではないかと見られ十七日午前八時半頃牛拉山子を經て炭礦に來た支那人の談によれば一人の日本人が五六十名の騎馬賊に縛られ

馬に 乘り他の支那人二名は徒歩で牛拉山子を東方に向け護送され居るを目擊したと、或はそれが久留島氏一行ではないかといはれて居る【遼陽電話】

伍堂理事等救出策協議

今朝大連發赴奉途中の伍堂理事は久留島氏遭難の報に豫定を變更し午後二時四分鞍山に途中下車し急遽製鐵所に向ひ富永次長右近庶務課長その他幹部と救出策に鳩首協議をつゞけて居る【鞍山電話】

二百の馬賊突如包圍

久留島氏遭難の狀況は煙臺炭礦北約半里牛拉山子邑に居住する同所自衛團長で元西鞍山採鑛所苦力請負人吳國璧に面會の爲十七日朝八時顧鉉恩外支那人道案內人洪廣義の三名と共に炭礦を發ち牛拉山子に行く途中約二百名の馬賊に包圍され同所より更に北一里半三家子部落に拉致されたもので氏は現在三家子に居ると【鞍山電話】

金銀の寶船を溥儀氏に獻納
長春の婦人會から

長春聯合婦人會では溥儀氏が新國家の執政として就任したことを慶祝するため過般來より金銀の水引で寶船を製作中であつたが十六日華麗な水引細工の二尺餘もある大きな寶船が完成したので十七日午後二時十五分執政府を訪れ便殿にて溥儀氏に會見聯合婦人會長長谷部少將夫人の手から獻納する處あつた、溥儀氏は硝子箱に納められた美麗な寶船を見て殊の外喜ばれた、尙長谷部夫人始め代表十名の婦人は更に溥儀氏夫人の居室をも訪れ三十分に亘り談話を交へて辭去したが溥儀氏夫妻の質素な生活には何れも感激してゐた【長春電話】

戰傷病兵の歸還
きのふ埠頭にて

春季皇靈祭遙拜式

大連神社では來る二十一日は春季皇靈祭に付當日午前十時から境內遙拜場において遙拜式を執行するされたいと

廟行鎭の戰死者中に旅順一中出身者
同朋會で弔慰金募集

上海方面の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げた幾多の忠勇なる我が將士の中に滿洲出身者、而も旅順第一中學校の卒業生が加はつてゐた、旅順一中第十四回の卒業生で上海派遣步兵第〇〇團步兵第〇〇隊の陸軍步兵軍曹樋口寶氏であるが、二月二十二日の廟行鎭の戰鬪に於て悲壯なる戰死を遂げた、この

勇敢 なる勇士を出した旅順一中同朋會では樋口氏の英靈を弔ふと共に遺族（老父及び幼き弟妹三人）を慰問する意味に於て弔慰金を募集することゝなつた

樋口軍曹戰死當時の模樣を聞くに二十二日午前五時半廟行鎭の攻擊中、敵前四百米に於て小隊長代理として部下の位置を移動せしめ、勇敢にも小隊の先頭に立つて輕機關銃を以て敵をなぎ倒してゐたが、移動完了を待つて鹿小隊長の下に報告に赴き其報告中下腹部に敵彈を受け「天皇陛下の御爲に死ぬんだ、

何も 云ひ殘すことはない」との言葉を最後に護國の鬼となつたのである

樋口軍曹より嚴父の下への最後の便りは二月六日午前五時、福岡の消印あるもので「出動命令下達さる、日頃愛誦せし總機の下に死せんとす、父上、正、美代子、博の健在を祈る」と書し、最後に「たまゆらな兵辭かなり物淒きまで」とゆかしき武人の心境を表してあつた、尙弔慰金の募集は四月末日迄で旅順一中內同朋會本部宛送附

上海の將士に聖旨を傳達

【上海十七日發】派遣軍慰問の爲め聖旨を奉じ來滬した町尻侍從武官の聖旨傳達式は十七日午前八時半より公大紡の軍司令部で擧行白川大將以下百五十名は同武官を迎へ嚴かなる傳達式が擧行された白川大將には目錄一封將校以下には酒肴料御下賜になつた終つて同武官は第〇〇〇團及び〇〇團等の視察に向つた一方同時刻軍艦出雲の甲板上では出光侍從武官より同樣の傳達式が擧行された

上海支那街で邦人毆打さる

【上海十六日發】當地海產物商大場洋行店員窪田某は十六日午前用のため支那街城內に行つた處多數の支那兵に取り卷かれ顔面其の他に負傷した身柄は我總領事の手に引渡されたが支那街英租界方面は邦人の通行は尙危險である

東部線の敗殘兵を徹底的掃蕩に決定
多門〇團遂に出動

【ハルビン特電十七日發】一面坡方面における反吉林軍敗殘兵は最近またく蠢動し始め一面坡、珠河、ヤブロニヤ、石頭河子方面一帶に亘つて掠奪、暴行至らざるところなく東支鐵道沿線を脅かし彼等は幾度か歸順を申出でながら再び方正に引籠り着々戰備を整へてゐる、丁超軍と慶瀾を通じわが同胞に對して暴虐の限りを盡してゐるので在哈多門〇團司令部は遂に彼等を徹底的に掃蕩するに決し、村井混成〇團を急派することゝなり目下東支に對してヤブロニヤ驛まで四列車運轉方を交渉中であるまた第〇〇〇隊名倉隊は東支西部線及び呼海鐵道の中間地方にも匪賊頻りに横行するので呼蘭、滿溝、安達方面の匪賊掃蕩の目的を以て十九日早朝ハルビン發出動することゝなつた

奉天省軍匪賊討伐
劉海泉を斃す

奉天城外に散在し附近部落を掠奪しつゝ省城襲擊の機を狙ふ劉海泉の率ゐる約一千名の匪賊は東陵北方を掠奪し村落に放火總ゆる暴虐の限りを盡しつゝあるが、奉天省步兵第一旅軍は參謀山司令の指揮下に十五日早朝服陵街の本部を出動し匪賊の大討伐を開始した、同日午後二時東陵北方四十支里の肥牛屯部落に到り民家を掠奪中の劉泉海の主力と討伐隊と遭遇し三時間に亘り決戰の後劉泉海及び副官を斃し、午後六時半服陵街の本部に引揚げた、この戰鬪において賊の死者頭目以下百餘名、鹵獲馬八十頭、捕虜百二十名、鹵獲馬四十頭、馬車二十臺に達し討伐軍の戰死者二名の大勝利であつた【奉天電話】

我駐在軍襲はる
寧古塔南方で

【ハルビン特電十七日發】寧古塔駐在第〇〇隊の兵約百名、砲二門は匪賊掃蕩に向ひ寧古塔の南三十二キロ新官地に駐營中十六日朝六時ごろ約三百の賊の襲擊をうけ混戰の結果敵は八時ごろ死體三十を遺棄して逃走、我損害下士一、兵二、輕傷、尙賊は東京城に根據を有するもので同地住民が手引して不意を襲ふたものである

本庄軍司令官江橋戰跡視察

【チチハル十七日發】本庄司令官は今日江橋戰跡視察に行つたが當時の立役者馬占山氏自ら案內のため同行した

また悲しい凱旋
きのふ戰傷病兵卅名
痛しい姿で出發

十七日午後四時、甲埠頭九番バース繫留中の陸軍御用船慶運丸で第九回戰傷患者三十名が金尾軍醫正藤看護長外六名に引率され傷つき痛んだ悲しい姿で廣島に向つて出發した、これよりさき甲埠頭廣場には竹內民政署長、岡野助役、森本法院長、三澤水上署長、滿鐵より大淀理事猪田鐵道部次長、吉富埠頭事務所長等市中有志等をはじめ各方面多數の

見送り があつたがいづれも日の丸の小旗を打ち振り乍らカーキ色のマントを着た悲しき勇士等に最後の別れを交した、出帆にのぞみ先づ竹內民政署長立つてこの勇敢なる傷病將卒に對し滿腔の謝意を表する旨を述べこれに對して金尾輸送指揮官は御多忙中御見送りを謝す一日も早く快癒の上再び皇國の爲に御報公する事を誓ふと述べて別れの挨拶を交し午後四時宇品に向つた

行幸を仰ぎ靖國神社の大祭
事變戰死病歿者合祀

【東京十七日發】陸軍では海軍側との協議の下に今回の事變に於ける戰死病歿者を靖國神社に合祀する臨時大祭を催すべく擧て計畫中の處愈々成案を得たので勅許奏請中の處十六日勅許あらせられた勅許の要領は

一、臨時大祭委員長　海軍大將　岡田啓介
一、四月二十五日招魂式
一、二十六、七兩日大祭

であつて大元帥陛下の行幸に就いては二十七日に奏請する事になつた

巡查試驗合格者
百名を嚴選の上採用

本月七日關東廳警察官練習所において臨時募集を行つた巡查志願者は採用數六十五名に對し二百八十五名に達し、採用の嚴選、受驗者の眞劍味により百名の選拔を行つた結果その內、學科成績佳良、體質强健、身元確實として合格決定せる者は十六日左の如く發表された

千田慶助、荒武宗義、栗和田德治、河上清次、滿永美居、土屋彥衛、木田龜之助、井上久次郎、中川太次郎、坂部政一、寺岡春朗、馬場恒太、藪內孝夫、淺山純一、齋藤鐵男、牧田市郎、石井勝次郎、島居清太、陸山忠直、中村與太郎、千秋謙二、渡邊孝、越智義雄、松永明義、石崎廣、田口正雄、內林貞夫、松尾清治、豐福豐、豐田廣三郎、谷口隆、平尾宇八、中島市太郎、原作市、安藤進、手塚隆、草野任市、山田稔、高橋武義、澤田淸基、伊藤晃、大我淺雄、高岡末一、小田文夫、井上勇、中島俊一、高橋重太郎、池田淸二、古見準一、白鳥清太郎、千潟富之助、新橋武雄、長谷川賢、堀田三郎、瀬留吉、小坪謙、中鹽忠雄、安田靜夫、笠村勝丸、花形淸造、堀爲喜、角江嘉夫、杉山式勇、糸豐三

尙右合格者の入所日は十八日午前九時に行はれ一通りの訓練を了りて直に配屬される

便衣隊の潛入を特に嚴重に警戒
大連水上署高等係で

滿洲國の建設と共に國內の治安を攪亂する目的とした國民政府或は學良配下の便衣隊員がひそかに入滿、札びらを切つて同志糾合に奔走しいまだ創設後間もない新國家の隙を覗ひ各方面に惡辣な手を伸ばさんとしてゐる模樣だが大連水上署では特にこの風說に留意し三澤新署長の着任と共に更に警戒網を嚴にする事となり高等係は入港船殊に支那各地よりの船舶に對しては虱つぶしの口頭訊問を行ひつゝある、これら不逞の徒の入滿を防止して居るが、右につき沖田高等主任は語る

折角滿洲國が立派に出來上つたのに變な宣傳や南方共產黨系の入滿は結局在滿邦人にとつても對岸の火災視するわけには行かない、最近色んな風說もあり支那政府の密令を帶びた黨員らしきものが入滿、內部の攪亂を企てつゝあるといはれてゐるが支關口を預かる以上責任があるので殊に高等係のものには注意を促した次第だ

因みに一行中十五名は戰傷者で錦西、双城堡、昂々溪、打虎山等にて傷いたもので最も重傷は金井一等兵の胸部貫通銃創で上半身をギブスで固めて擔送される有樣に見送りの市民の涙をそゝつた

執政の德に蒙古王公等感激

執政就任式及建國典禮に參列のため來長中なりし哲里木盟札薩克公署長齊默特色木丕勒、尼瑪文、秘書長等氏らは十五日午後十時半發列車にて歸奉したが出發に際し語る 今回執政就任式に參加した蒙古王公各代表に對し執政はお側近く召されて言葉を賜つた上に十四日記念として袍地模樣繻子十二尺宛下され、一同今更ながら舊臣に對する御思ひやりの篤いのと御仁德の高いのに感激した【長春電話】

便殿の別室に宿泊

學習院の制服制帽で御兄君たる執政溥儀氏夫妻を執政府便殿に訪問した溥傑及溥偑兩氏は堅い握手を交したのち、お茶の會を催して長途の疲れを休めた、十六日夜はヤマトホテルに宿泊すべく部屋まで用意してあつたにも拘らず、執政夫妻の勸めで便殿內別室に泊ることになつた【長春電話】

匪賊來襲し莊河占領
縣長監禁さる

十六日午前十時ごろ約三百名の匪賊が莊河を襲ひ各所に放火し縣長以下の要人を監禁して同地を占領した、指導委員は奉天に出張中不在であつたが急を聞き直に歸任の途に就いたが安否氣遣はる【安東電話】

榮町の慘劇
刺身庖丁で斬られ
被害者は生命危篤

十六日夜半、再三慘劇の行はれた大連市榮町二番地で血腥い傷害事件が行はれた、事件に無關係ではあるが現場に居合した二葉町二牛島利平の證言するところによれば同人が榮町二番地の酒井久一郎方に午後三時頃赴きたるところ、酒井方に寄留する

加害者の 原籍福岡縣久留米市通東町三二物品行商寺崎酒藏（三七）が四時ごろ外出して飲酒したる上牛島に接待するとて一升酒をさげ來つて酒井も加はり三人飲酒を續けた、然るに被害者原籍大分縣西國東郡竹田津村大字竹田津三八九八住所不定村田福美が八時ごろ訪れ來り、酒井を呼出し話してゐるうち、突然酒井が部屋に驅込みたるに對し、村田が追ひ來つてそこで酒井が何するかと叫んだその瞬間ストーブの傍らに蹲まつてゐた寺崎が村田に抱きついたと思ふと村田はその場に

昏倒した といふのである小崗子署より署員驅けつけるまでに兇器は隱匿されて未だ發見されぬが刺身庖丁樣のもので右胸部に一突きの致命傷を負はしたものらしく被害者は直に內田醫師の手當を受け大連醫院に擔ぎ込まれたがなかく重傷で生命危篤である、擬人三、四名を本署に招致し取調中であるが、傷害原因は從來よりよほどこみ入つた事情あるらしく未だはつきりしない

大洋票三萬元支那人が密輸
滿洲で兩替して儲ける爲

新案・金儲け

滿洲國の建設と共に支關口をあづかる當地水上署では各種の流言風說の行はるゝ際とて極度に緊張してゐるが、最近天津方面より

大洋票を 多數持ち込んで行くもの激増し或は數名徒を組み來滿するなぞ日毎に增加して行く傾向があるので、如何なる理由でかくの如き大金を滿洲に運ぶかにつきかねてより注意中のところ、十六日午後天津より入港した澤通丸にて渡來不審の支那青年二名あり身體檢査の結果約三萬元の遼業銀行紙幣及び天津大洋票をチヨツキやズボンに隱匿してゐるのを發見、同人一應本署に同行調査したが、同人等は原籍河北省滄縣天津佛租界梁繼順興銀號店員王桂界（二三）同隆記銀號店員梁懷那（二〇）にて共に大洋票を大連經由營口、奉天方面に持つて行きこれを

鈔票に 替へ更に大連で銀に替へて上海の大洋相場と連絡をとり利鞘を稼がんとしてゐたものであると、尙同人等の語るところによると一萬元で少くも四、五百元は儲かると、右につき水上署高等係の意見では銅子兒の密輸は屢々あるが大洋票に對しては御覽の通り無制限で如何に扱ふか問題であると語つてゐた

貧民失業者に施粥を繼續

奉天滿洲側貧民失業者の數は未だに減ぜず城內大西關における施粥所には未だに毎日六萬五千の貧民が押かけてゐる、省政府ではこれを救濟するため百萬元の豫算を計上施粥を續けることゝなつた【奉天電話】

安樂椅子

新京長春の景氣は外來から……

滿鐵の都市計畫發表と共にその土地の貸下げを開始せざる限り暗夜に鐵砲と同樣今後の新京に進出せんとする各種銀行會社、商店、官廳その他總ゆるものはただ模索するのみである

……◇……

然し新京長春では建國式前後より宿屋料理店は矢鱈に景氣來で財布の紐が緩らぬといつたニコく振りである、都市計畫が發表にならない以上はどうにもならぬ位はご存知であらうけれどやれ視察それ調査と押かけて來る人達はこの列車も滿員の盛況これが皆宿屋と料理店に雪崩込み懷からぬ金を落す

……◇……

各銀行が擔保流れでもてあましてゐたボロイ餌に狐が生えて飛んでゆく、それに伴なつて何にもかにも暴騰振りお陰で逼迫を告げてゐた金融が圓滑になつた模樣であるどうせ落ち着くべき新京も出來るだけ早く各機關の家屋、役人の宿舍といつたものは早く建築にかゝることにならうから滿鐵都市計畫の發表と相前後して本格的の景氣を見せることにならうがそれまでの騷ぎの景氣は所謂外來者によつて齎されるわけであらう【長春電話】

曙の鐘 (229)

倉田潮 作　河野想多 畫

紫の海 (三)

芳川が默りこんでしまふと、あけみは怒つて男の肩をついた。

「なぜ中途でやめるの。なぜ默りこんでしまふのよ。その先を詳しく話してドさいな。早く、早くさ」

仕方なく芳川は語り出した。

「私はその後、より子さんの云ふなりになつたのです。ならればならない義理がありますものね。それにより子さんにはいろいろな戀愛の經緯があるし、私はその時まだ全く何も知らなかつたのですからね」

のです」

「それで、何うしたのよ」

「戀人の爲なら何んなことでも、生命でも投げ出す氣になつたのですよ。だから假面舞踏會の夜…」

「誘惑で、汚らはしい淫らな方法で……貴女があんたを汚辱したのだわ」

あけみは憎惡に唇を顫はせながら叫ぶと、ひしと芳川にしがみついた。外の一さいの罪は許すことが出來ても、この芳川を誘惑して思ふまゝなことをした其の罪は許せない。芳川があんな女の爲に罪

られ」

「では、あんた、およりの自由になつたの。おとなしく、云はれるままに」

「さう、さうです」

眼を閉ぢたままあけみは快よく羨ましげな笑ひを浮べた。が、急にきつと其の眼を開いて、男を見つめて、

「嘘だわ」

「何うしてです」

「でも、先程あなたはおよりに夢中になつたと云つたぢやないの」

「それはずつと其の後のことですよ。初めはより子さんを恐つてもゐなかつたのですが、戀が深くなつて來るにつれて、私はだんだんより子さんに引きつけられて來た

惡の泥濘によごされてしまつたのは、何んなに惜んでもなほ足りないではないか。

芳川はヒステリックなあけみの抱擁に驚きながら、しかし、その驚きを悟られないやうに、輕く女の腕に己の手をからんだ。と、あけみはまた癇高い聲で叫んだ。

「あの貴女にあなたは汚辱されたのだわ。玩弄されたのだわ。その時あの貴女が心の中で何んな淫らな得意の笑ひを漏らしてゐたか。ああ、堪らない氣がするわ」

芳川は答へる言葉を知らなかつた。海が次第に暗くなつて來た。そして、その暗がりの中にたつた一つ漁船の灯が現れた頃には、夜空には既に幾つかの星があがつて

ゐた。芳川は急に思ひついたやうに女の腕に卷いた手をといた。

「もう行きませんか。あけみさん」

「何處へ」

さあけみは薄く眼を開いた。

「何處へでも行きませう。泊るのは藤澤にしようとあなたは云つてゐましたね」

「私、もうあなたと泊るのがいやになつたわ」

およりとの戀のもぬけのからを戀してゐるのかと思ふと、あけみは急に悲しくなつて來るのだつた。なぜ早く自分が芳川を知つてゐなかつたか。自分が最初に芳川を戀しなかつたか。

「あけみさん」と芳川は立ち止まつた。「あなた、あの話で私がいやになつたのですか」

「いいえ、今のは嘘よ」と諦めて冷やかにあけみは答へた。「今夜は最初に見つけた宿屋に泊ることにしませうね。私、疲れたのですもの」

二人は各自分の思ひに耽りながら、默つて松林の丘を下りた。廣い野原を距て、春の柔かい闇の中に、村家の灯が二つ三つ寂しげに搖いで見えた。

「あの村の宿に泊りませう」

あけみは芳川の手を引いて、畦路を急いだ。

風が強くなつたので、背後からはがうがうと松風の音が聞えて、その絶え間には永禽の悲しい聲をちりばめた波の遠なりが、かすかに旅人を呼びかけてゐた。

第一回 滿日特選碁戰

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

四目込出先番 互先 長谷川章(四段)　呉清源(四段)

—【3】—

●四一ロの十四　○四二ハの十
●四三ロの十　○四四ロの九
●四五ロの十一　○四六イの十八
●四七ニの五　○四八ホの九
●四九ニの十二　○五〇ホの十二
●五一ニの九　○五二ホの十
●五三ハの九　○五四ハの八
●五五ハの十　○五六ホの十一
●五七への四　○五八ホの十六
●五九ホの十七　○六〇リの十七

對局者の感想

白曰く　白四八はこの場合形ですから打ちました

黒曰く　黒四九、五一と打つたのは白を堅める嫌ひはありますが打たずにおくと白直ちに(ニの十三)にやつて來て、黒(イの十二)に活きればなりません、それがツライです

白曰く　白五八は今キリを利かしておかぬと、後では棄てられる恐れがあります

白曰く　白六〇は(トの三)に受けておくのですか知ら

黒曰く受けられたら(ニの八)にハネ出して打つ積りでした

瀬越七段の評釋

白四二とユルメたが、これを五五にオサへると、黒四五、白四三、黒五〇とツケ越され、白四九、黒(ニの十三)白(への十二)黒四二とキラれて、隅は死が殘るからマヅい

黒四七當然、若し五三にキレば白(ニの九)にハネ、ギウギウオシてくるから黒惡い

黒四九から五五まで少しも損をしない所は流石に藝が細かい、下方の黒が堅いから、これも惡くはないだらう

白六〇は(トの三)に受けおくも一策だ、黒若し(ニの八)にハネ出せば、白(ニの九)黒四二の時、白(トの四)にオシて打つのだ、黒は(ニの七)に一着を要するから、その時白(ヨの四)にコスムのである、但し白(トの三)に受けると黒(ヨの四)にカケて打つ意味もあるから、實は考へ物ではある

新刊紹介

▲つはもの(第三三二號)定價四錢、東京市牛込原町三ノ八つはもの社發行

▲同仁(三月號)定價二十錢、東京市神田區北神保町二十番地同仁會發行

▲大衆の友(三月號)帝國議會(谷村直義)時の問題(池田一郎)赤色救援會と勞農救援會(木村信夫)文化サークルの話(廣田五郎)戰爭の用具(深谷進)ソウエート同盟赤軍の話(田村英一)定價二十五錢、東京市神田區美土代町四ノ五小川町ビル三階日本プロレタリア文化聯盟出版所發行

▲滿洲(三月號)定價三十錢、大連市大江町六番地滿洲俳句會發行

▲理科教育(第三號)定價四十錢東京市小石川區雜司ケ谷町八七理科教育研究會發行

けふの放送

大連 JQAK

三月十八日

▲午前七時 ラヂオ體操 ニュース
▲午後六時五十分 ニュース
▲露語講座「テキスト第卅一課」大連語學校講師グロースマン
▲ジャズ(新松旭齋天勝一座ジャズバンド)西田俊明、ホスコ石井、佐久間樑、松坂正夫、北野昭夫、石井英二、宮津建一、水野操、三木義夫
▲テノール獨唱 青木充宏
▲ジャズ 西田俊明、ホスコ石井佐久間樑、松坂正夫、北野昭夫石井英二、宮津建一、水野操、三木義夫
▲音樂漫談「メロデーの再考査」白藤六郎
▲テノール獨唱 順藤麟
▲ジャズ 西田俊明、ホスコ石井佐久間樑、松坂正夫、北野昭夫石井英二、宮津建一、水野操、三木義夫
▲ソプラノ獨唱 常盤靜子
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK

三月十八日午後六時三十分
▲講演「發明の新興と世界の平和」伯爵清浦奎吾 ▲講演「産業と發明」商工大臣前田米藏 ▲航空座談會出席者未定

少女倶樂部(四月號)「誓ひの榮冠」「靜川御前」「麗はしき母」「少女百面相」「萬國の王城」等の好讀物が充滿掲載された以外に附録として「日光陽明門」は素晴しいもの

少年倶樂部(四月號)「愛國特大號」と銘打つた本號は附録に「愛國號」の飛行機模型をつけ讀物は「海に戰ふ」「鷲の行方」「愛のスパイク」「日の丸塔」「貴い贈物」其他面白い讀物が全册を埋めてゐる

滿洲日報

和平直接交渉に關し日支の諒解愈よ成立

國民政府既に交渉開始囘訓

けふ正式會議を開く

【上海特電十七日發】本日開催さるべき日支和平會議に出席すべき支那側代表は顧維鈞、郭泰祺、蔣光鼐、宋子文氏等、日本側は重光公使、松岡洋右氏、野村司令長官で、既に昨日までの豫備交渉で正式會議を開催の諒解成立したといはれ國民政府は既に昨日郭泰祺氏の請訓に對し回訓し交渉開始を命じて來てゐる、日本公使館は未だ回訓に接せずと稱しゐるも本會議に參會するは明らかで本日の正式會議は確定的と觀らる

停戰交渉事實上成立

撤兵後は保安隊が警備か

【上海十六日發】重光公使は海軍側との打合せを待つて今晩英總領事館で郭泰祺氏と會見の豫定であつたが、我回訓未着と四國公使が今夜八時から聯盟調査員一行を招待するため右會見は取止めとなつた、尚日支間に英大使が通じ支那軍が現在の日本軍占據地内に進出せざる事を條件に日本軍の租界外撤退問題も諒解成立せしもの如く、從つて停戰交渉は事實上既に成立したものと同樣である、殘る問題は日本軍撤退後の治安維持を如何にすべきかといふ點にあるが、この問題解決せば直に圓卓會議を開催の筈である、而して治安維持機關としては國際軍の編成、工部局委任統治等の意見あるも結局中立國の監督の下に支那保安隊をこれに當らしめる事に落着するものと觀られ、明日行はるゝ筈の重光・郭泰祺兩氏會見において具體化するものと樂觀的觀測が行はれてゐる

日支代表の說明聽取

けふ聯盟繼續委員會にて

【ジュネーヴ十六日發】上海事件の常設的審議機關たる十九國繼續委員會は十六日午後三時半非公開裡に開會、委員長より「日本代表より上海事件に關し日支代表間に暫定的協定が成立した」との通告に接した旨言明した、この結果十七日非公開で日支代表の說明を聽き午後公開會議を開く事となつた

繼續委員會

休會希望

事態好轉に鑑み

【ジュネーヴ十六日發】聯盟事務局は十七日午後三時半（滿洲時間十七日午後十時半）十九國繼續委員會公開會議を開催する旨發表した、なほ本委員會は上海における休戰協定が順調に進行し、事態が平和になればこの公開會議を最後とし休會を希望し何時にても即時召集し得るた際は何時にても即時召集し得る條件として軍縮會議同樣イースターの休會に入らうと希望してゐる

機嫌取の宴會は今後一切お斷り

聯盟調査委員の悲鳴

【上海十七日發】リットン卿以下支那調査委員一行は來滬以來のべつ幕なしの支那側御機嫌取りの御馳走で胃袋の休む暇もなく、支那料理の油つこい歡迎ぶりに降參悲鳴をあげ、顧維鈞氏と交渉、十七日の新聞記者歡迎午餐會と顧維鈞氏の晩餐會を最後として一切の歡迎宴に臨まぬ事とした

四國公使主催

歡迎晩餐會

【上海十六日發】英、米、佛、伊四國公使主催の國際聯盟調査委員招待晩餐會は十六日午後八時からキャセーホテルにて開催され、各委員及び隨員四國公使の外、日本側重光公使、吉田大使、支那側顧維鈞、郭泰祺氏等出席した、調査委員參與委員として顧維鈞氏と吉田大使が顏を合せたのは今日が初めてで、デザートコースに入りランプソン英公使の歡迎の辭に次ぎリットン卿が謝辭を述べ、日支及び關係各國を網羅したこの會は午後十時散會した

蔣光鼐戴戟等

活躍

【上海十七日發】十九路軍總指揮蔣光鼐、松滬警備司令戴戟は昨日午後三時杭州より上海に來り顧維鈞・郭泰祺等を助けて上海事件支那側軍事行動その他の資料を聯盟調査委員に提供報告すると共に戰跡視察の支那側案內人となること

滿洲國承認問題

中央滿蒙協會の建議

【東京十六日發】中央滿蒙協會は滿洲國承認問題につき內外の形勢と國論の歸趨に鑑み、その可否實行順序等につき愼重研究を進めたが、十六日午後三時同會事務所に評議員會を開催、協議の結果、第三回建議として左の意見書を政府に提出するに決し即日犬養首相始め關係閣僚にこれを申達した

滿洲國承認問題に關する建議

政府は日滿關係の特異性に鑑み既に成立をつげたる新滿洲國政府を事實上政府として當面の急要事項を商議すべく、その前途に安定性を認むる時はこれを對象として日滿關係の基本を確定し滿洲國自體の國際的地位を明確ならしむるためこれに承認を與へる方針で、內外政務を處理せらるべきものと信ず

右建議に及び候也（理由略）

海軍根據地として葫蘆島築港を繼續

滿洲政府の海軍計畫

【北平十六日發】滿洲政府は渤海沿岸及び松花江警備のため海軍を創設するに決し、葫蘆島を海軍の根據地とする方針で從來張學良が大連港に對抗すべくオランダ築港會社と契約して滿洲事變以來工事中止中だつた葫蘆島築港を繼續する…

犬養兼攝內相

各宮家に伺候

【東京十七日發】犬養兼攝內相は十七日午前九時半各宮家に伺候し內相兼任の挨拶を述べ、十時半官邸に歸邸、臨時閣議に臨み午後內務省に登廳就任の挨拶を述べた

佐藤全權壽府滯在

【ジュネーヴ十六日發】佐藤全權は休會中の不測の事件に備へるためベルギーに歸らずジュネーヴに滯在することに決定した

參謀總長をも蔣介石兼任

【洛陽十七日發】洛陽政府は十六日附で參謀總長朱培德の辭職を許し改めて軍事委員會辦公廳主任に任じ、參謀總長は蔣介石の兼任とし名實共に蔣の獨裁制を完備する事となつた

軍縮會議は來月中旬迄休會

獨、佛總選擧等て期間延長

【ジュネーヴ特電十六日發】軍縮會議は開會以來既に四旬を經たが審議は遲々として進まず空漠たる抽象論に終始して居る有樣だが、今朝の幹部會では十九日より豫定された前後二週間の休日を更に四月十一日まで延期するに決し、事實上本日の一般委員會を最後として再び冬眠狀態に入ることゝなつた、一般委員會が休會となればその所屬各分科委員會も當分休會する外はなく遲くとも明日委員會の會議が開かれゝば園の山であらう、斯く復活祭休會を延期したのはプロシアの總選擧が內政上の理由で四月十日に延期されたのとフランスの總選擧が行はれるなどのためである

會議促進案提出

【ジュネーヴ十七日發】軍縮會議アメリカ代表ギブソン氏は左の決議案を提出し會議を促進した

軍縮會議四月十一日再開早々原則問題に全力を集中し、政治委員會、一般委員會は每日午前午後の二回連續的に開會する事

技術委員會設置

【ジュネーヴ十六日發】軍縮豫算委員會は十六日最終の會合において技術委員會を設置しなほ各國に軍事豫算の總額及びその統制方法について質問書を提出しイースター休日中に回答を求むる事に決定した

休日明後に議事進捗

【ジュネーヴ特電十六日發】軍縮會議一般委員會は本日の會議で愈々復活祭休日に入つた、本日の會議では議長ヘンダーソン氏、米代表ギブソン氏以下八ケ國代表いづれも復活祭休日後に熱心に會議の議事を進捗せしむべきことを言明特に議長ヘンダーソン氏は各代表に對し休會中を利用し侵略的武器並に非人道的戰爭的形式の撤廢に關する各自の主張を具體化した案を練ることを要請した

國防費委員に建川少將任命

【ジュネーヴ特電十六日發】軍縮一般委員會所屬國防費委員會は本日會議で各國の國防費を檢討報告する分科委員會を任命し四月十一日まで休會に入つた、右分科委員會には日本代表部より建川少將が委員に任命された、空軍委員會も亦同樣決議を審議中であるが本日決定を見ず十七日午前會議を續行する

野黨にも委員長を讓り議會の品位を向上

山本条太郎氏熱心に提唱努力

【東京十七日發】議會の亂鬪事件や政界名士の疑獄事件等頻發したゝめか、最近議會政治否認の聲さへ高まりつゝあるに鑑み、政治淨化、政黨の革新、議會の品位向上等が叫ばれてゐるが、政友會もこの空氣に刺戟され山本条太郎氏は政友會が絕對多數を取つてゐる事であるから、大政黨の襟度を示し常任委員長の如きも獨占せず民政黨に對し委員長を讓り圓滿に議會を切拔け騷擾の如きは絕對に惹起せぬやうにするために政民兩黨の幹部が會見し議會の品位向上を圖り議會政治の信用を高めるやうにしなければならぬといふので首相始め各幹部等にこの意見を述べて民政黨に對しても働きかけたが何處まで進展するか興味を以て觀られてゐる

內相更迭後の對貴院策

【東京十七日發】內相更迭の結果政府は櫻田門外事件並に帝都治安維持に關する直接責任者が辭職した以上は貴族院も出鼻を挫かれた形となつたので、表面的にはやゝ樂觀するに至つたが、臣節問題もあり且つ內相更迭で閣內黨內の不統一を暴露するに至つたので、貴族院の民政系議員が如何なる方策に出づるやも測られ難いものあるのでこの方面の動靜に深甚の注意を拂ふと共に引續き各方面の諒解に努める事となつた

臨時議會の日程

【東京十六日發】軍事費の協贊、金兌換停止を始め緊急勅令五條の事後承諾を求める第六十一會臨時議會は愈々十八日召集されるので與黨政友會は本日午後二時より所屬議員總會を、野黨民政黨は午後一時より黨大會に加はるべき兩院議員の聯合會を開催し、臨時議會に臨む陣容を整へたが、召集當日貴族院は午前九時開會、議席及び部屬を定め各部において議長及び理事の互選をなし成立を告げる一方、衆議院は午前十時開會、田口書記官長議長席につき正副議長選擧をなし即日勅任される筈であるが、十九日以後の議事日程は左の如くである

▲十九日　衆議院成立
▲二十日　貴族院で開院式擧行
▲二十一日　春季皇靈祭のため休會
▲二十二日　衆議院本會議及各委員會を開き各議案全部上程可決
▲二十三日　衆議院本會議及各委員會を開會、各議案を上程する
▲二十四日　同上各議案全部可決
▲二十五日　午前十一時貴族院で閉院式擧行

議長候補に菅原氏

東北團體決議

【東京十七日發】政友會東北團體所屬議員は十六日午後五時芝紅葉館に集合、內閣改造問題につき意見交換後、議長候補として黨の長老菅原傳氏を推すに決定八時散會した

けふ臨時閣議

議會對策決定

【東京十六日發】十七日午前十一時より開かれる臨時閣議において犬養首相より內相の辭任並に首相自ら兼攝の顚末を報告、諒解を求め、次いで議會對策を協議し、且つ滿洲上海事件に關する外交上の經過報告を…

事變費豫算

總額五千二、三百萬圓

けふ閣議に上程決定

【東京十六日發】臨時議會に提出すべき軍事豫算は大藏省と關係各省との間に折衝中であつたが、十六日漸く纏まりを見たので十七日の閣議に上程する事となつた、その總額は五千二、三百萬に上り內容左の如くである

一、昭和六年度追加豫算三月分の殘り滿洲及び上海事件費七百三十餘萬圓
一、昭和七年度追加豫算四、五兩月分の滿洲上海事件費二千五百餘萬圓、臨時費二千萬圓、合計四千五百萬圓

右豫算の中には戰死者に對する一時賜金六十萬圓、上海よりの軍隊歸還費五十萬圓も含まれてゐる、而して財源は全部公債に仰ぐ外無いので滿洲事件費公債を同時に制定提出する事になつてゐる、なほ本年度の恩給が豫算よりも增加して先般百二十餘萬圓の剩餘金支出を行つたが未だ不足するので昭和六年度追加豫算第二號として要求する事にならう、而して是も財源は公債に仰ぐ筈

事變の行賞

五月頃から發表

【東京十七日發】滿洲、上海兩事件の論功行賞は目下關係當局で審議を急いでゐるが、今回の事變は期間、人員、彈藥の消費數共その規模の大なる事シベリア出兵、濟南事件の比で無く金鵄勳章受勳者も相當多數に上るべく、これが公表をみるは五月となり一般に對する行賞はこれより遙かに遲れる筈

上海歸還部隊乘船順序

【東京十七日發】上海より凱旋する陸軍部隊の歸還に關する細部については未だ中央部に報告はないが下元成二十四旅團が來る十八日乘船するを先頭に兵站部その他特科隊善通寺第十一師團の順序で乘船する事に決定した

經登參謀赴任

多門將軍の幕下にありその才能を認められてゐた經登參謀は今回異動により第十一聯隊附に榮轉、十七日出帆はいかる丸に乘船任に就いたが、出發にのぞみ色々お世話になつた、廣島に行く樣になつたよ、在滿二年餘、…

久原氏園公訪問

【東京十七日發】久原政友會幹事長は十六日午後八時西園寺公を訪問黨內の事情對支問題につき意見の交換を行つた

民政黨幹部、今後方針を協議

【東京十七日發】民政黨の首腦部たる町田、原、櫻內、頼母木、川崎（卓）、永井の六氏は黨として一致の態度を…

事變並に聯盟の經過報告に止む

芳澤外相の施政演說

【東京十七日發】芳澤外相は來る臨時議會において犬養首相の施政方針演說に引續き外交方針に關する演說を行ふことに決定したので十六日午後四時より外務省に首腦部參集、右演說草案に關する協議を遂げ十七日の臨時閣議に附して正式決定を見る事となつたが、右外相の演說は主として滿洲事變、上海事變及び國際聯盟に於ける外交經過の報告で滿洲國承認問題等には觸れぬ短いものである

人事

▲松田芳助氏（新任佐縣地方事務官）十七日出帆はいかる丸にて內地へ
▲佐藤善助氏（計理士）同上
▲栃內壬五郎氏（前滿鐵社員）同上
▲松山忠二郎氏（本社社長）同上
▲阿部眞言氏（泰東日報社長）同上
▲矢我崎正治氏（海軍中佐）同上
▲松隈吉郎氏（滿鐵社員）同上
▲經登行一氏（陸軍中佐）同上
▲佐堂草雄氏（滿鐵理事）十七日朝九時發列車で撫順へ
▲寺田虎次郎氏（三菱大連支店長）十七日午前九時發列車で奉天方面へ出張
▲小須田常三郎氏（滿鐵商工課長）十六日夜行にて奉天へ

はるびん丸

十八日午前九時半大連港外着の豫定

滿鐵事業報告打合せ

【東京特電十七日發】江口滿鐵副總裁は十六日午後一時より麻布の社宅に木村、村上、首藤、中各理事、斯波顧問、大淵支社長等の參集を求め政府に提出する事業報告の打ち合せ、その他重要事項につき種々協議を遂げ同三時…

執政府閣議

…

◇

議會政治の向上、それは暫く措き、差詰め議場の淨化は誰しも望む所、政友會が絕對多數であるが故に、これによつて少數無力邦へんとするので無い樣に。

◇

外人に對する侮蔑憎惡を含む文句を學校教科書より削除す可き事之れが軍縮草案の文句、成程國際間の惡感を除けば軍縮に資するわけ、從つて支那は軍縮精神に反する譯か。

◇

滿洲國の省廢止が傳へられるかと思へば、新に興安省が出來た、但し省はあつても、從來の樣な獨立的の省制は廢止されねばならぬ

◇

溥儀執政を始め、滿國務總理以下の新政府要人、一意王道政治に急ぐ、いつまでもこの意氣を失はざれ。

◇

…

東亞の謎（219）

國枝史郎　作
伊藤順三　畫

庫倫の春（三）

…

ボーイ血達磨となり 無殘、母子四人を殺す
兇行後に服毒して自殺を圖る
櫻花臺・血の海の慘劇

市內櫻花臺七七番地大連埠頭事務所船舶係助役柴田嘉雄方で夫人キシ子(三三)が全身十數ケ所の刺傷を負ひ鮮血に染つて表玄關土間に即死してをり奧十疊の間には長女泰子(七)が眞裸のまゝ蒲團のうへに俯伏せとなつて殺されそのすぐ横の疊のうへに次女冴子(五)と長男京助(二)が枕を並べて血海の中に見るものをして慄然たらしめる殘虐極まる殺され方をしてをり更に玄關脇きのボーイ部屋にかへり血を浴びて全身血達磨となつた同家のボーイ宮懋勝(一八)が多量のリゾールを呷つて斷末魔の苦みにあへぎつゝあり屋內はさながら惡鬼が暴れ狂つた如き凄慘そのものと化してゐるを十七日午前九時三十分出入の御用聞きの訴へにより初めて發見された、夫人と子供三人を慘殺した犯人は服毒せるボーイ宮懋勝の仕業と判明し世にも稀なる親子慘殺事件は市民に大きいショックを與へてゐる

手當り次第の兇器で 惡鬼の如く狂ふ
殘虐極まる兇行模樣

十七日午前九時三十分ごろ市內櫻花臺七七番地大連埠頭事務所船舶係助役柴田嘉雄方へ出入の雜貨屋が御用聞に訪れると表玄關硝子戸が

血潮 のしぶきで眞紅に染り、ドアの隙間から夥だしき血糊が流れて出てゐるを發見、直に初音町派出所員が駈つけ窓硝子を破つて屋內に入つて見ると何たる悲慘！屋內は襖、障子といはず血沫をあびて物凄く、階下、階上の部屋といふ部屋は足の踏場もなき血潮の海と化しその凄慘さ見るものをして慄然たらしめた、血海中には長女泰子(七)が眞裸にされ頸動脈を鈍器で二ケ所突き刺されて南向に俯伏せとなり、そのすぐ横には蒲團からはみ出て次女冴子(五)が同じく頸動脈を見事に

切斷 されて北向き斜に上向きとなり、それと殆ど折重なつて長男京助(二)が咽喉を突きえぐられて北を枕に何れも無殘極まる殺され方をしてをり表玄關土間には夫人キシ子が頸動脈二ケ所、兩足部に四ケ所、腹部に二ケ所、肩先に三ケ所と殆ど全身に亘り突傷や斬り傷を負ふて鮮血にまみれ西向きに横倒れとなつて即死してゐた兇器は斧、菜切庖丁、刺身庖丁、鉈、錐先、出刃庖丁などあらゆる鋭鈍兩樣の兇器が使用されてゐるところを見ても兇行が如何に殘虐であつたか想像される、斧、菜切庖丁は

湯殿 に投げ込まれ、刺身庖丁と鉈は炊事場の流臺に載せ錐先はボーイ部屋に投出してあつた

夫人は死力を盡し最後まで抵抗した
兇行は今曉二、三時頃

人間業とは思はれぬ殘虐極まる兇行を敢行した下手人はボーイ宮懋勝であることが犯行模樣によつて判明した、兇行時刻は母子四名の死體が硬直してゐる點及び電氣のスイッチに犯人の血糊の

指紋 が附着してゐる點から見て今曉二時乃至三時頃と見られこれだけの大慘劇を演ずるには少くとも一時間以上の大格鬪が行はれたものと推定される、室內は夫人椅子、机が顚覆し疊の上には夫人や加害者の血の足跡が入り亂れて附着してゐるところを見ても夫人は死力を盡して犯人に抵抗した

形跡 が歷然と殘されてゐる

さらに夫人は逃げ迷つて階上に駈けたものらしく階段には血潮がボタ〳〵と滴り二階の窓脇には多量の鮮血がかたまつて流れてゐるのは夫人が窓の掛金を外して屋外に飛び降りやうとしたものらしく、こゝにも犯人と格鬪したらしい血の足跡が殘されてゐるが夫人は階上から脫れる目的も達せられず更に階下に駈け降り最後に表玄關から逃げ出さうとするところを犯人に引き戾されこの場で頸部の致命傷を負はされ即死したものと見られてゐる

無心 な可愛盛りの子供三名を慘殺したのは夫人を殺した以前か以後か判然としないが多分夫人との格鬪で目を醒まし恐ろしさの餘り泣き出したので犯行の邪魔と思つて三人を突き殺したものらしい、母子四人を慘殺した犯人は脫れられぬを知つて應接間の開き戸にあつた掃除用のリゾールを取り出して呷つたものであるらしく警察官が駈つけた時は全く虫の息であつた

夫人に迫って兇行
主人は營口に出張中

慘劇の原因は何か？加害者危篤のため詳かでないが現場の狀況日常生活狀態から見て強盜、怨恨の目的ではないらしく大連署では夫人の死體解剖を行ふことゝなつた 即ち柴田方では主人嘉雄氏は社務を帶びて十五日夜行で營口に出張し夫人と子供三人が留守を守ることゝなつたが、加害者ボーイ宮は未成年者であるのに夫人の美貌に懸想し兇行時刻と推定される十七日午前二時乃至三時頃夫人の寢室に忍び寄つたところを夫人に手嚴しくはねつけられ遂に野獸性を發揮してこの兇行に及んだものと見られてゐる

加害者が半裸體となつてゐたのもこの間の事情を物語つてゐる、なほ加害者は兇行後湯殿で鮮血に染まつた手を洗ひ落したものらしく湯殿の中にも血がしたたり、バケツの水は眞赤に染まつてゐた、更にボーイ部屋には半裸體となつたボーイ宮、勝(一八)がリゾール一瓶を嚥下し苦悶してゐるを發見した急報により大連檢察局から池內檢察官、大連署から石井署長、千葉司法主任、香取警察醫ら出張檢證を遂げたが流石檢證官もこの凄慘な現狀に面をそむけた、なほ瀕死の重態にあるボーイ宮は直に自動車で聖愛醫院に收容、應急手當中であるが生命危篤である

加害者の身許 加害者のボーイ宮懋勝(一八)の原籍は山東省福山縣で昨年八月九日柴田氏が市內櫻町五七番地にゐた頃雇つたものであるが、この以前には浪速町湯屋三盛號に使はれてゐたことがある

強氣だつた夫人
日頃は優しいボーイ
隣家で驚いて語る

被害者一家と昵懇の間柄であつた隣家の岡崎弘文氏夫人は語る

柴田さんのお宅は毎晩九時頃には必ずお寢みになるのに昨夜はどうしたものか十時頃までも電燈がついてゐたので或はお子供さんの病氣(長男京助が病氣で通院中)が惡くなつたのではないかと心配してゐると間もなく電氣が消されましたそれからは何んの物音も聞えませんでした

今朝のことです、午前九時になるのに奧樣が病院に行かれないので心配して女中を見にやりましたが戸締りがして開かないといつて〻つて來ましたが虫が知らすのか非常に胸騷ぎがするので私自身で見にゆきましたが横の窓から內部を窺つたゞけでお留守だと思ひ歸りましたがこんな恐ろしい兇行が屋內で演ぜられてゐるようとは夢だに思ひませんでした奧樣は非常にお氣の強い氣位も高い方でどちらかといへば變つた性格の持ち主で近所との交際も餘りありませんでした、加害者のボーイは日頃非常に優しい男であのボーイがこんな恐ろしい兇行を演じようとはどうしても思はれません

兇報に埠頭事務所おどろく

兇報を知つた滿鐵埠頭事務所は俄然大騷ぎとなり谷川船舶主任その他船舶係員並に渡邊庶務課長は早速柴田氏宅に急行したが一方柴田氏は目下社命を帶び營口に出張中のことゝて直に營口に通知するなど變色みなぎるうちに多忙を極めどの係室に行つてもこの噂に充たされ今更乍ら柴田氏の不幸をいたんでゐる

柴田氏は出發前に虫の知せ

柴田氏の勤務してゐる埠頭事務所同僚の語るところによると柴田氏は今度の營口に出張する際出發にのぞんで何時もになく元氣がなく若し營口に行けば氷詰めにでもなりそうな氣がすると言つて居つたので今から考へて見るとこの出張中に不幸があることを出發の時虫が知らせたのでせう

寫眞說明 【上圖】慘殺された柴田氏家族【中圖】生命危篤の犯人支那人ボーイ【下圖】慘劇の家○印は子供三人が殺された寢室×印は夫人が倒れてゐた玄關

鞍山製鐵所採鑛課長 久留島氏拉致さる
煙臺出張中匪賊來襲

鞍山製鐵所採鑛課長にして鞍山在郷軍分會長久留島秀三郎氏は社用のため十六日煙臺炭礦に出張中十七日朝煙臺炭礦所近において匪賊の襲撃をうけ同行の支那人數名と共に人質として拉致された、詳細不明

＝寫眞は久留島氏＝【鞍山電話】

血盟團のピストルは八挺とも大連で購入
憲兵隊の證明で海軍中尉へ
他にも不明の十五挺

井上前藏相、團男爵を暗殺した血盟團使用の拳銃が何れも帝國海軍軍人が大連入港の際市內銃砲店に於て購入されたものであることが井上氏暗殺犯人小沼正の自白に依つて明かとなり警視廳より大連警察署並に水上警察署宛拳銃の出所に關する照會の飛電が數回入り十六日夜、水上署廣田保安主任が市內銃砲店を取調た所昨年四月第一艦隊が當地に

入港 した際市內浪速町坂本銃砲店に於て七日より十一日までの五日間に海軍々人に對して十五挺のブローニング及びモーゼル拳銃が賣り出されておりその後の消息が不明となつてゐることが判明したので直に銃型、番號、購入者氏名等長文の返電を發したが同時に小沼正の自白に依る問題の故藤井少佐に關する八挺の拳銃は昨年七月二十九日大村航空隊の重爆機が大連に飛來した際姓名不詳の海軍中尉によつて八名の海軍士官の名を以て當地日滿商會より購入されたもので右

八名 の中には當の藤井少佐の名前も加つてゐることが判明した

右拳銃八挺購入の方法は前記姓名不詳の中尉が八名の士官より依賴されたるものであると稱し大連憲兵分隊長の證明の下に大連警察署より讓渡許可書を得て日滿商會よりブローニング拳銃三號型一挺につき二十二圓の價格を以て彈丸百發つきで購入したものであるがこの內五挺までが暗殺團血盟團員の手に渡つてゐたものである、五挺の內小沼が所持してゐたものの經路は既報の如く明かとなつたが他の四挺の經路については目下調査中である

更に坂本銃砲店より

發賣 された前記十五挺の拳銃に關しても藤井少佐の八挺の拳銃購入期と大體時期を同じうしてゐるので右十五挺が海軍々人の手を離れて民間に流れ出てゐる場合を豫想して相當憂慮されてゐる

坂本銃砲店談

右に關して坂本銃砲店主は語る

內地とちがつて當地は無稅である關係上拳銃一挺について內地よりはどうしても五圓以上安くなります、それで艦隊が入港すると必ず拳銃が相當軍人に賣れるのですが、昨年七月入港の際も十五挺拳銃を賣りました、ブローニングやモーゼル等色々ですが、軍人さんのことですから普通の一割引で、彈丸百發附きでモーゼル一挺卅三圓、ブローニング一挺卅圓位で賣りました 帳面を調べれば拳銃番號や購入者の氏名も皆わかります、軍人は當地では大連署から讓渡許可書さへもらへるので火器取扱上最も必要な携帶許可書は內地へ歸つてから貰へば良く、佐世保なら佐世保で取ればよいのです

この際に割合に自由である關係上拳銃の行方も相當やゝこしくなつて來るのです、しかし今後は軍人と云へども相當嚴重に取締まられることになるでせう

小沼正も出所自白

【東京特電十七日發】井上前藏相を射殺した小沼正は十六日市ケ谷刑務所で菱沼が團男を射殺した事並に井上日召、古內榮司、その他一味が逮捕された事を聞き默然として今迄拳銃は故少佐から貰つたとのみで口を緘してゐた流石の彼も觀念したものか

件のピストルは故藤井少佐が大連で入手した八挺の中の一挺に相違ないが自分のピストルは直接受取り菱沼、黑澤並びに田倉田中の兩者の分は古內から渡されたものである

と男らしく申立てるに至り、所謂血盟暗殺團なるもの丶携帶せるピストル八挺の出所も判明し今後の取調は順調に進むものと觀られて居る

支那正規軍が綏中驛襲擊
三十分交戰して擊退

十七日午前四時五十五分綏中驛附近に突如銃聲起り間もなく守備隊驛に向つて約三、四百の支那正規軍襲擊し來り猛射を開始し驛を包圍したので守備隊及び驛員は協力してこれに應戰し一方電話電信を以て溝幇子、連興城驛に通報し各地の軍隊と連絡中折柄第六〇二列車が午前四時五十八分同驛に進入したので危險のため一時構外に退避せしめ接近する敵と三十分に亘り激戰を續け漸く擊退した、戰鬪において機關銃隊步兵一等兵牧野豐廣は右肩及び左掌に盲貫銃創を負ひ敵は大隊長以下五名の死體を遺棄し逃走したが多數の負傷者を出した模樣である【奉天電話】

●訂正● 既報「アパートと女給とダンス」と題する記事中備後アパートとあるは隣家吉野アパートの誤りにつき訂正する

天氣豫報 十八日 南西の風晴 後曇

各地溫度

	十七日午前十一時	十六日最低
大連	三、七	零下七、三
旅順	四、二	同八、五
營口	一、一	同一〇、五
奉天	零下三、九	同一六、三
長春	同四、四	同一九、〇

けふの小相場(正午) 金百圓は一五二圓六五錢

武門血笑記 (87)

下村悅夫作 布施長春挿畫

道中双六(七)

うとうとと、少し眠つたかと思ふと、作樂は崖から眞逆さに落ちる夢で、はつと眼が醒めた。

身體の節々が拔けるやうに痛み續けてゐる。

ふと、見ると、圍爐裏の火が消えかゝつて、暗闇の中で焼け殘つた薪から、白い煙がすつと立ち登つてゐる。

作樂はむつくりと起き上つて、傍にある柿木の枝を投げ入れた。と、間もなく、ぱつと燃え上る火焔——

それに照らされて、すぐ圍爐裏の向側に、齒を喰縛つたまゝ、氣を失つて仰向けに臥れてゐる勘五郎の姿が浮び上つた。

(助かつたのだ)

それはこの半日しつきりなしに感じてゐる事ではあつたが、作樂は、こう思ふ度に、腹の底から込みあげて來るやうな悅びを感じたが、直その後から、何時も

(照枝はどうしてゐるだらう)

さう考へると、一瞬もじつとしてゐられないやうな苛立たしさに驅り立てられるのであつた。

作樂が崖の途中にある灌木の茂みにのしかゝつたまゝ、意識を回復したのは、その日の八ッ時であつた。

腕に絡み附いてゐた取繩が都合よく五六間上の木の幹に絡はり附いたのであつた。

作樂はその繩を手繰寄せ、それをまた別の木の幹に引括つて、谷底の方へ下りて來た。

と、その途中で、勘五郎がこれも木の茂みに引掛つて氣を失つてゐるのを發見した。

作樂は、それを、其儘にして行かうとしたが、何を思つたか、自分の持つてゐた繩を利用して、兎に角にも、谷底まで運んでやつた。

さうして、自分は谷に沿ふて、十町餘りも下つてゐる中に、この炭燒小屋を發見したのであつた。

どんな風に話したのか、作樂はその小屋の老爺に金をやつて、勘五郎を小屋まで運ばせた。が、勘五郎は未だ息はあるらしいが、手を負ふてゐる上に打撲が甚かつたと見えて、容易に意識を回復しなかつた。

さうしてゐる中に、日もとつぷりと暮れたので、作樂と氣を失つた勘五郎は、こうして圍爐裏を圍んだまゝ、この小屋で一夜を明かすことになつたのである。

作樂は、眠られぬまゝに、腕を組んだまゝ、今日の出來事を、じつと考へ込んでゐた。

人里離れた山奥の萬籟寂たる靜けさ、山水の落ちる谷川の音が、幽かに聞えるばかりである。

(今日の事は、どう考へても、この男の細工に違ひない、息を吹きかへしたら、口を割らして……)

作樂はそんな事を考へながら、だらしなくぶつ臥れてゐる勘五郎の姿を、じつと眺めた。

と、不意に、作樂は、勘五郎の懐からはみ出してゐる胴巻に眼を止めて、そつと手を伸ばすと、するするとそれを引出して、金包の方には目もかけず、一緒に仕舞ひ込んでゐた二通の書き物を取り出した。

圍爐裏の中に薪を入れると、ぱつと燃え上る焔の光——

作樂はその書面を讀み始めた。

一通は、照枝の人相書、作樂に就いては調べが届いてゐないと見えて、たゞ武士體の男と書いてゐるだけであつた。

別の一通は、京の東奉行、長谷川監物から、各藩の役人達に、これくの者召取りに就いて、この書面持參の者に助力を頼むと云ふ依頼狀であつた。

作樂の眼が、ありありと悅びに輝いた。

さうして金包は胴巻に入れたまゝ、勘五郎の懐に返して、その二通の書類を自分の懐に仕舞ひ込んだ。

聽て、夜が明けかゝつたと見えて、ほの白い曉の光が、戸の隙間から、ぼんやりと差して來た。

新興滿洲國 映畫と講演の夕 明夜滿日講堂で開催

本社主催で明十八日午後七時から滿日講堂に於て新興滿洲國の映畫と講演の夕を開催するが、上映々畫は本社撮影の「新興滿洲國」三巻でその内容は奉天に於ける滿洲國建設運動、長春に於ける溥儀氏執政就任の實況、新國家建設祝賀行列及び産業の滿洲國を紹介した吉林、省城吉敦線と敎化の情況等を記録したものである、また講演は關東軍參謀臼田少佐の「新國家に就て」と題する興味あるもので映畫と講演と相俟つて意義ある夕こし期待されてゐる、なほ會場整理費として金十錢を申受ける

千恵藏映畫 金的力太郎 帝國館上映

これも亦、伊丹萬作と片岡千恵藏コムビになる朗かな時代劇作品である、相變らず伊丹萬作の良さが千恵藏によつてスクリーンに沁々と描き出されてゐる

ストオリイは有名なモルナールのリリオムからヒントを得たもので伊丹萬作の脚案脚色で、兩國見世物小屋の客呼び金的力太郎(千恵藏)がおそめ(佐久間妙子)を得たのが、小屋の持主おれん(衣笠淳子)と喧嘩して馘首され失業の末、惡事未遂から江戸を賣り、やくざ渡世となつて何年か振りで江戸に歸り、仲の惡かつた富藏の女房になつたおそめの姿に一度は怒つたが、すべてを涙のうちに了解して父性愛から男らしく立上るまでを描いたものである

伊丹萬作のメガホンは例によつて調子の良い話術とタイトルの輕快さを以てスクリーンに快味を與へ乍ら、ガッチリしたコンチニュイティを以てヒタ押にローマンチックな手法を以て涙と笑ひのしみじみとした心境を描き出して、所謂伊丹物の良さに終始してゐる

千恵藏の伴天姿の客呼びから長脇差への轉身も「一本刀土俵入」の様に鮮やかで、持味を生かして所謂千恵藏物らしい風貌をスクリーンに描き出してゐる、それにこの映畫の相手女優として日活から選ばれ佐久間妙子のおそめが期待された如く素晴らしい出來で千恵藏との意氣がぴつたりと合つて、却つて衣笠淳子のおれんの方が場違ひな感じを抱かせる程優れた好演技を示してゐるのが注目される

その他キャストは瀬川路三郎の提婆の次郎吉、香川良介の富藏、尾上華丈の留吉、瀧澤靜子のおさく、南幸枝のお福、林誠之助の許婚等いづれも持役で、伊丹監督の俳優指導はいつも乍ら手に入つたものである

カメラは例の如く石本秀雄で特異なワークはないが、大體好調で、川端その他のセット撮影の遠景に書割を使つたのも何となく淡いローマンチックな味を出して效果的である

續白痴の弟殺し 河合映畫のお涙頂戴映畫として好評を博した「白痴の弟殺し」の續篇で糸路のお秋に五味國男の青島運吉で石橋頑仏監督作品【次週帝國館上映】

パテー倶樂部例會

大連パテー倶樂部では三月例會を十八日午後七時から山縣通土地協會ホール(大連寧支店二階)で開催プログラムは左の如くである

一、新作映畫
滿洲事變、上海事件、スキー、天一坊と伊賀之亮、影法師出現、少年軍、おゝ妻よ、青い鳥、水戸黄門等

一、撮影會フキルム互選(入賞者三名)

一、會員作品

一、撮影に關する座談研究會

根岸耕一氏 近く來連 目下滯奉中

總選擧に政友會の公認候補として東京府第六區から出馬し不幸落選した前日活常務取締役根岸耕一氏はその後滿洲國建設と共に新滿蒙の天地に映畫事業を目論んで奉天を中心にスタヂオ建設の計畫説が傳へられつゝあつたが、同氏は去る九日以來來奉中で各方面と新事業に關する折衝を重ね來る廿五日奉天發來連の豫定である、同氏來連と共に明治大學校友會では歡迎會を計畫中で、また映畫關係者間でも座談會を催すべく協議を進めてゐる

萬葉會例會

來る二十日正午から松山臺ラジウム温泉で開催、番組は嵐山、忠度、千平、角田川、鞍馬天狗、番外吉野天人、藤戸である

内田檢閲官轉勤

大連署保安係の檢閲官内田愛吉氏は今回異動で關東廳高等課に轉勤したが、後任者はなほ未定であると

噂話

帝國館の自動車サービスの宣傳が何より先にピンと響いたのはタクシー業者で▲忽ち特約事務所が包圍され大正タクシーとの特約に割込運動が始まつたと放送されてゐる▲兎に角けふの「鳩笛を吹く女」と「金的力太郎」から實施するのだが▲一つ思ひ切つて金を使ふなら呼び込みに千恵藏を雇つて力太郎の半纏姿で鳩笛を吹かしたらよからう▲おれんの見世物小屋みたいにお客の殺到すること請合ひで、これこそメイ案じやありませんか▲まだ五里霧中のやうに思つてゐる矢先へ不二映畫の第二回作品「ルンペン俄大盡」がいよいよ明日あたり入荷するとのことく▲宮岡映畫と大衆文藝映畫の賣り込み運動が頻りにあるがうつかり保證金を積んでペシャンコと警戒されてゐる